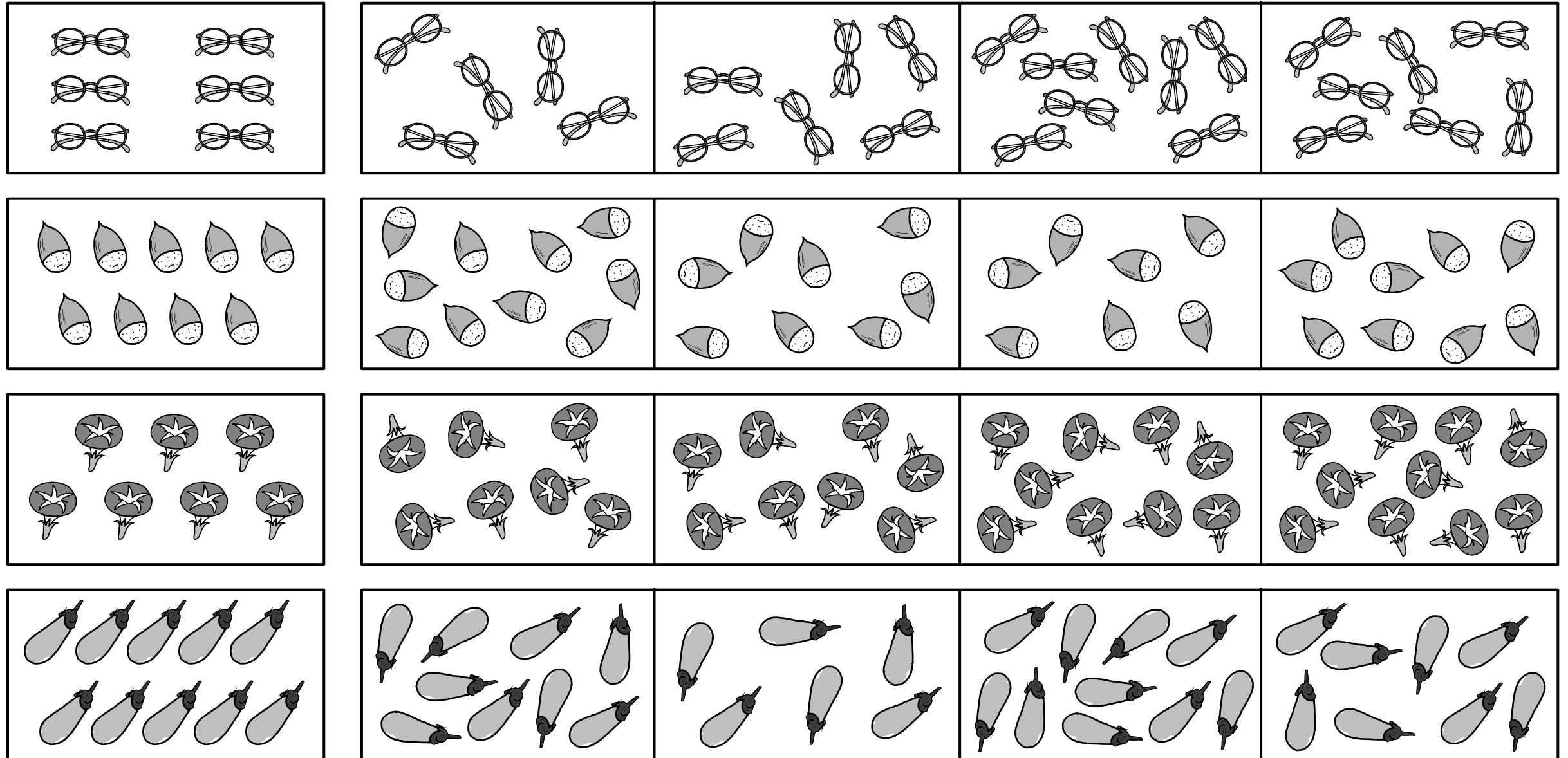


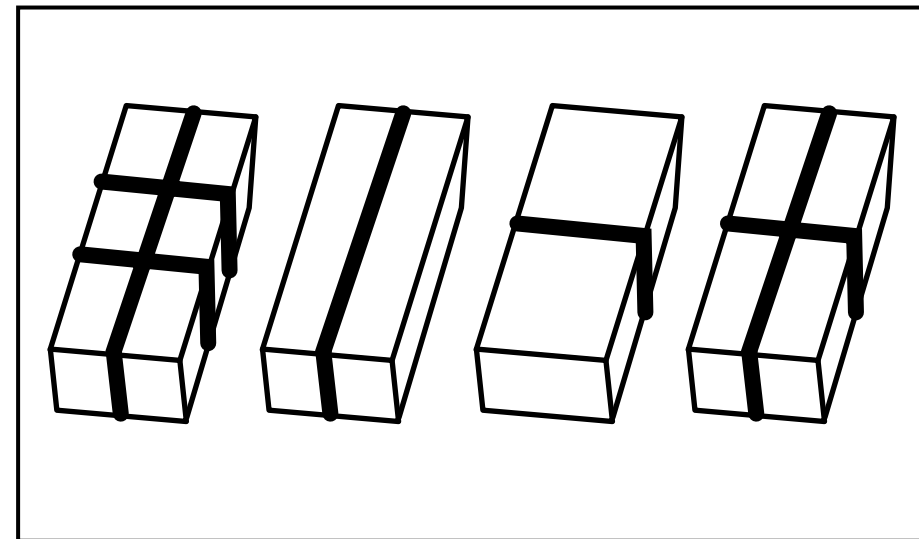
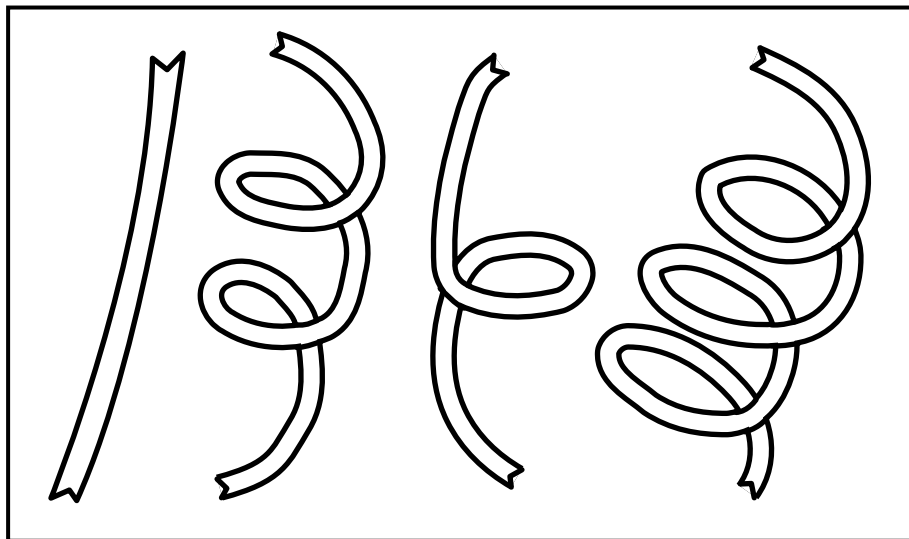
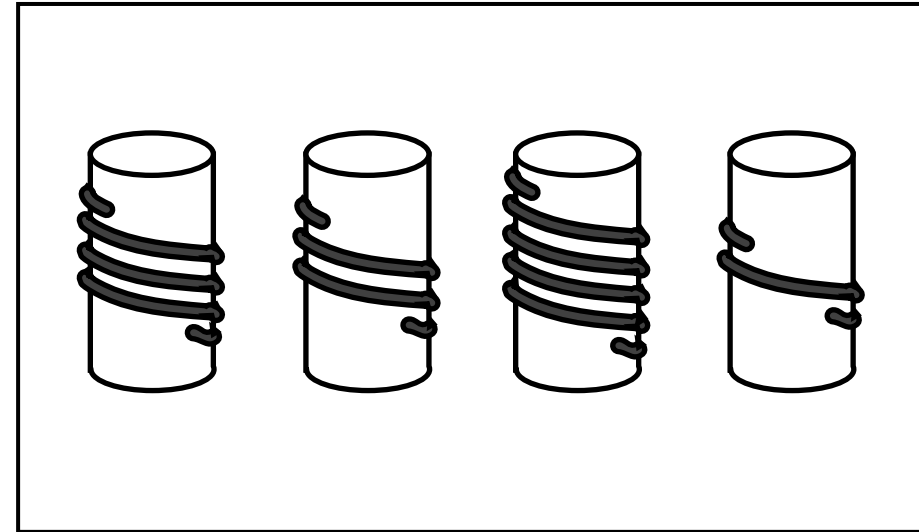
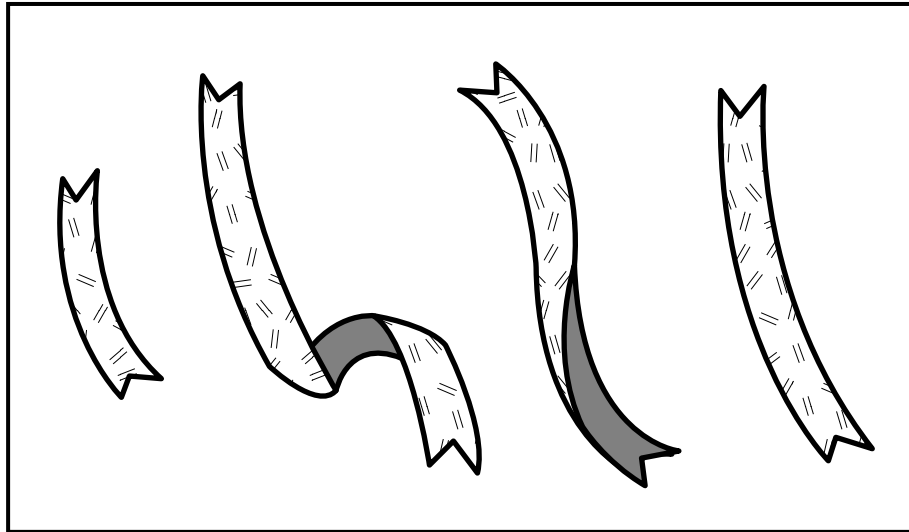
年長B

かず1



年長B

かず1



年長B

かず1

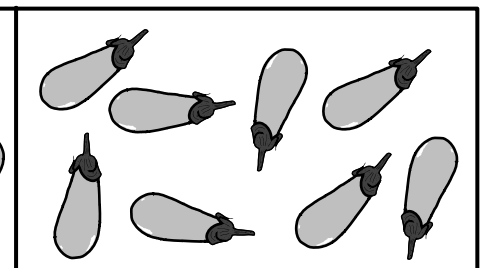
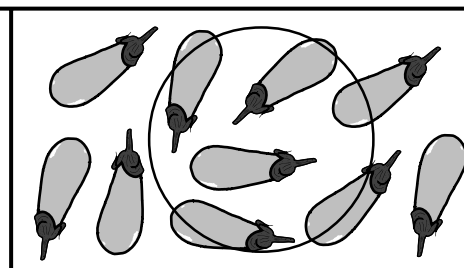
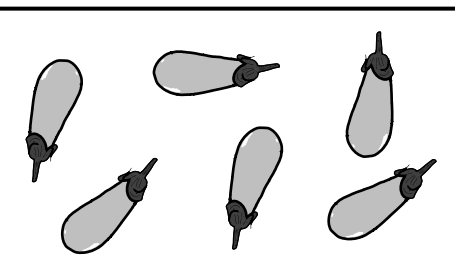
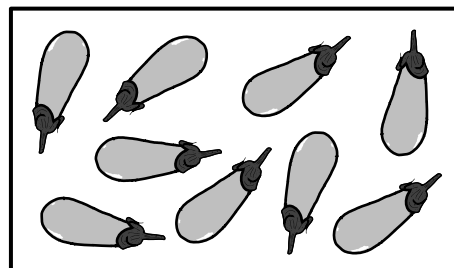
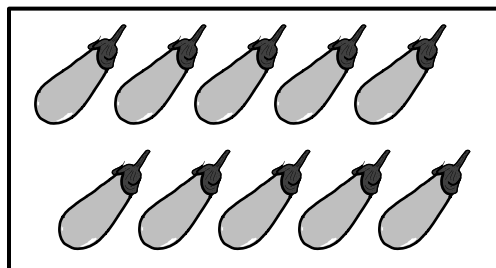
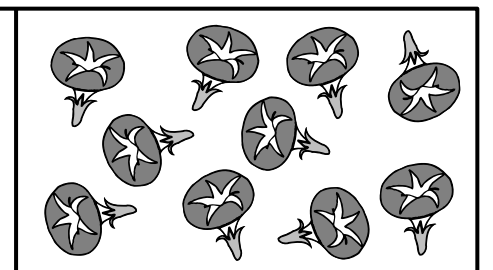
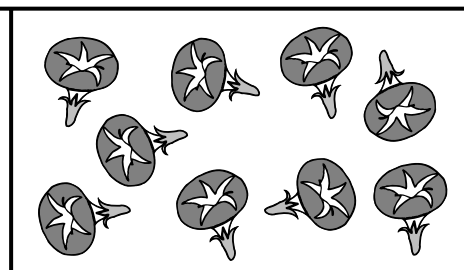
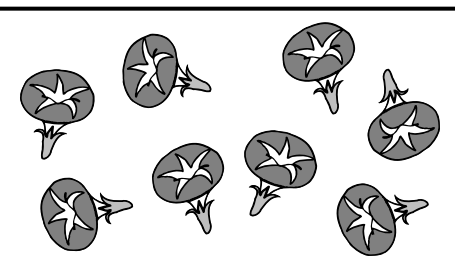
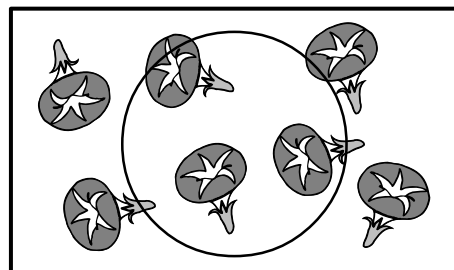
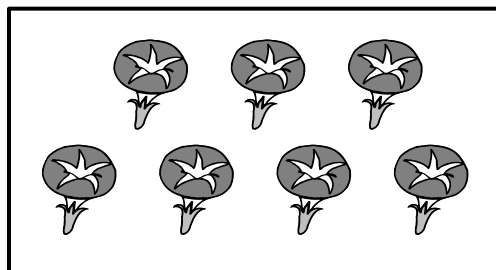
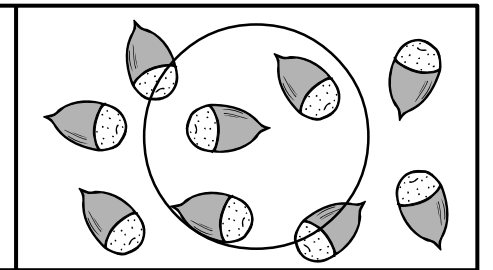
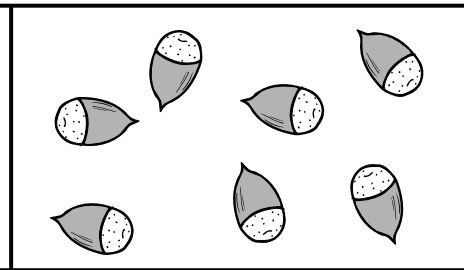
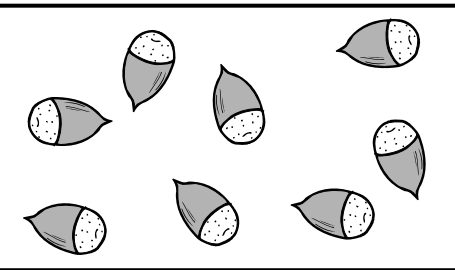
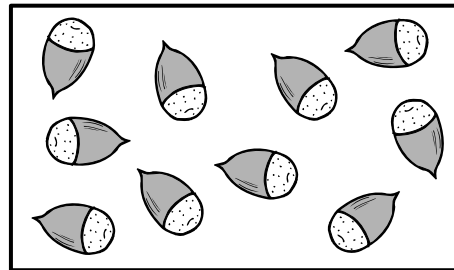
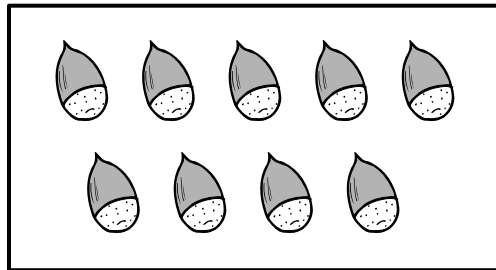
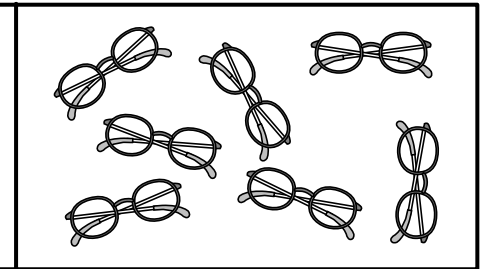
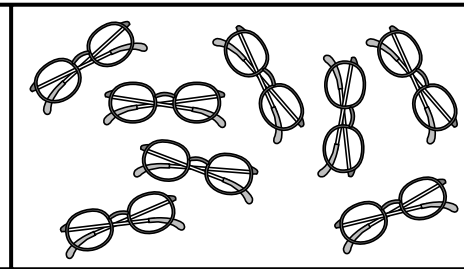
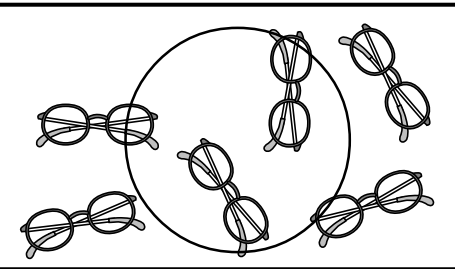
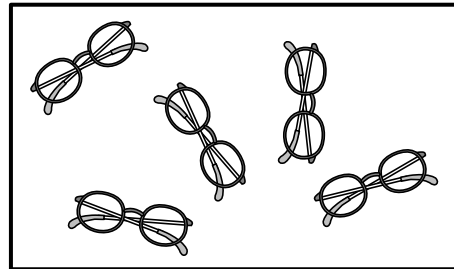
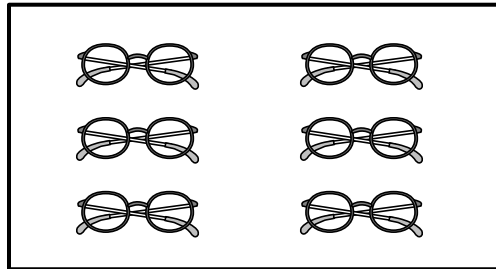
● ●	▲	●
● ● ● ●	▲	● ●
● ● ● ● ●	▲	● ● ●
● ●	▲	● ● ● ●

● ● ● ● ● ● ●	●	▲	●
● ● ● ● ●	●	▲	● ●
● ● ● ● ● ●	●	▲	● ● ●
● ● ● ● ● ● ●	●	▲	● ● ● ●
● ● ● ● ● ●	●	▲	● ● ● ● ●

年長B

かず1

<問題> 左はしと同じ数のものに、 をつけましょう。



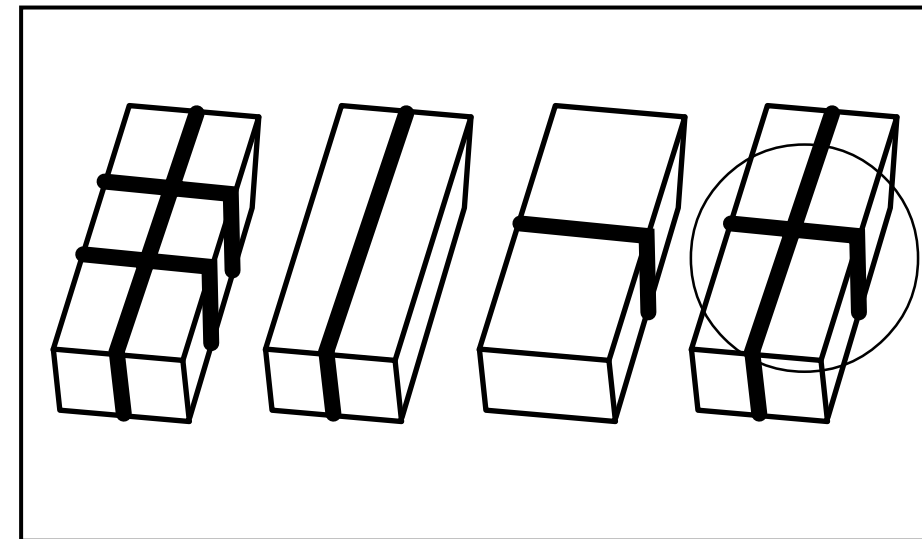
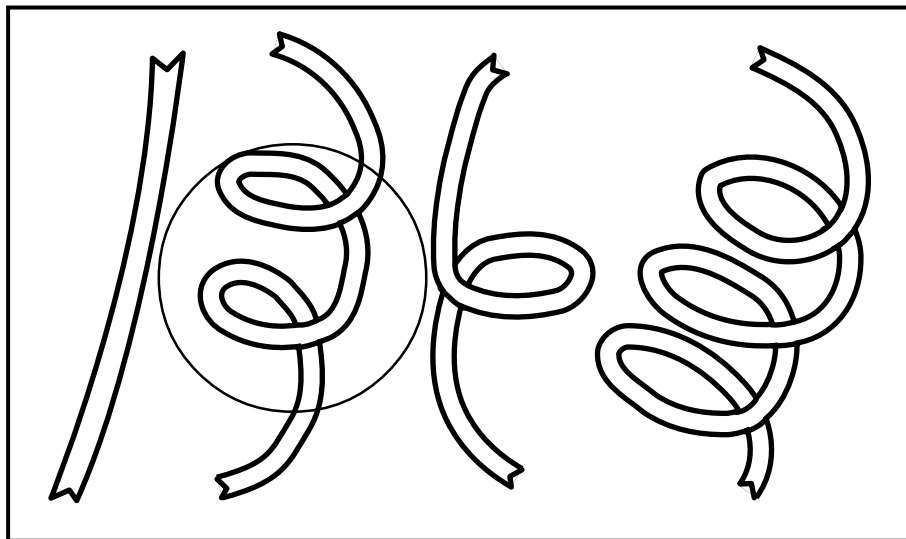
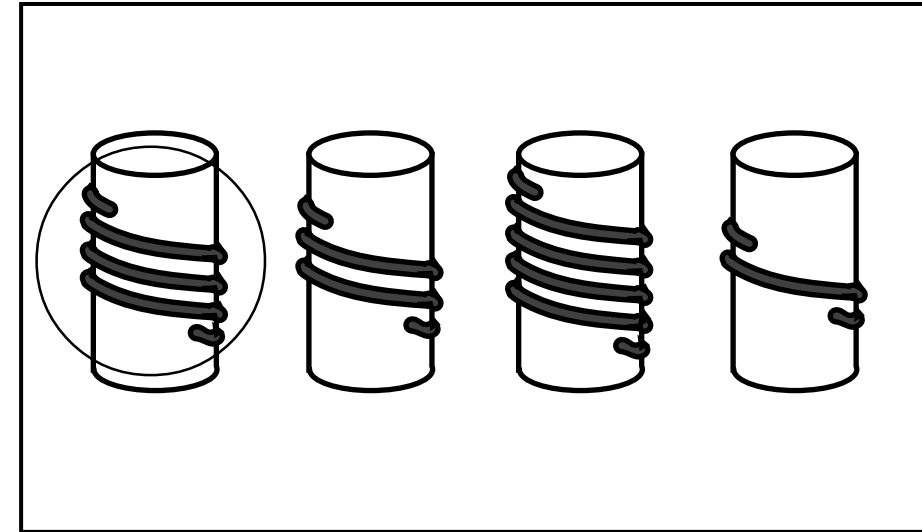
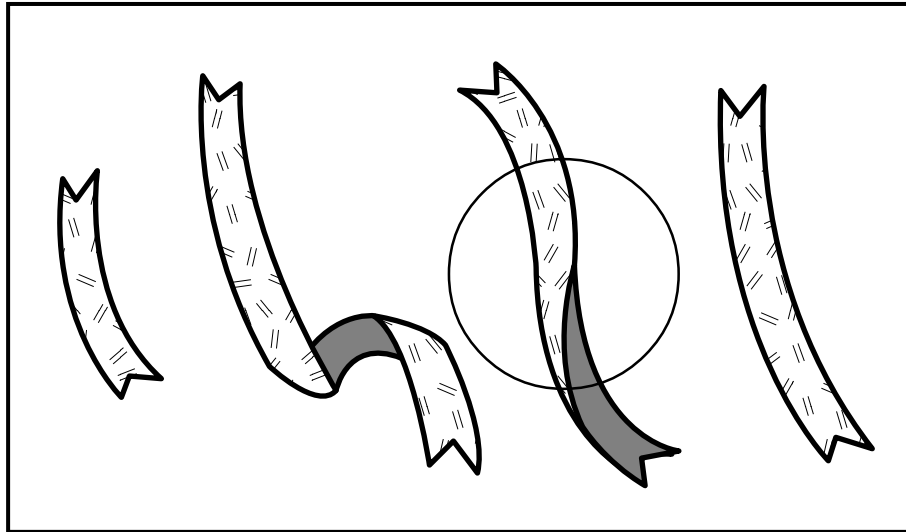
<指導のポイント>

まず、左はしの絵の数を数えておきます。それから右側の4つの中で同じ数らしいものの数を数えて確かめてから、 をつけるとよいでしょう。身近なものを使って、10までの数をしっかり数える練習をしておきましょう。

年長B

かず1

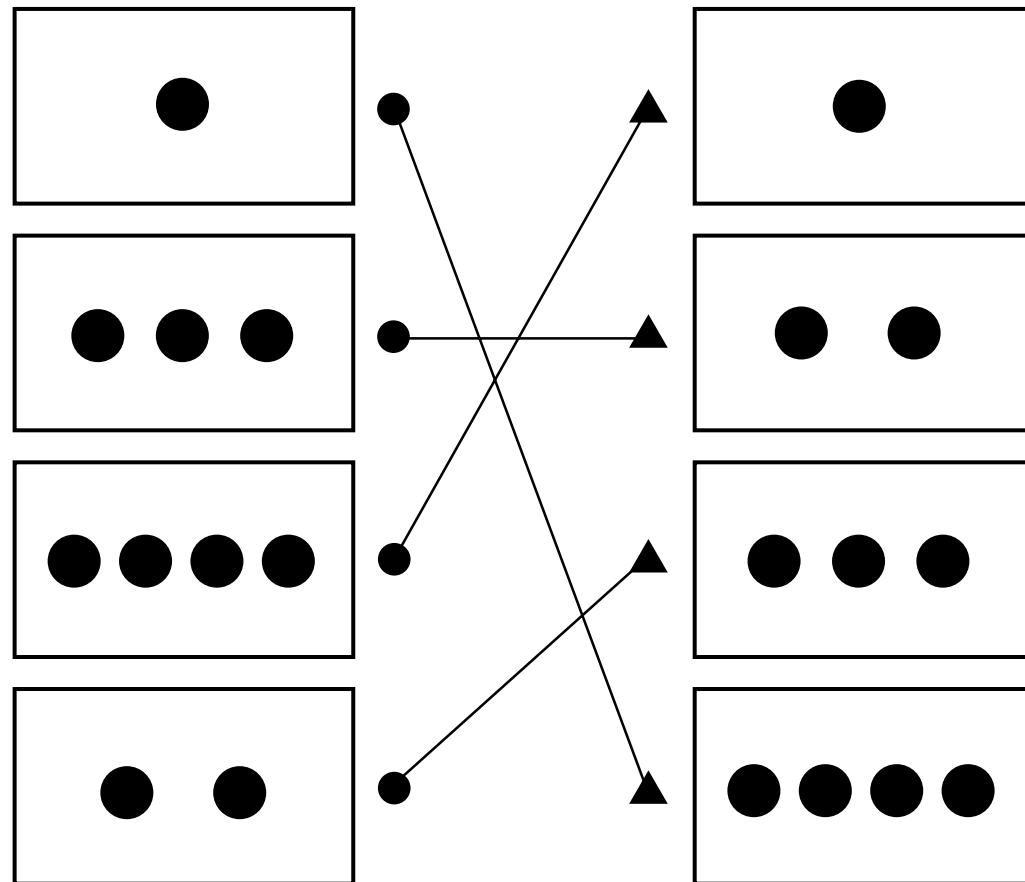
<問題> 二番長いものに、 をつけましょう。



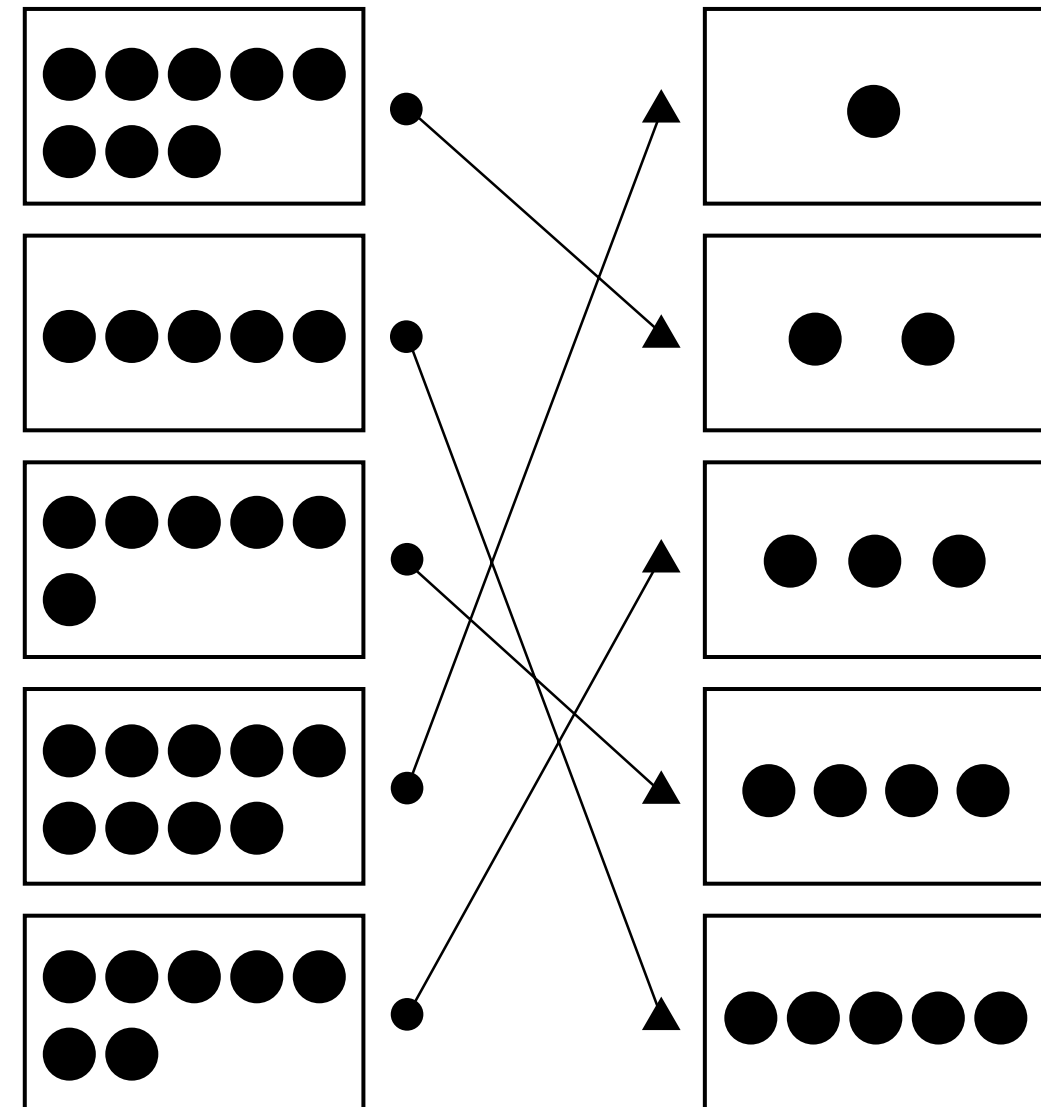
<指導のポイント>

ねじれたリボンの長さを比べるときには、リボンをのばすとどうなるかを考えてみましょう。右側の問題では、ひもを筒や箱にまきつけた回数で比べてみましょう。実際にリボンなどを使って、いろいろな場合の長さを比べてみるとよいでしょう。「二番目に長い」という言い方にも慣れておきましょう。

<問題> 左と右をあわせて5になるように、線でむすびましょう。



左と右をあわせて10になるように、線でむすびましょう。

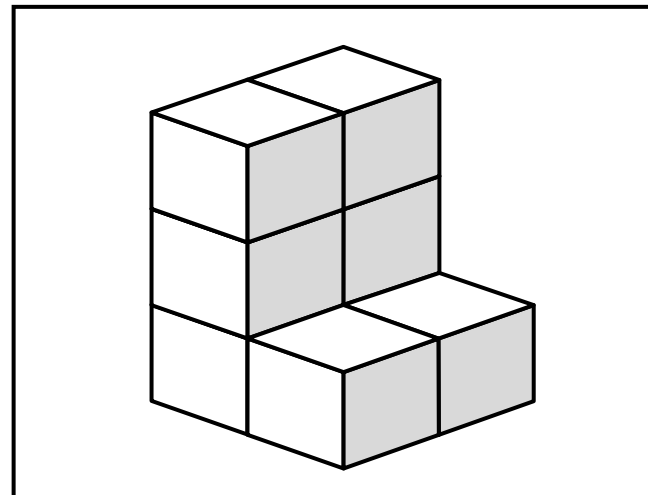


<指導のポイント>

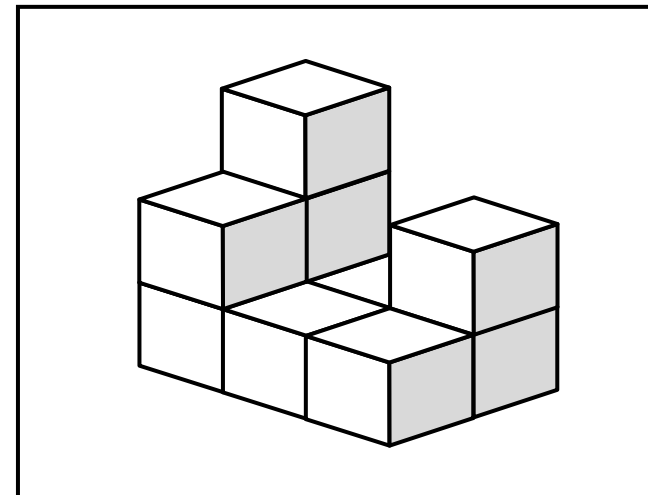
たして5や10になる数の組合せはしっかり覚えておきましょう。線で結び終わったら両側の●の数を数えて、5や10になっているか、確認させるとよいでしょう。

年長B

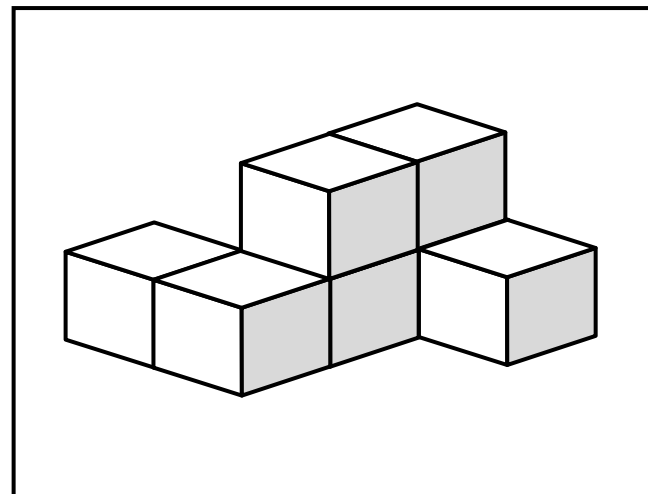
かず2



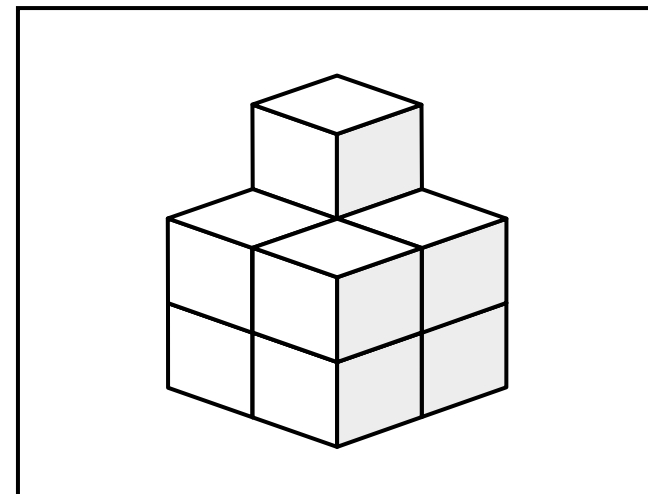
()



()



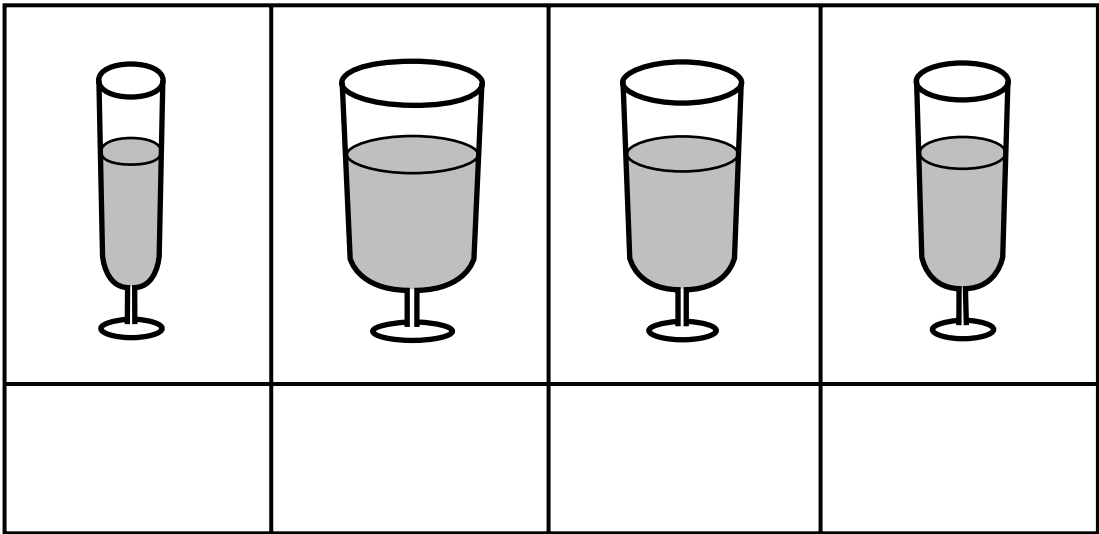
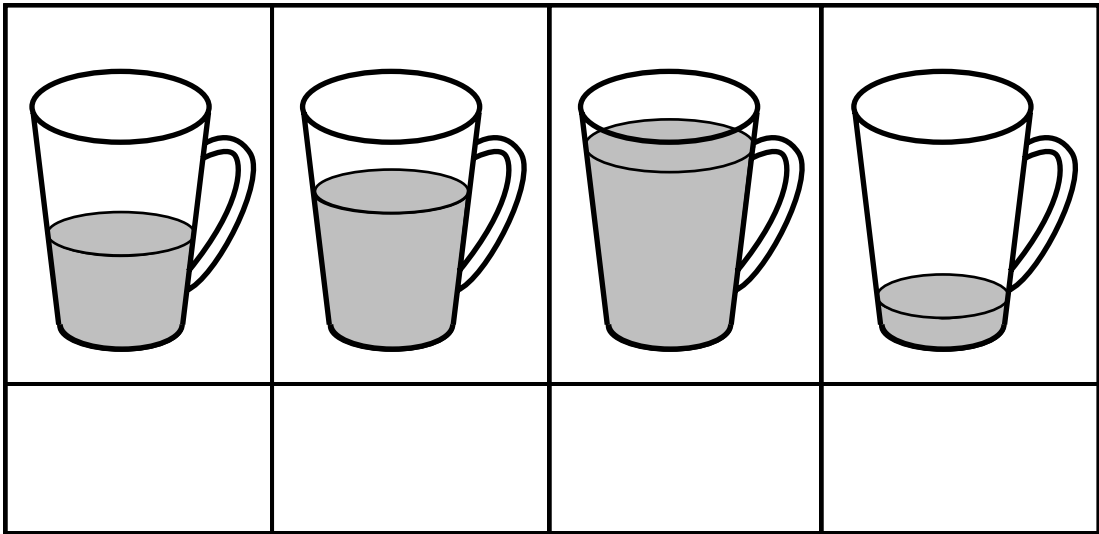
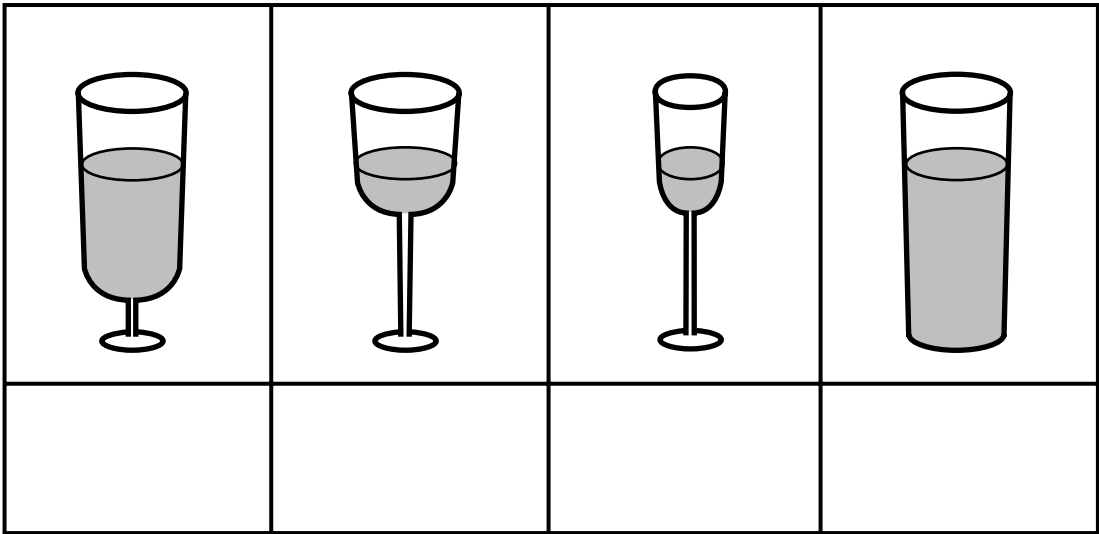
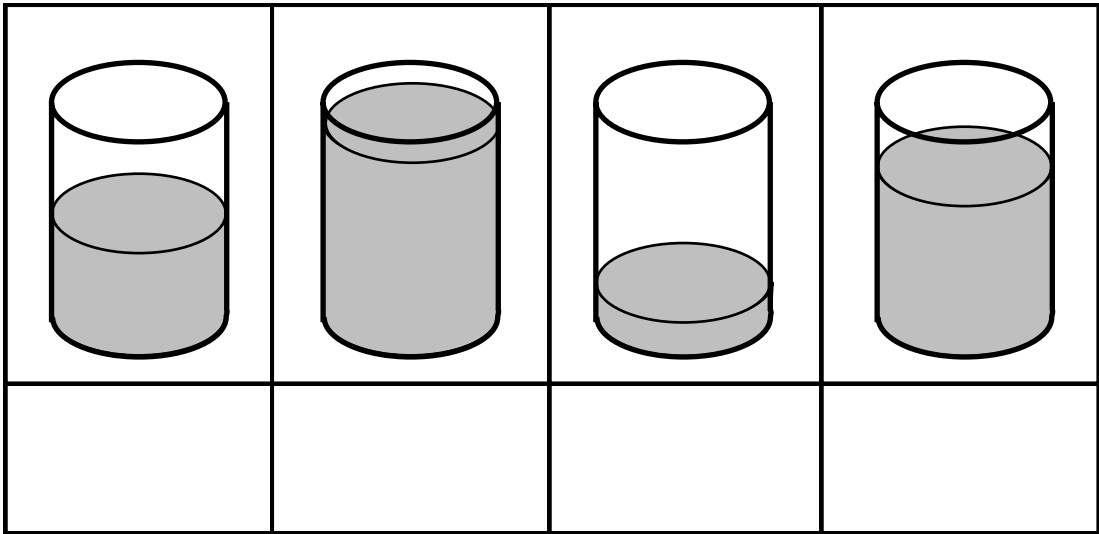
()



()

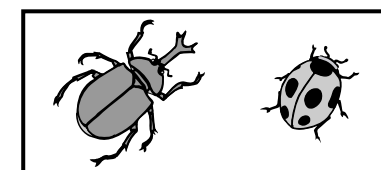
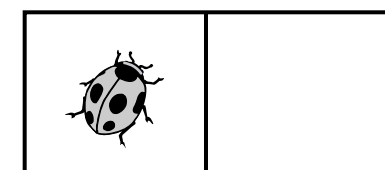
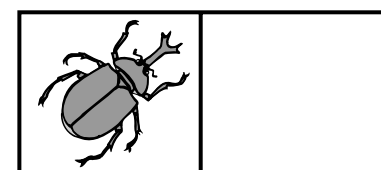
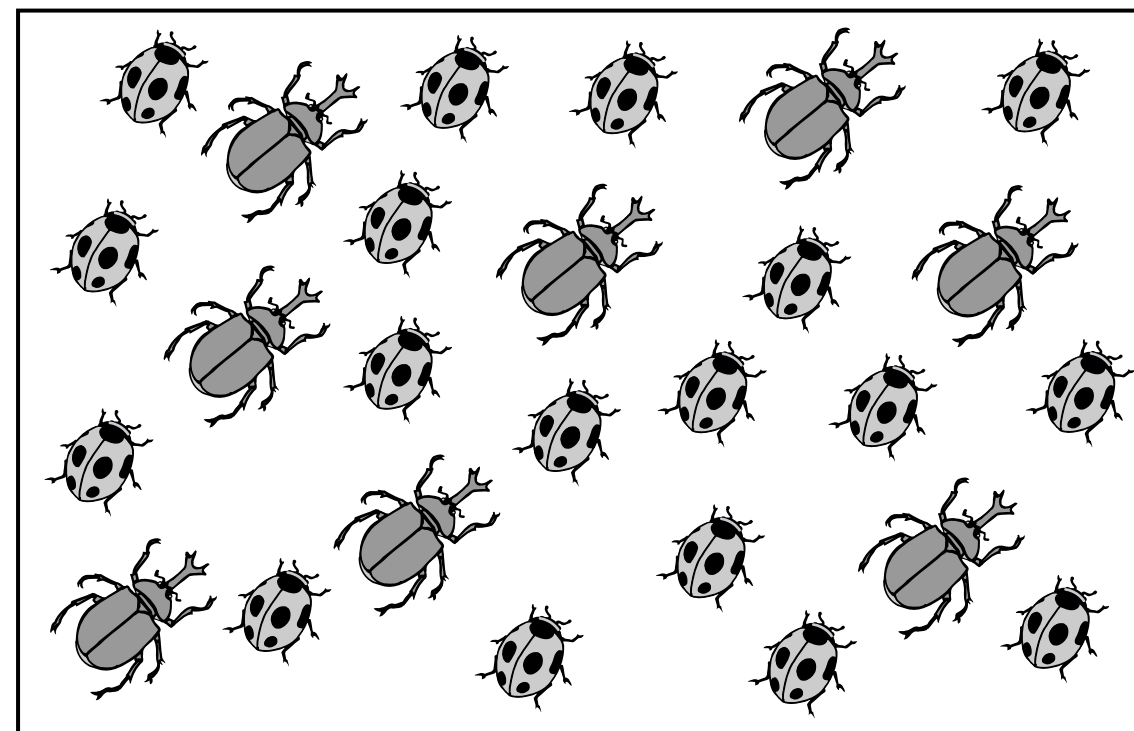
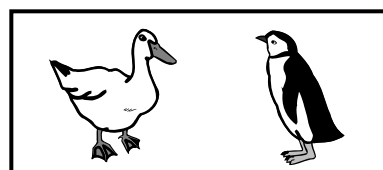
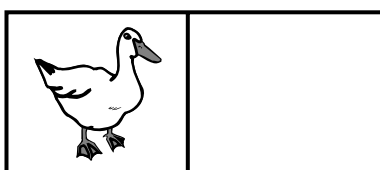
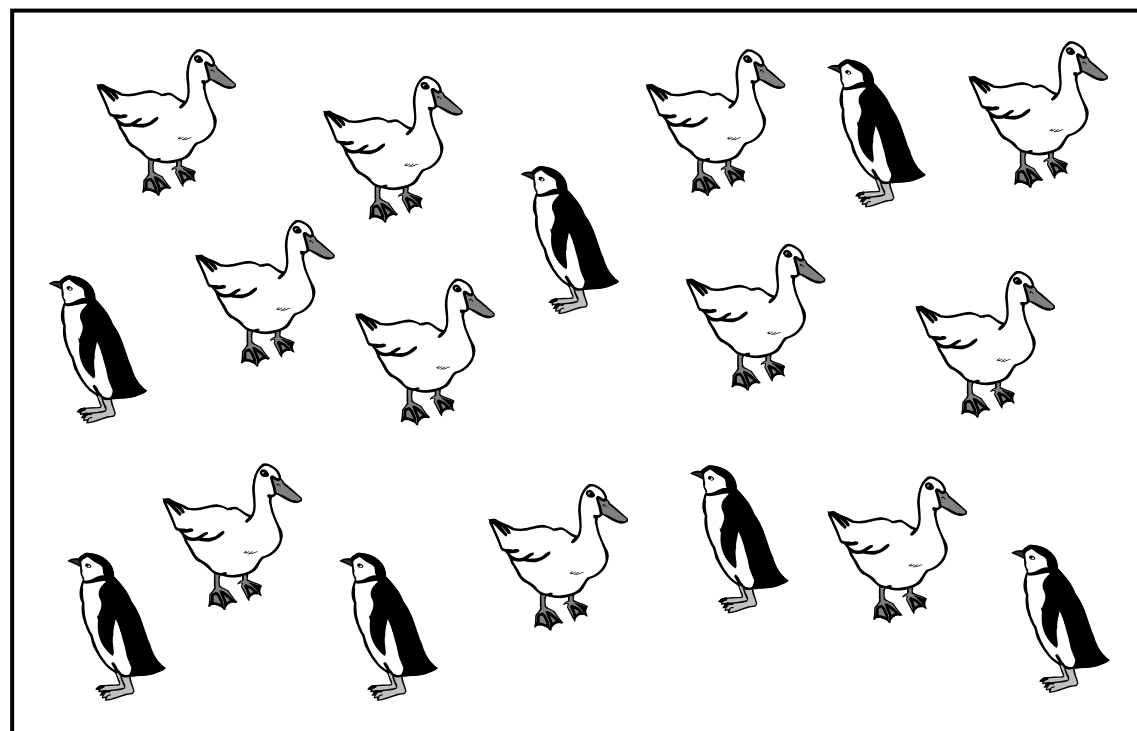
年長B

かず2



年長B

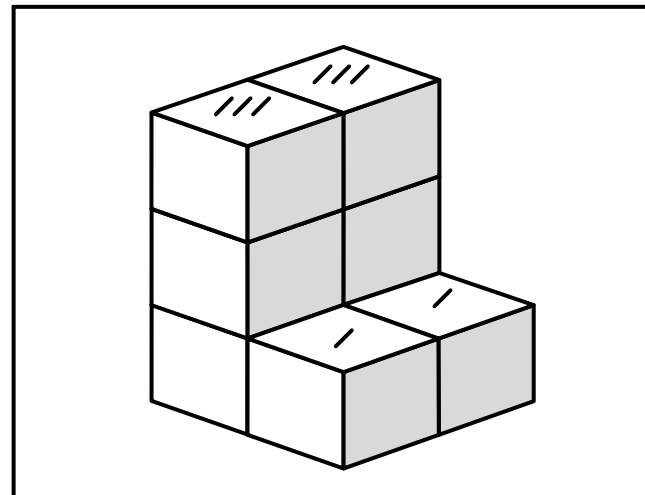
かず2



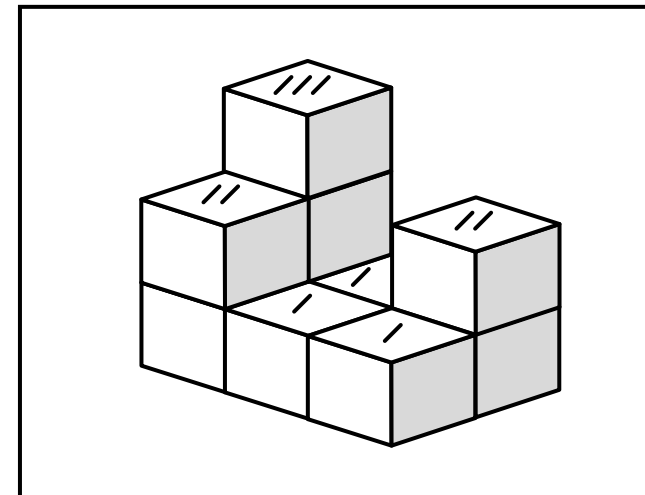
年長B

かず2

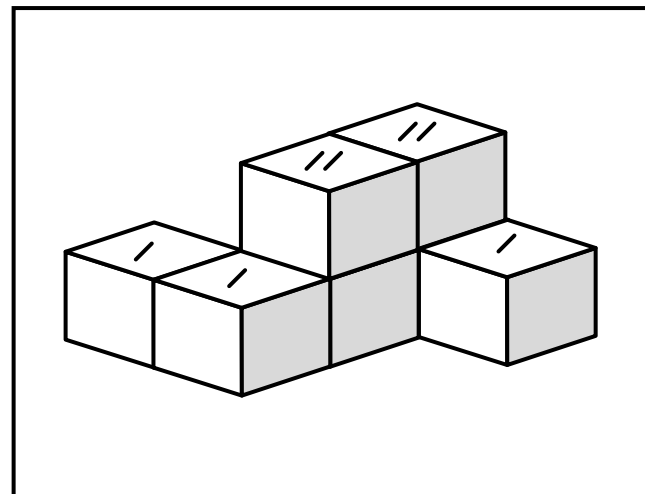
<問題> 積み木はいくつありますか。()に数字でかきましょう。



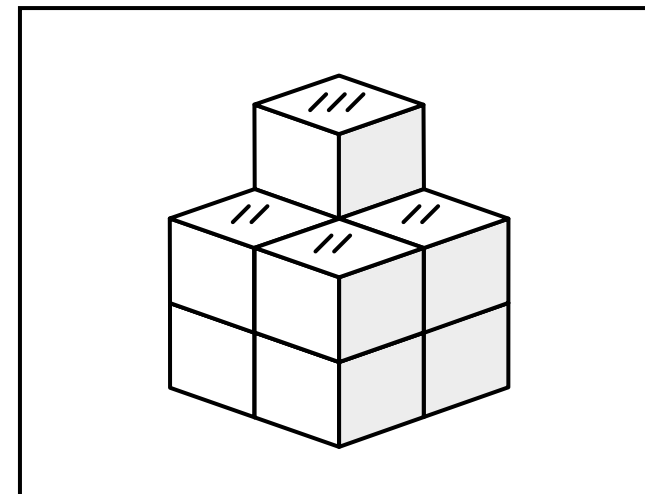
(8)



(10)



(7)



(9)

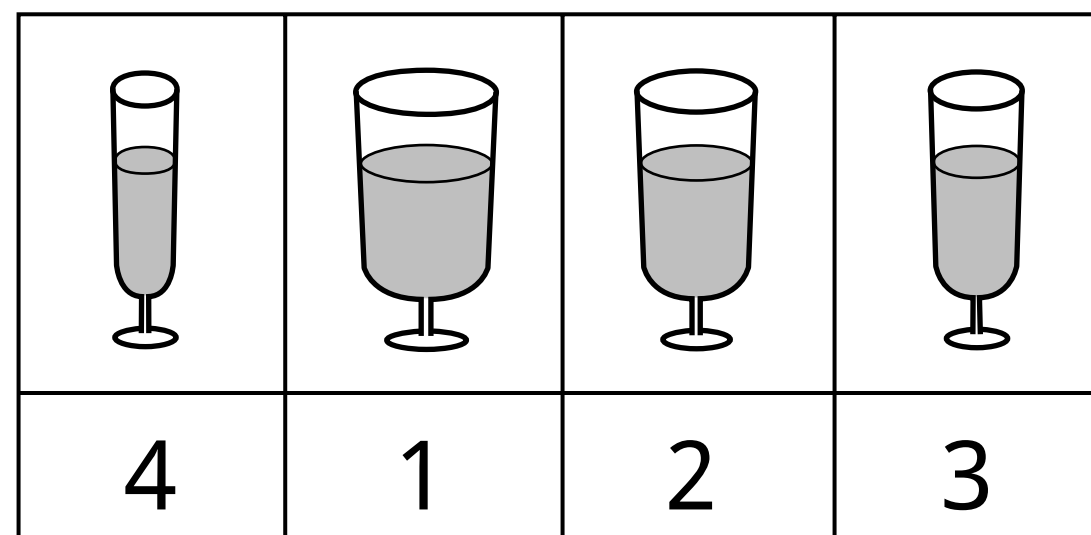
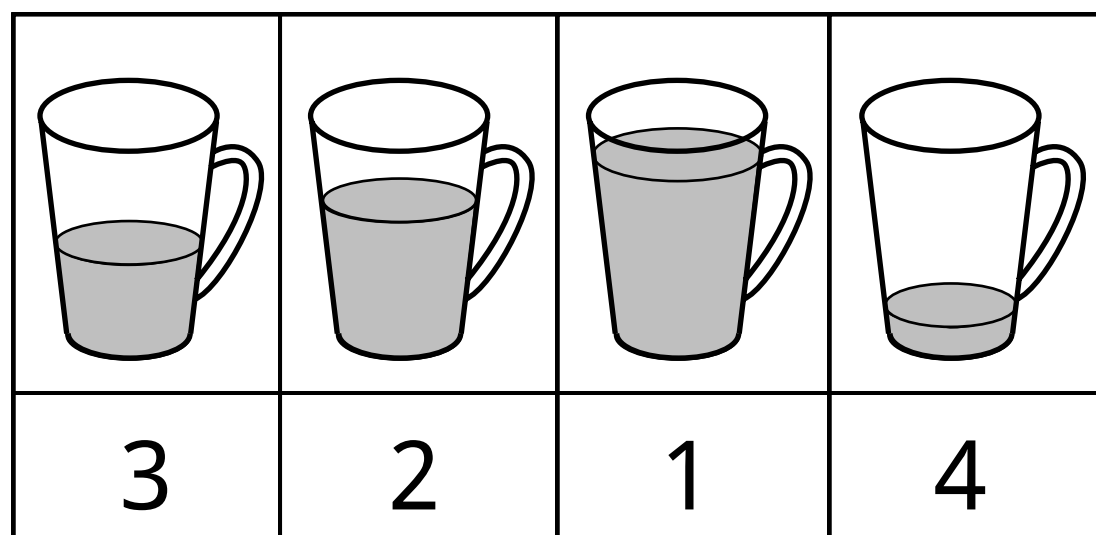
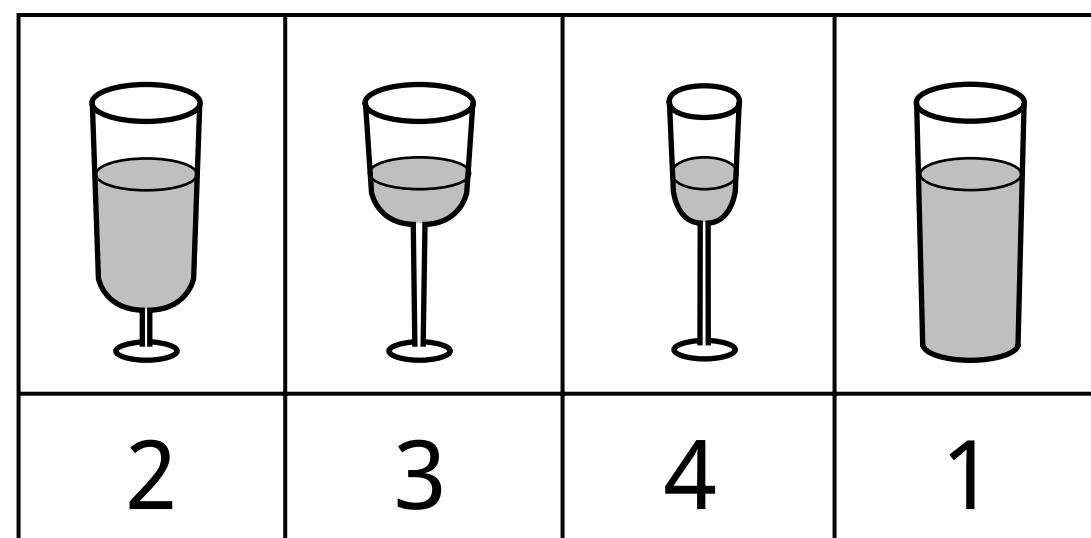
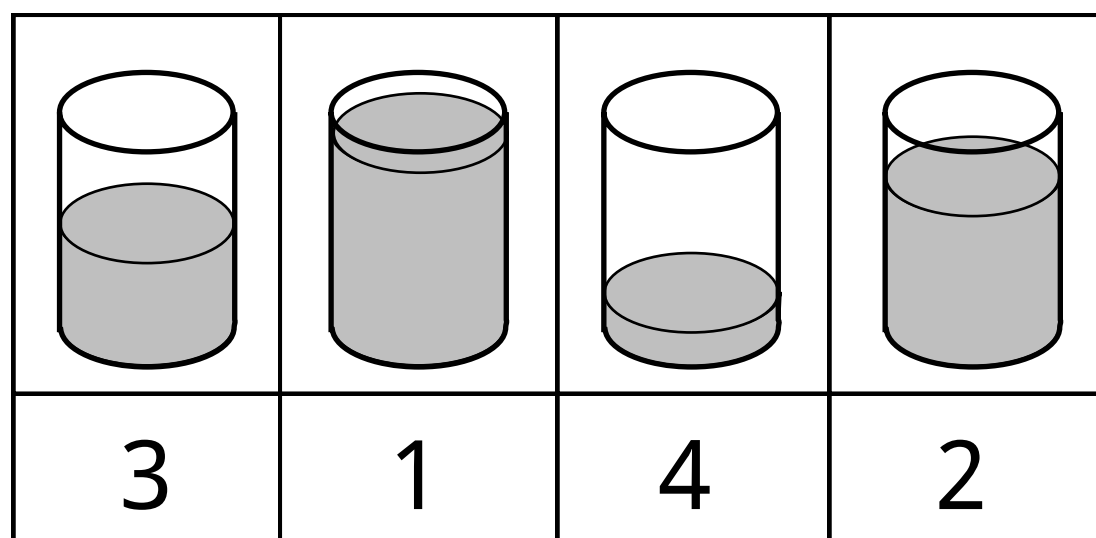
<指導のポイント>

プリントの絵を見ながら、積み木の数进行練習をしましょう。たてに何個積んであるかをよく考えて、その数だけ、積み木の絵の上面に印(/)を書きます。印の数を全部数えて、答えを数字で書きましょう。実際に積み木で同じ形を作って、確認しておくといいでしょう。

年長B

かず2

<問題> 量が多い順に、□に数字をかきましょう。



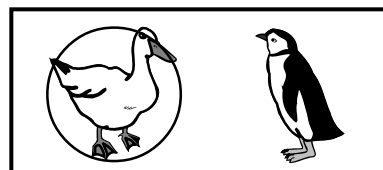
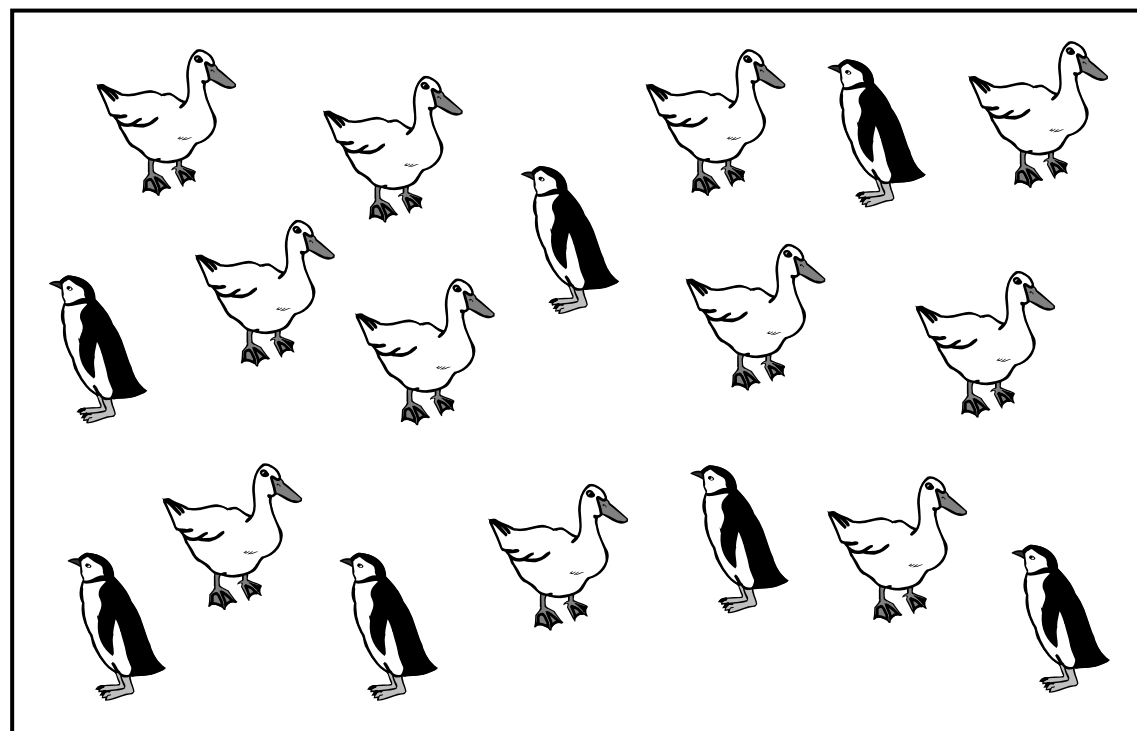
<指導のポイント>

ちがった形の容器に入っていて水面が同じ高さの場合、太い容器の方が水の量が多いことを理解させましょう。実際にいろいろな容器に水を入れたり移しかえたりして、お子さんに見せてあげてもよいでしょう。

年長B

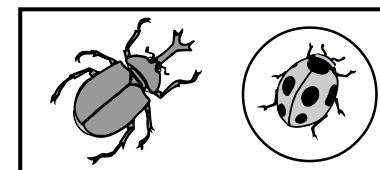
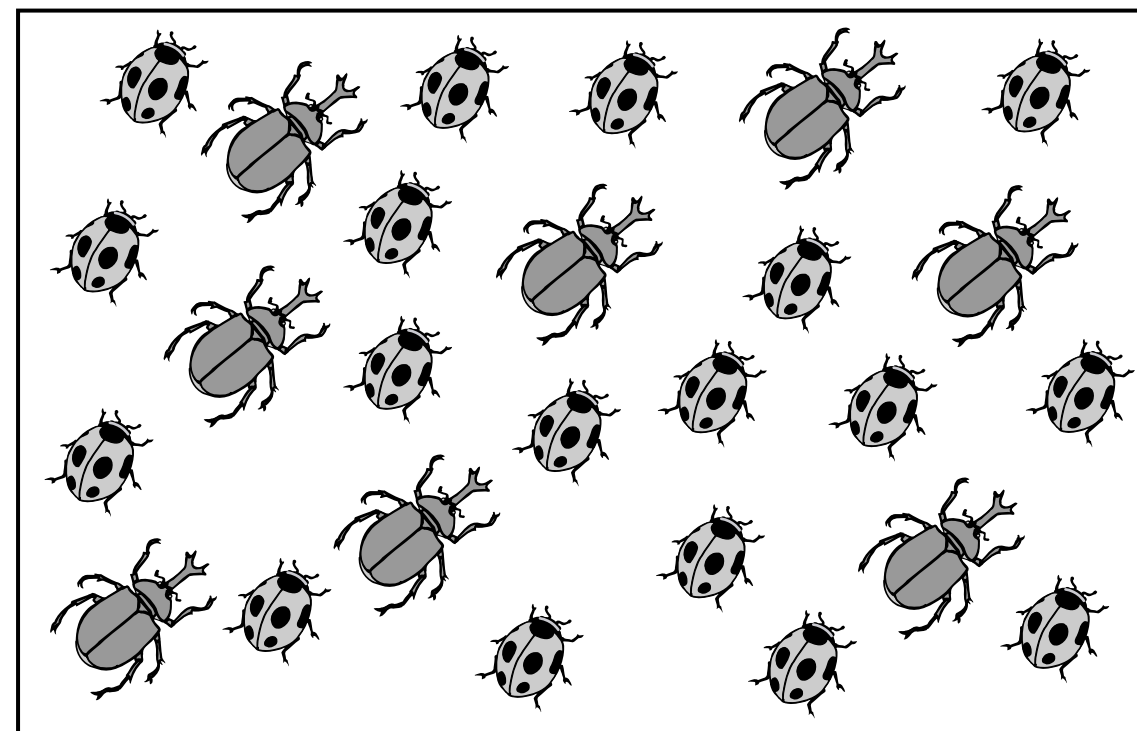
かず2

- <問題> (1) それぞれいくつあるか、□に数字をかきましょう。
 (2) 数が多いほうの絵に、 をつけましょう。

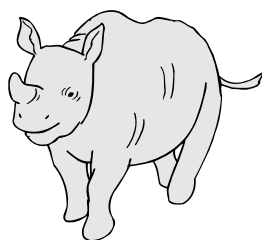


<指導のポイント>

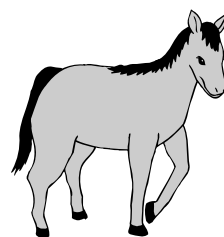
それぞれ別の色で絵に印をつけながら、数を数えて比べましょう。答えあわせの時には、1つずつ絵を線で結んでどちらが多いか確かめてみるとよいでしょう。



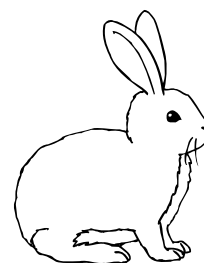
け
も
の



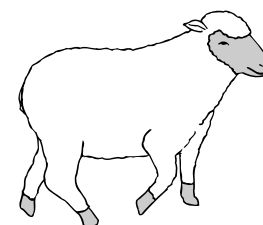
さ
い



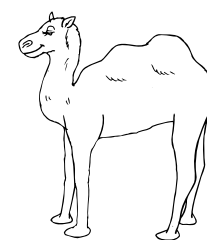
う
ま



う
さ
ぎ



ひ
つ
じ

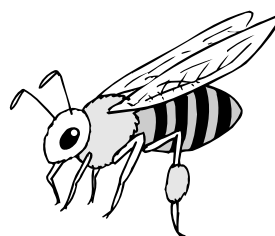


ら
く
だ

む
し



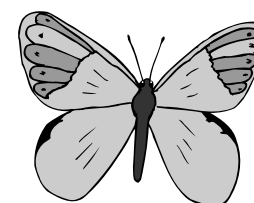
が



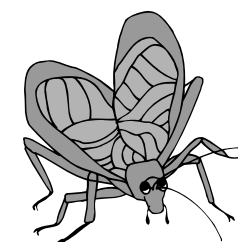
は
ち



せ
み



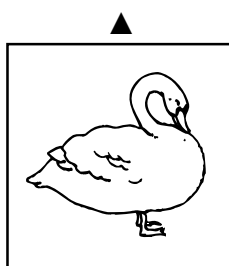
ち
よ
う



す
ず
む
し

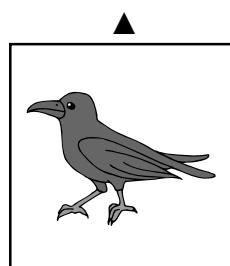
く
ろ
い

•



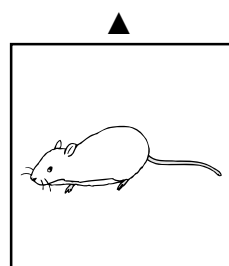
し
ろ
い

•



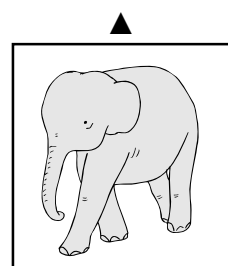
お
も
い

•



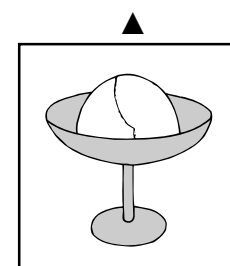
か
る
い

•



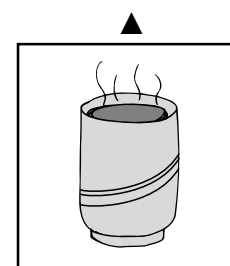
あ
つ
い

•



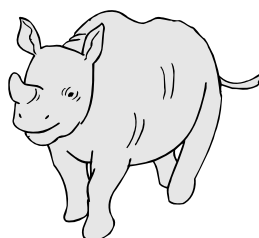
つ
め
た
い

•

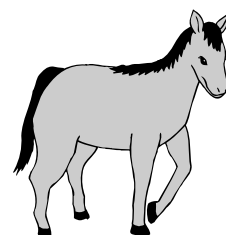


<問題> ひらがなをなぞりましょう。

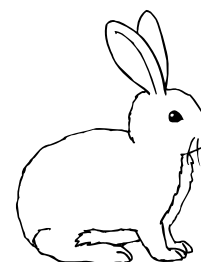
け
も
の



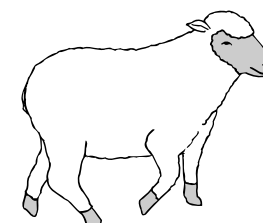
さ
い



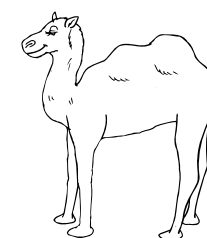
う
ま



う
さ
ぎ



ひ
つ
じ



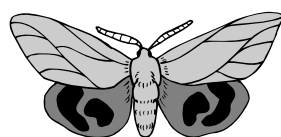
ら
く
だ

<指導のポイント>

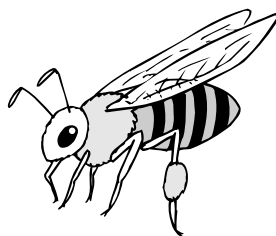
けもの名前をていねいになぞりましょう。「ぎ」「じ」「だ」は「ゝ」をつけるのを忘れないように注意させて下さい。書き終わったら、一緒にことばを読んでおきましょう。「けもの」の仲間は、四つ足の動物で、卵ではなく子ども（赤ちゃん）で生まれてきます。これ以外にもどんなものがあるか、お子さんに言わせてみるとよいでしょう。

<問題> ひらがなをなぞりましょう。

む
し



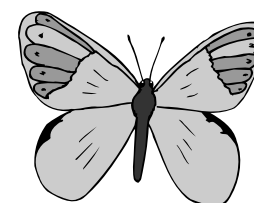
が



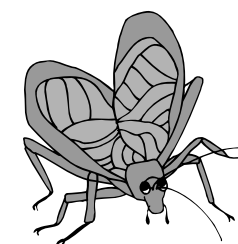
は
ち



せ
み



ち
よ
う



す
ず
む
し

<指導のポイント>

虫の名前をていねいになぞりましょう。書き終わったら、一緒にことばを読んでおきましょう。「ちょう」の「う」ののばす音の読み方にも注意させましょう。この他にも、いろいろな虫の名前を言わせてみるとよいでしょう。

年長B

ことば1

<問題> (1) ひらがなをなぞりましょう。
(2) ことばにあう絵と、線で結びましょう。

く
ろ
い

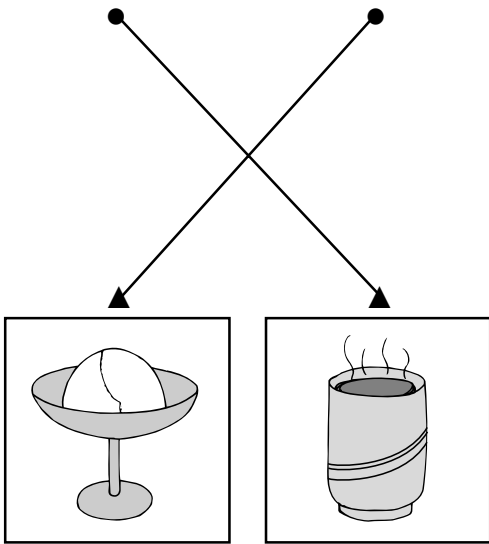
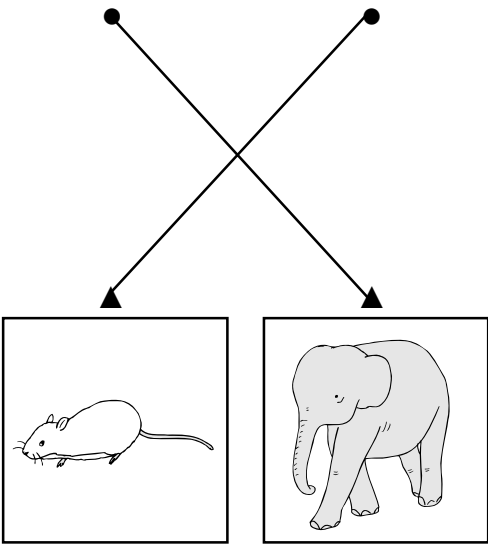
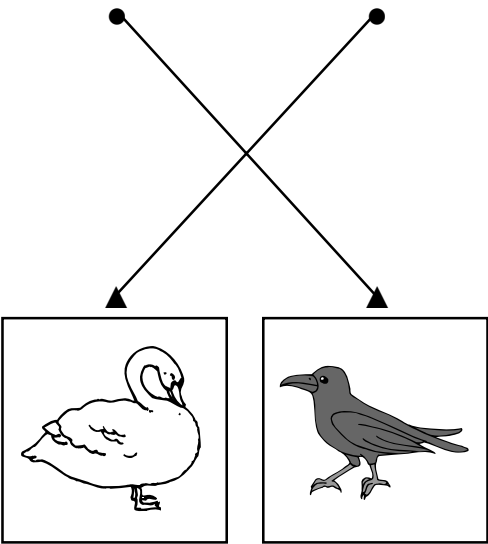
し
ろ
い

お
も
い

か
る
い

あ
つ
い

つ
め
た
い

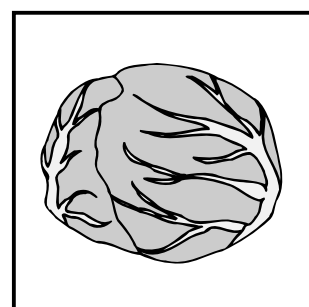


<指導のポイント>
意味が反対のことばを対にして覚えましょう。答えあわせの時には、「からすは黒い、白鳥は白い」というように文を作って言わせてみるとよいでしょう。

タ
チ
ツ
テ
ト

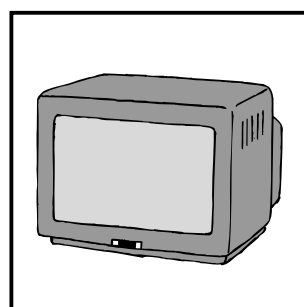
タオル

.



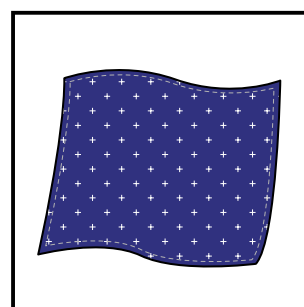
ハンカチ

.



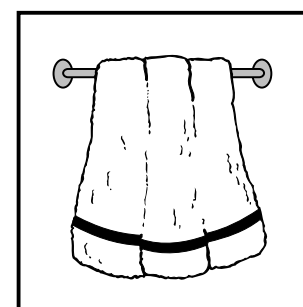
キャベツ

.



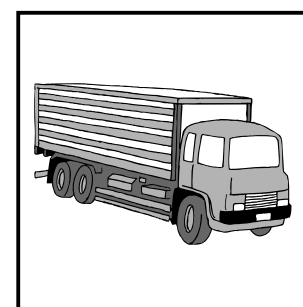
テレビ

.



トラック

.



おおきい

・

ながい

・

たかい

・

はちい

・

あつい

・

あかるい

・

ひくい

▲

おそい

▲

ちいさい

▲

せむい

▲

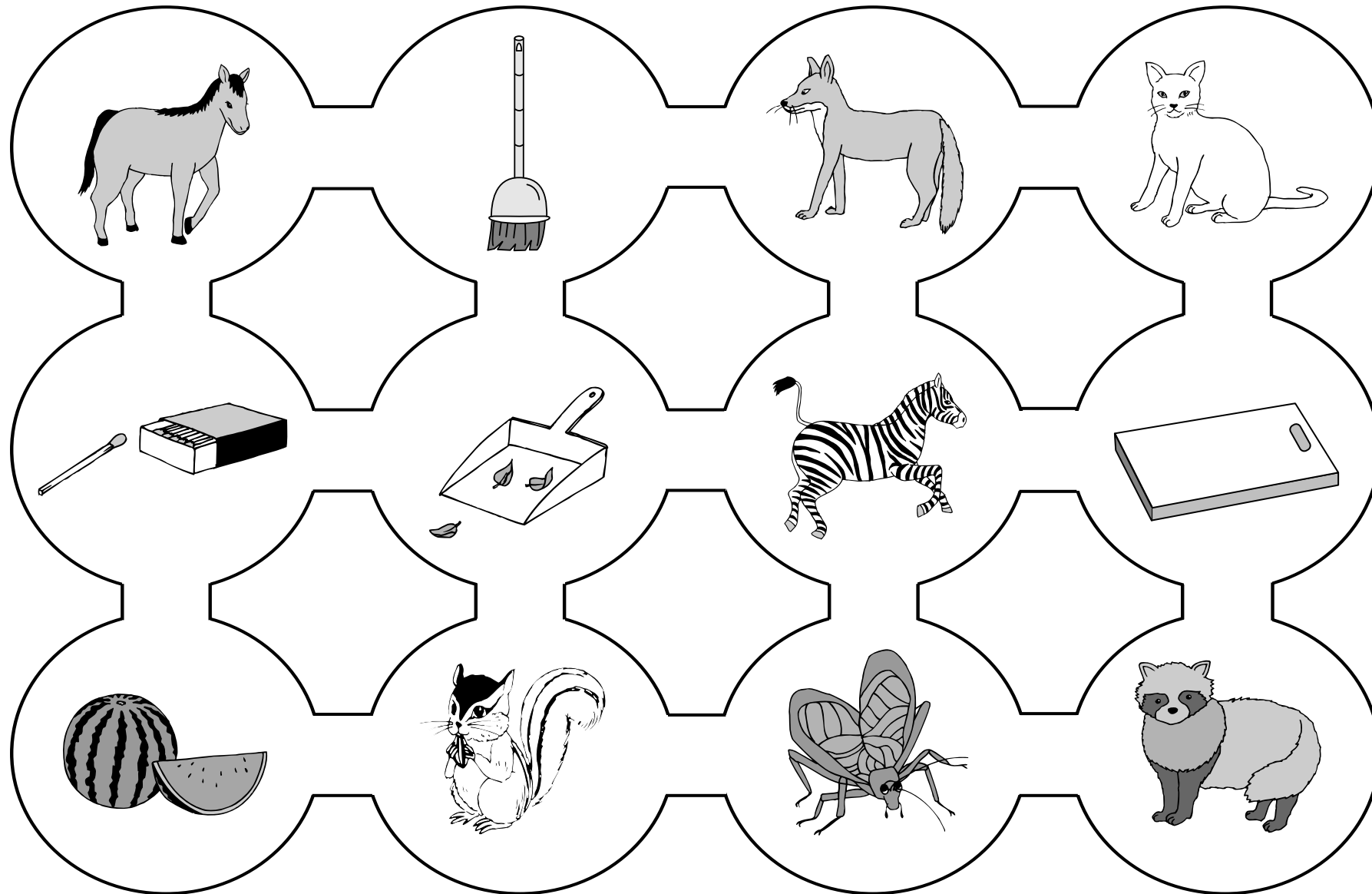
くらい

▲

みじかい

▲

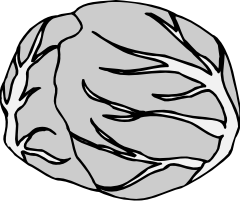
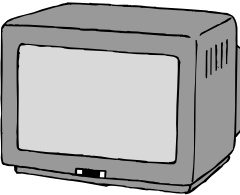
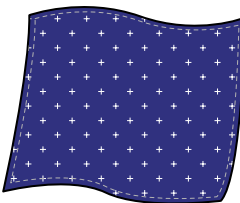
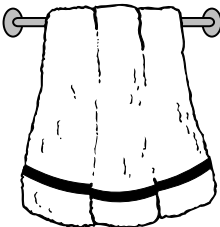
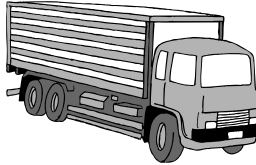
はじめ



おわり

- <問題> (1) 左のカタカナを読みましょう。
(2) 上のことばにあう絵を下から選んで、線で結びましょう。

タ	タオル	ハンカチ	キャベツ	テレビ	トラック
チ					
ツ					
テ					
ト					

				
--	---	---	---	---

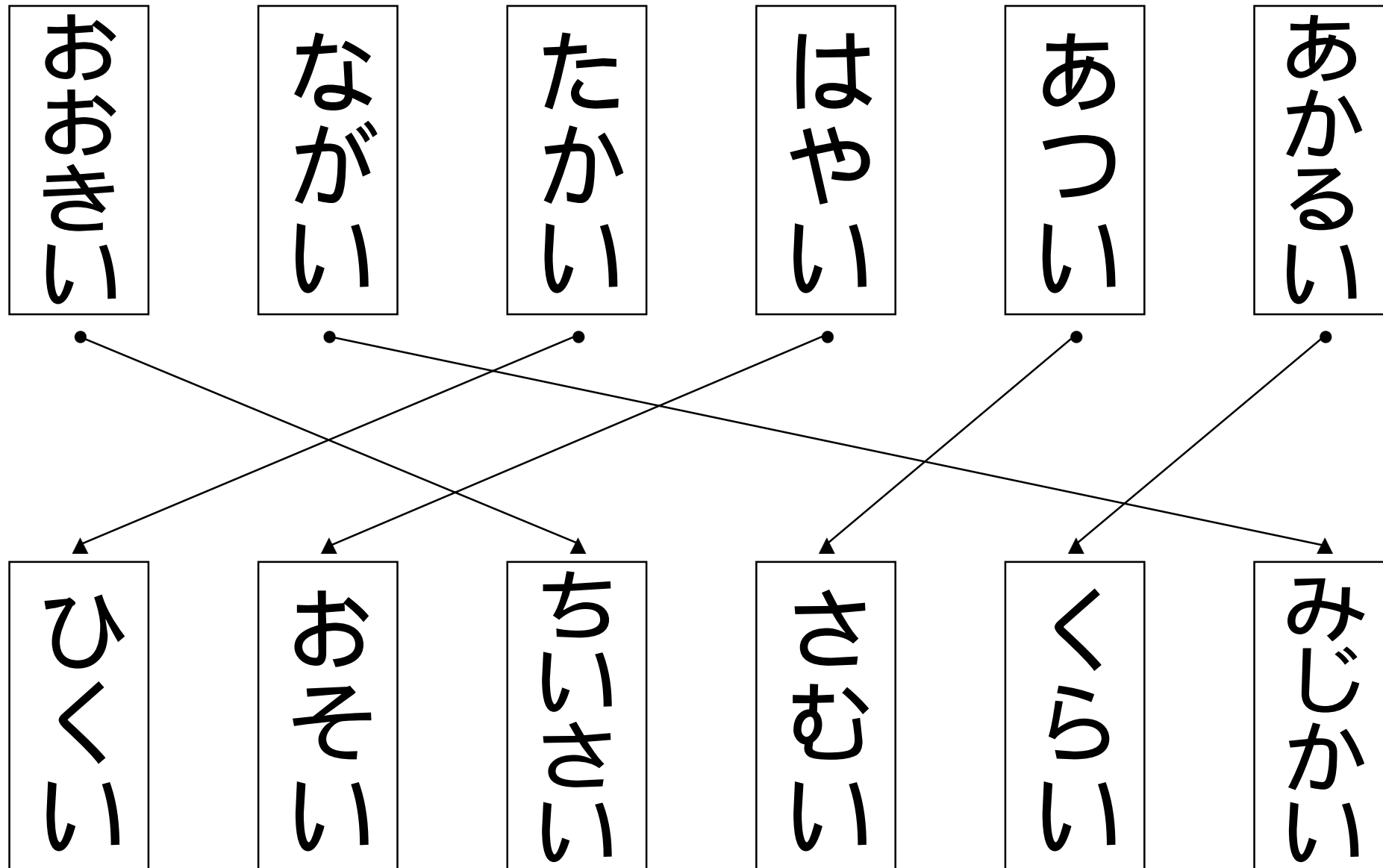
<指導のポイント>

上の段のことばを一つずつ読んで復唱させてから、あう絵と結ばせるとよいでしょう。また、ことばの中に、「タ」「チ」「ツ」「テ」「ト」の文字をさがして、をつけましょう。これ以外にも、カタカナで書くことばをお子さんと一緒に集めてみましょう。

年長B

ことば2

<問題> 意味が反対のことばを線で結びましょう。



<指導のポイント>

意味が反対のことばを対にして覚えましょう。指導者が「『大きい』の反対は？」と聞いてあげて、お子さんに「小さい」と答えさせる「反対語ゲーム」もやってみるとよいでしょう。

<問題> しりとりをして線で結びましょう。

はじめ

うま

ちりとり

しまうま

まないた

まっち

りす

すずむし

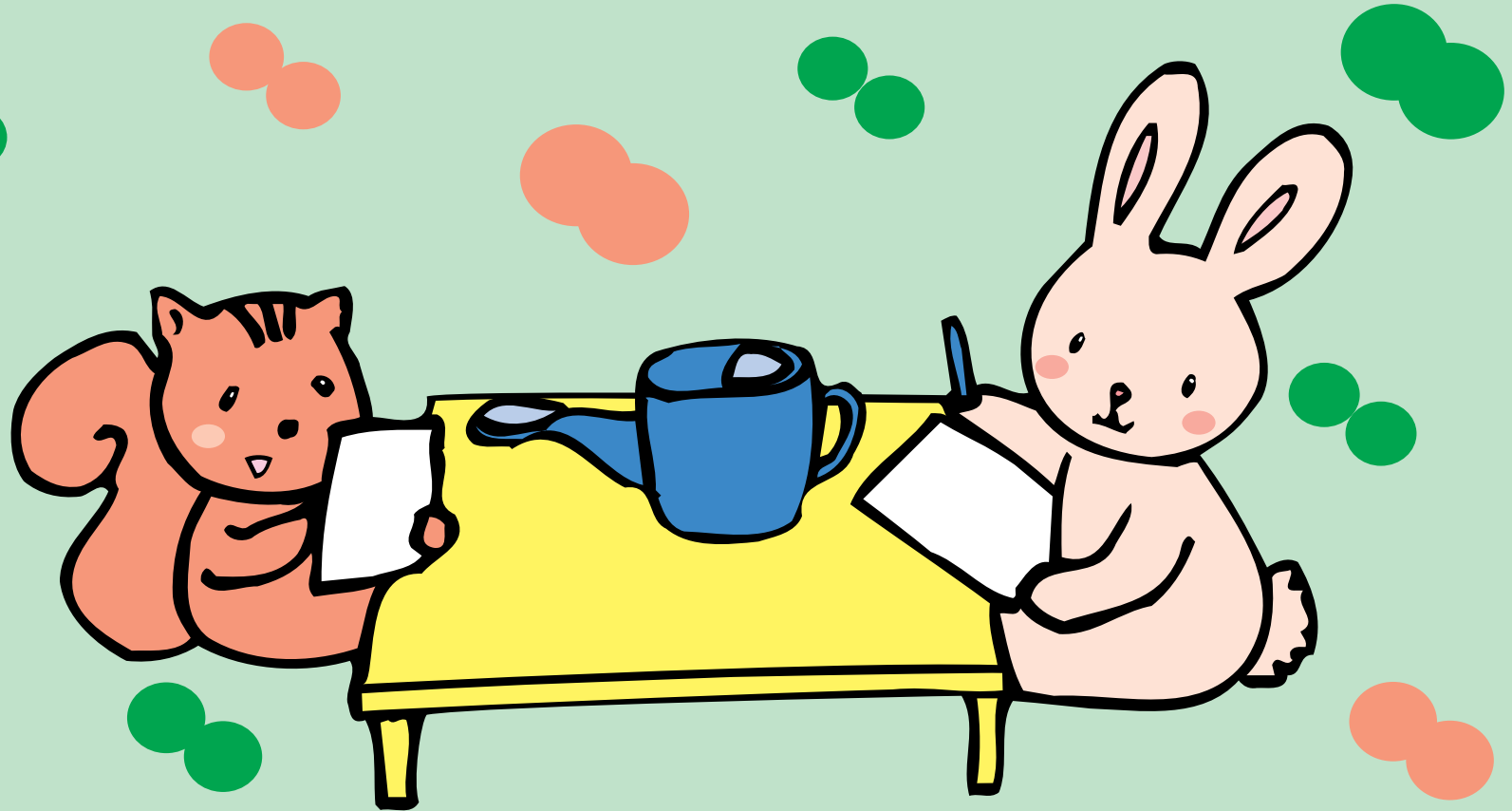
たぬき

おわり

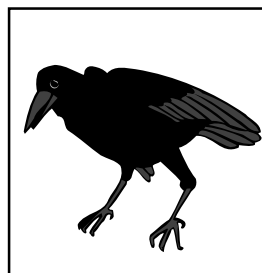
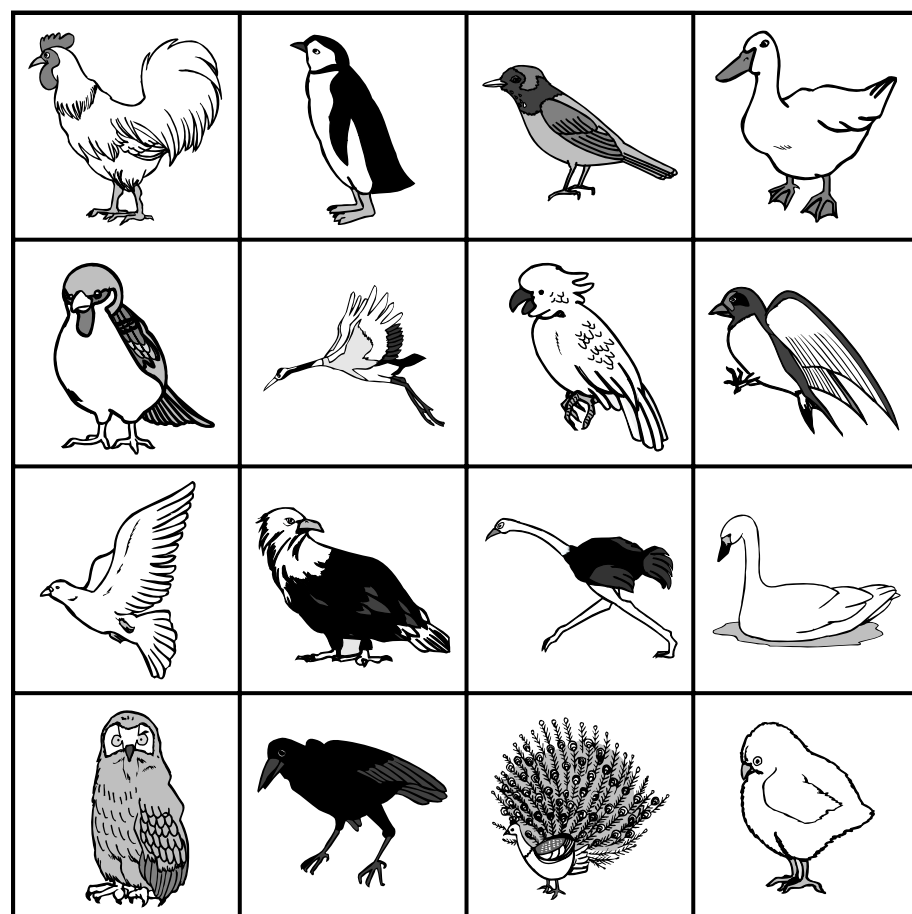
<指導のポイント>

さきに、しりとりのルールを確認しておきましょう。ことばの終わりの音から始まることばを考えて、続けます。「ん」で終わることばは使えません。線で結んでいる途中でしりとりができなくなったら、もどってもう一度うまくつながるように考えさせましょう。

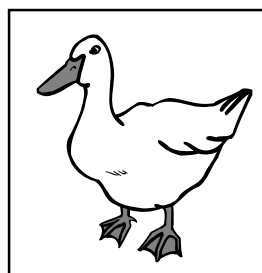
すくすくどんどん (新作電子版)



Bシリーズ 年長用 ずけい編



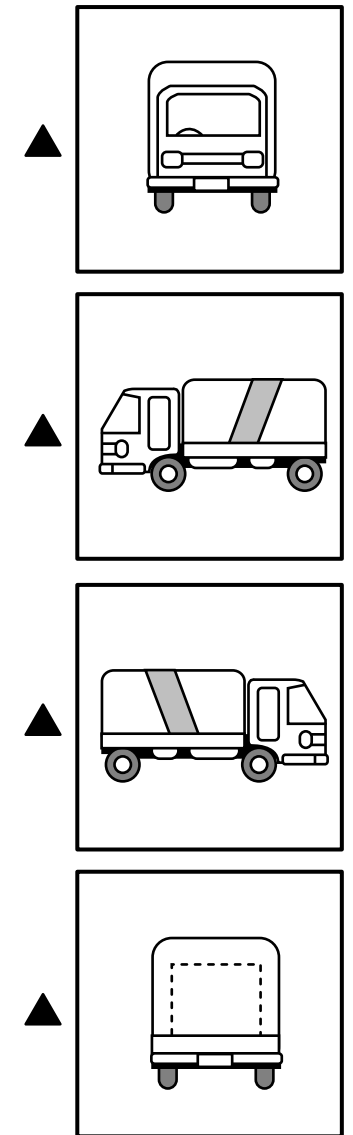
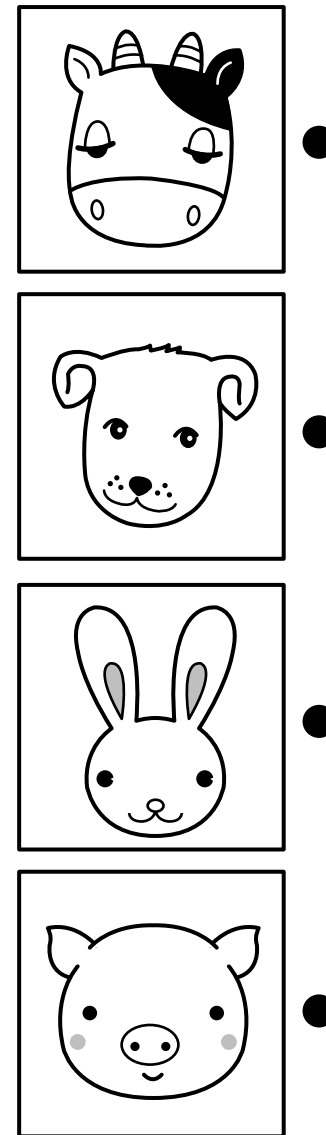
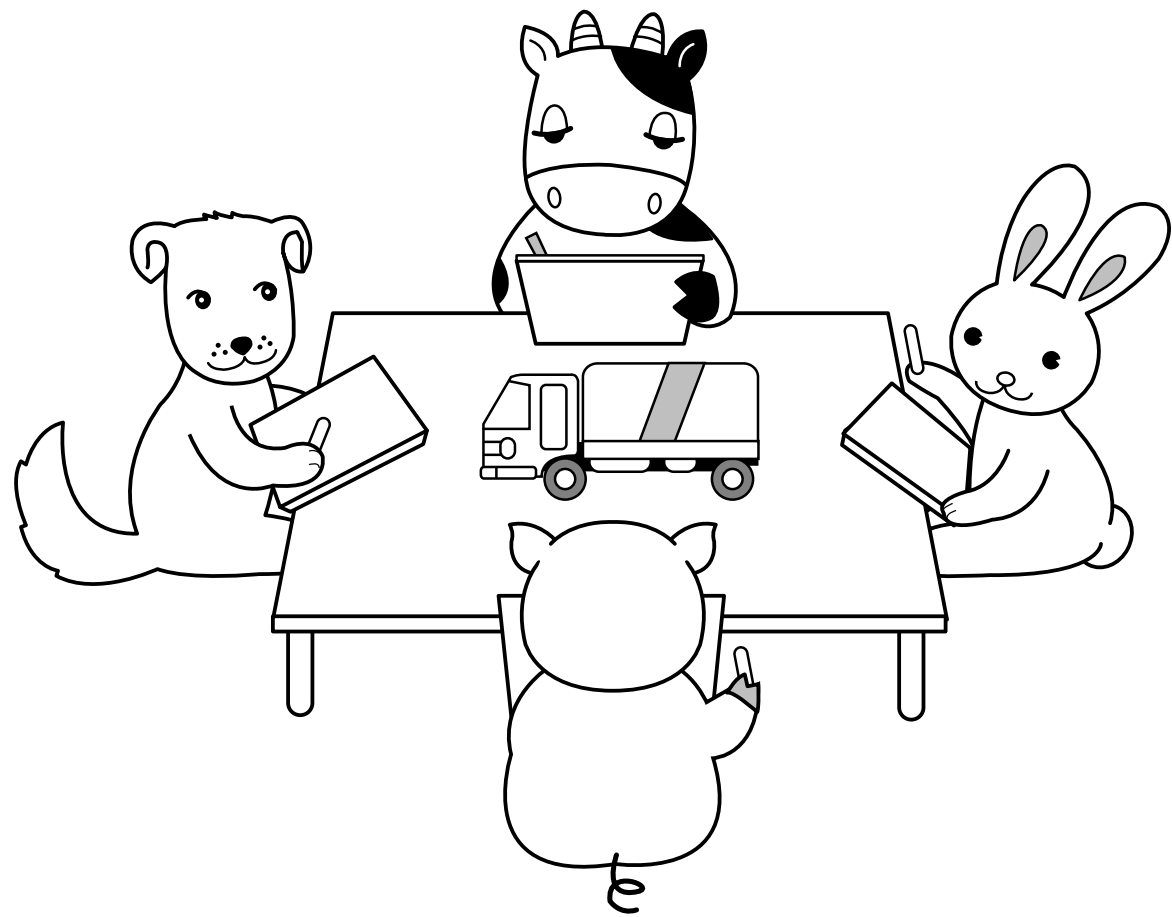
したから () だんめ
ひだりから () ばんめ

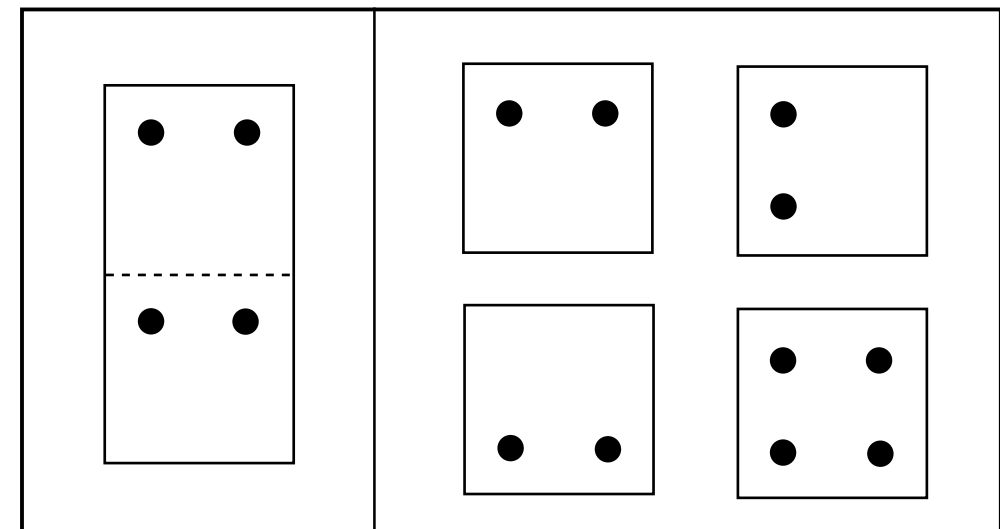
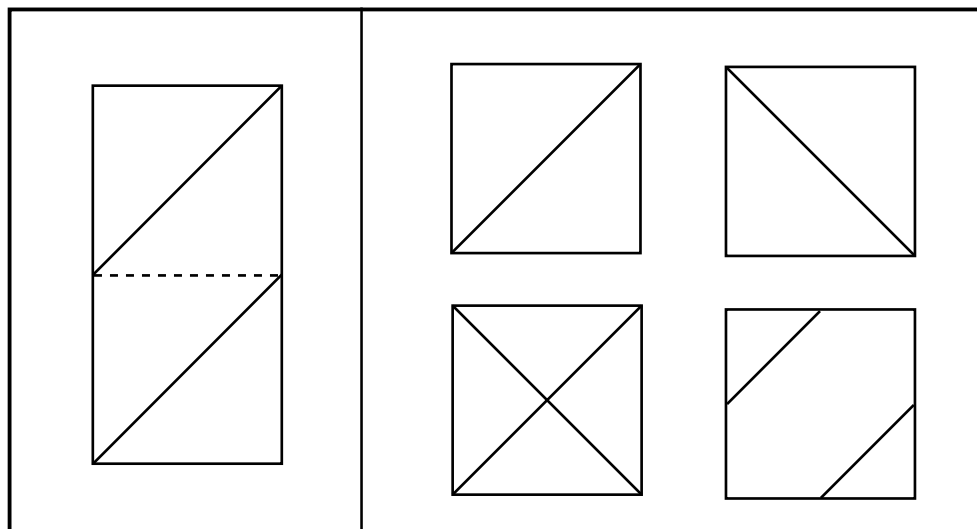
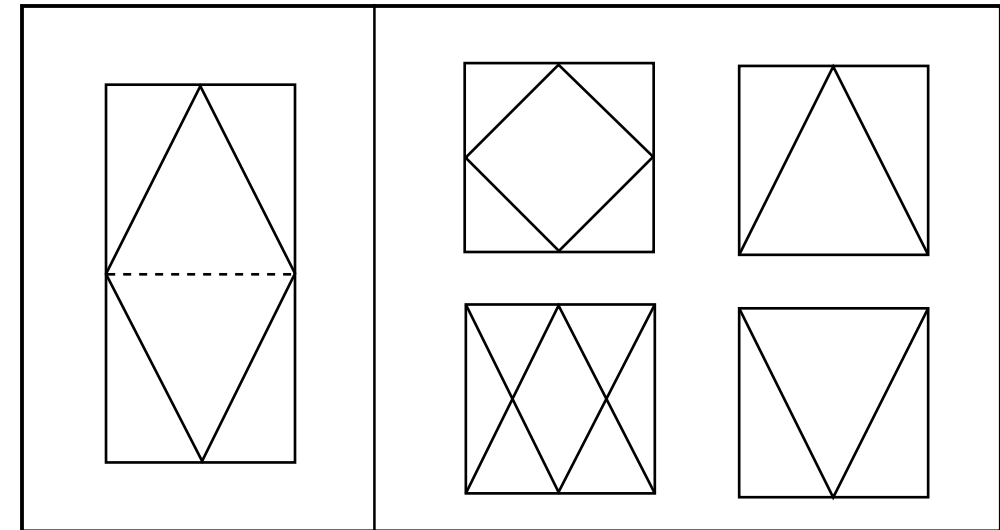
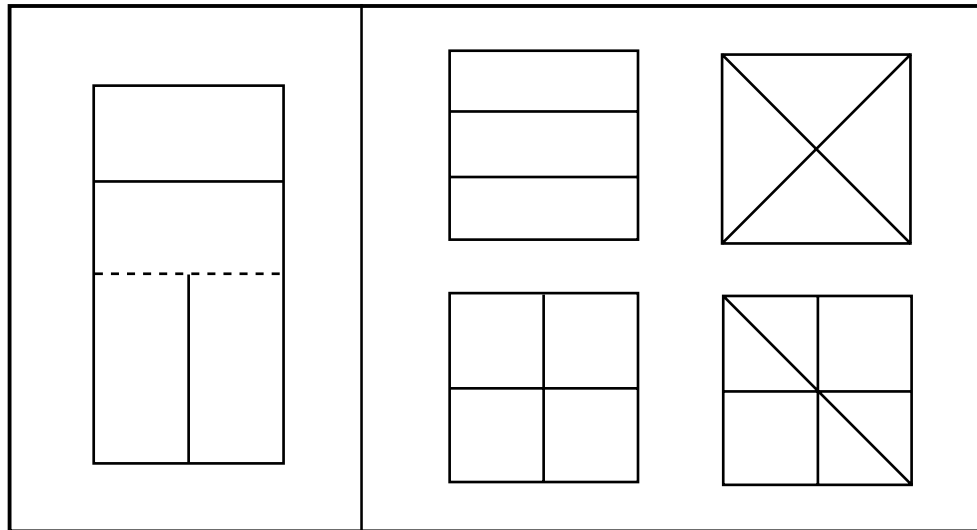


うえから () だんめ
ひだりから () ばんめ

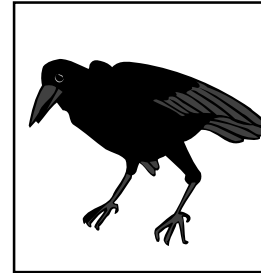
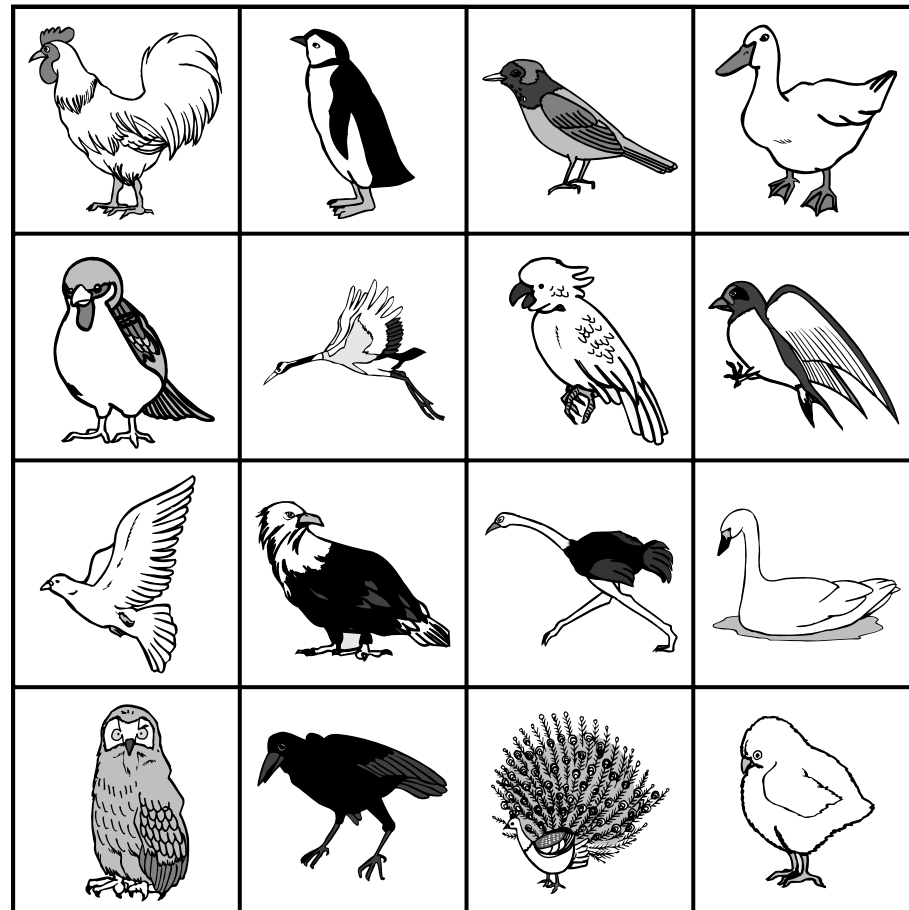


うえから () だんめ
みぎから () ばんめ

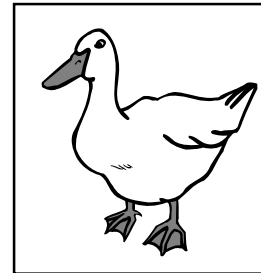




<問題> □の鳥の位置を（ ）に数字でかきましょう。



したから（ 1 ）だんめ
ひだりから（ 2 ）ばんめ



うえから（ 1 ）だんめ
ひだりから（ 4 ）ばんめ

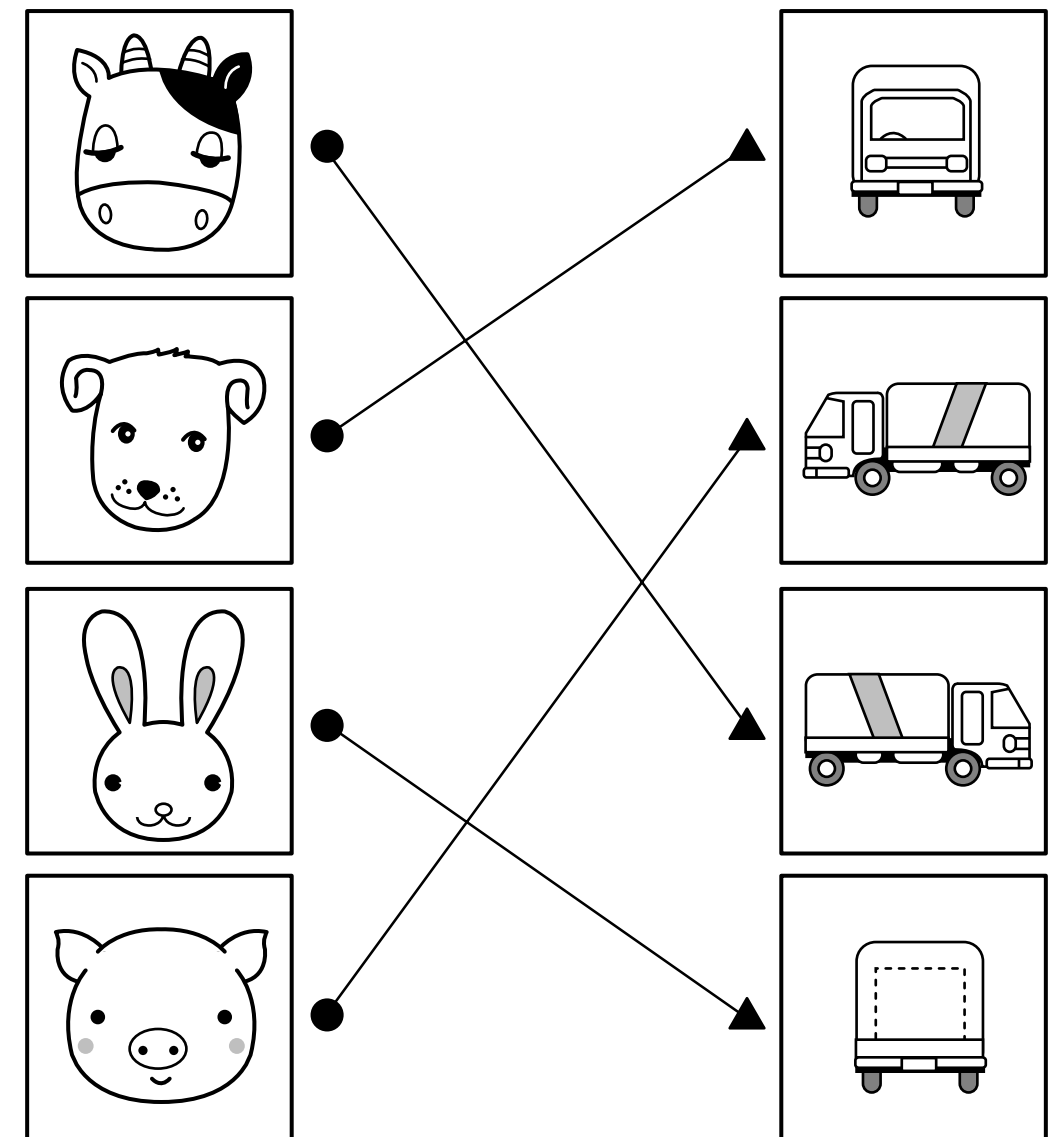
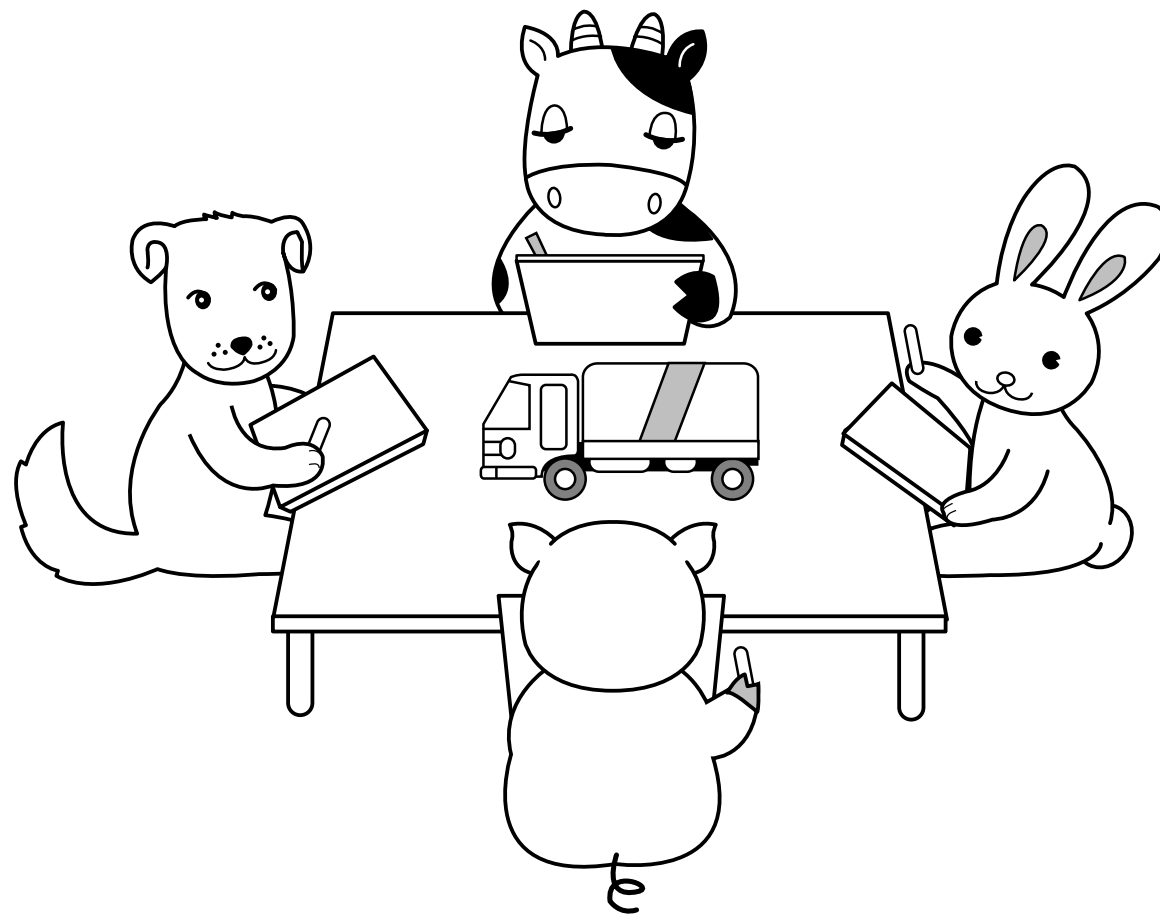


うえから（ 2 ）だんめ
みぎから（ 3 ）ばんめ

<指導のポイント>

まず、絵をよく見て、同じ鳥を左からさがしましょう。「上」「下」「左」「右」から、ものの個数を数える時と同じように、一つずつ指でおさえながら、しっかり順番を数えましょう。

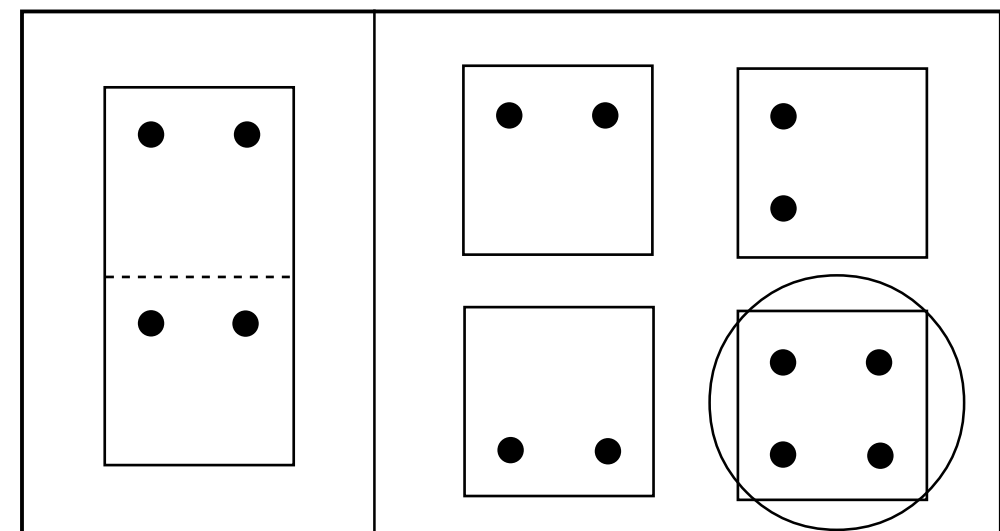
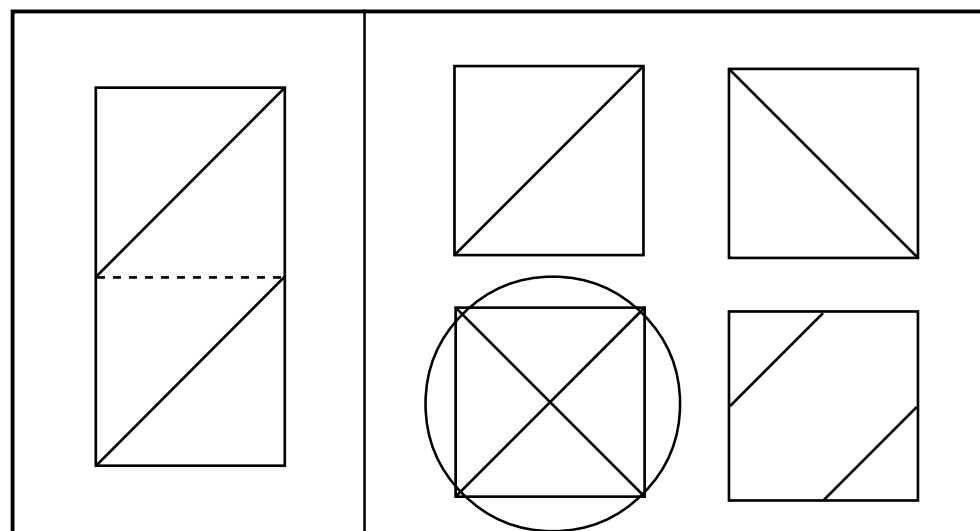
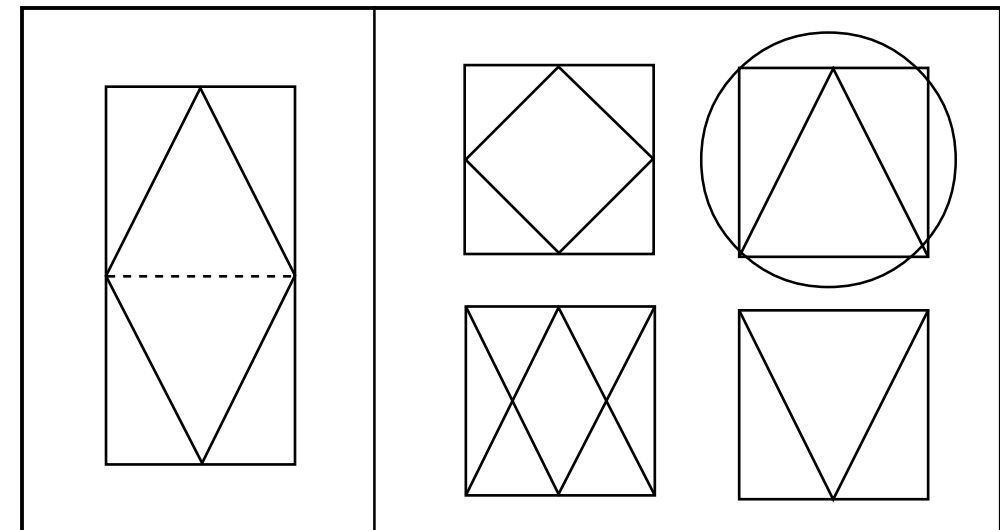
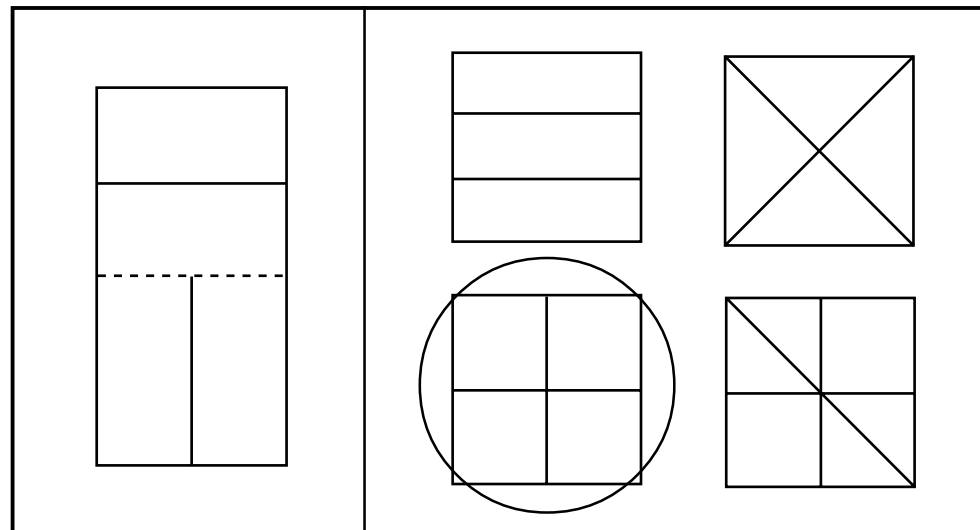
<問題> 動物たちが、おもちゃのバスの絵をかきました。どの動物がどの絵をかいたか、線で結びましょう。



<指導のポイント>

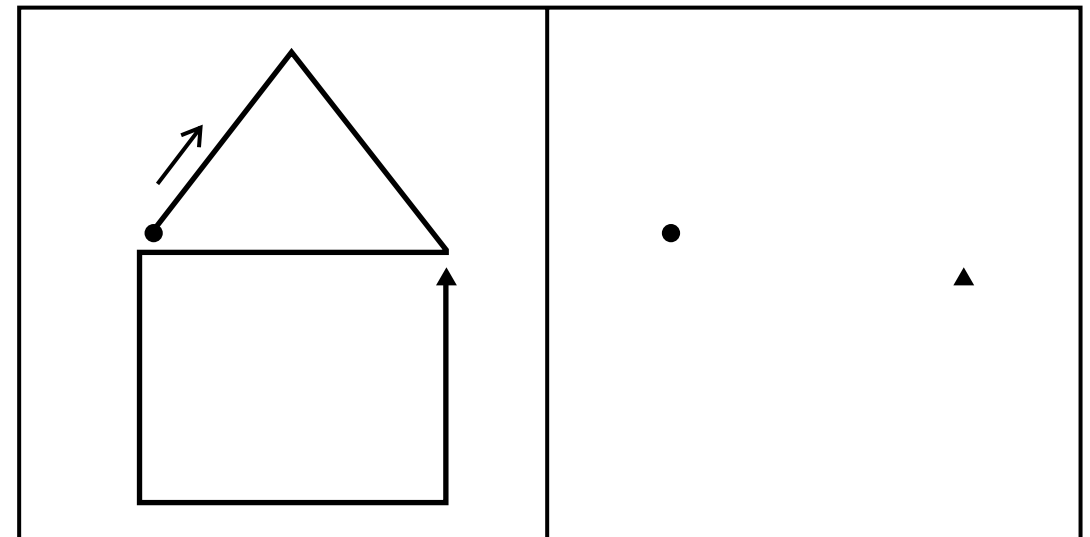
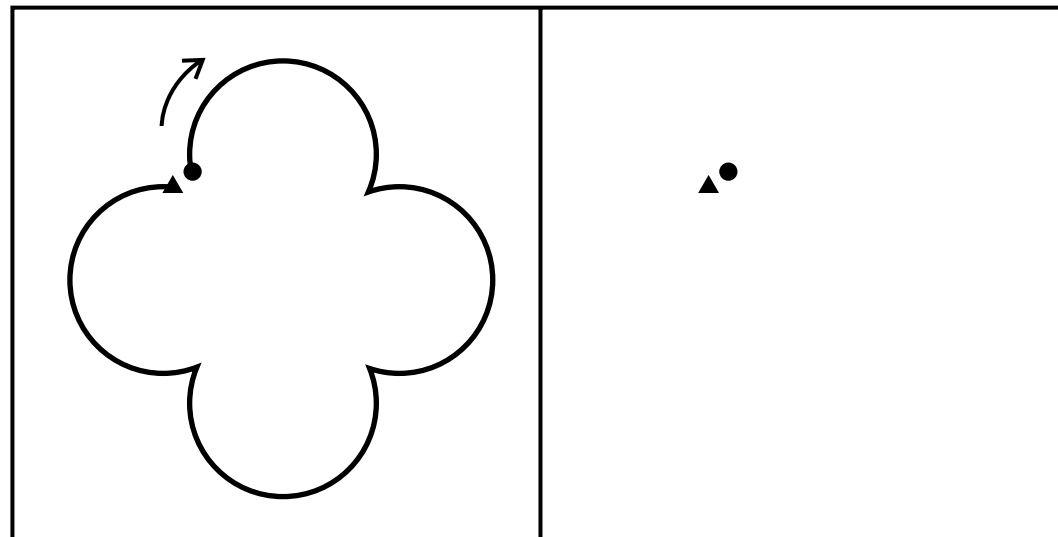
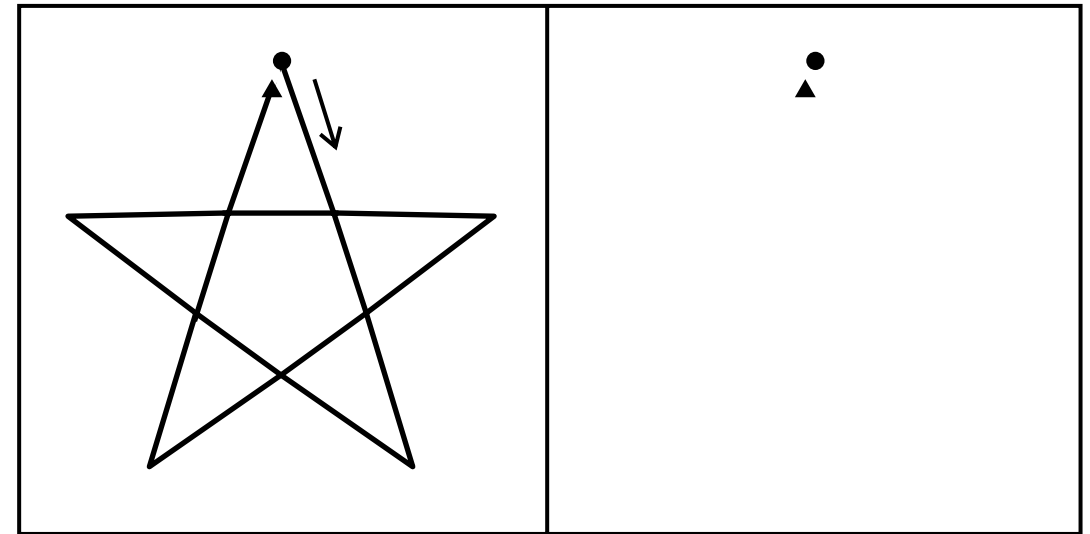
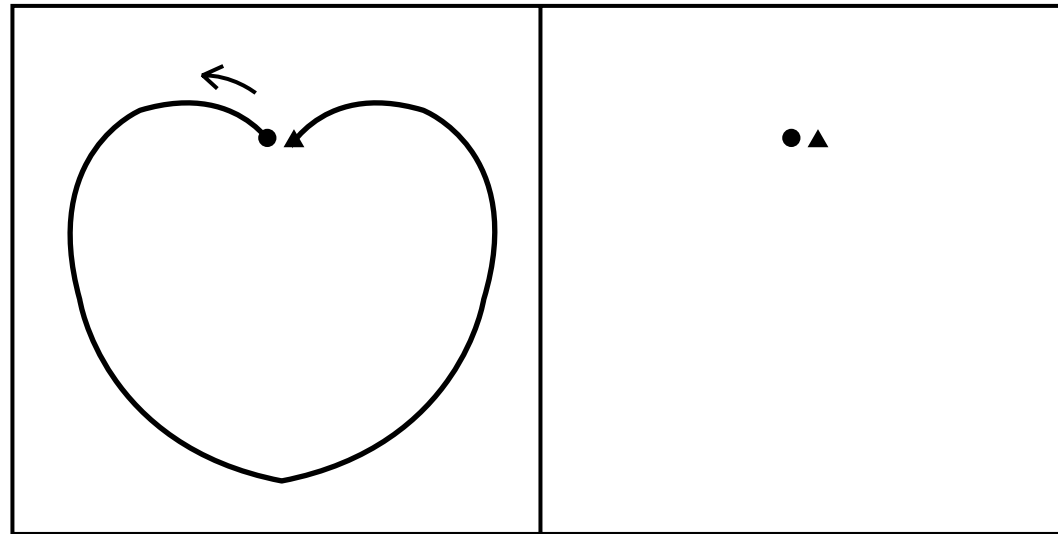
実際に物を置いて、いろいろな位置からながめさせてみましょう。今まで気づかなかった形を見つけたりしながら、客観的にものを見ることができるようになり、観察力が発達していきます。

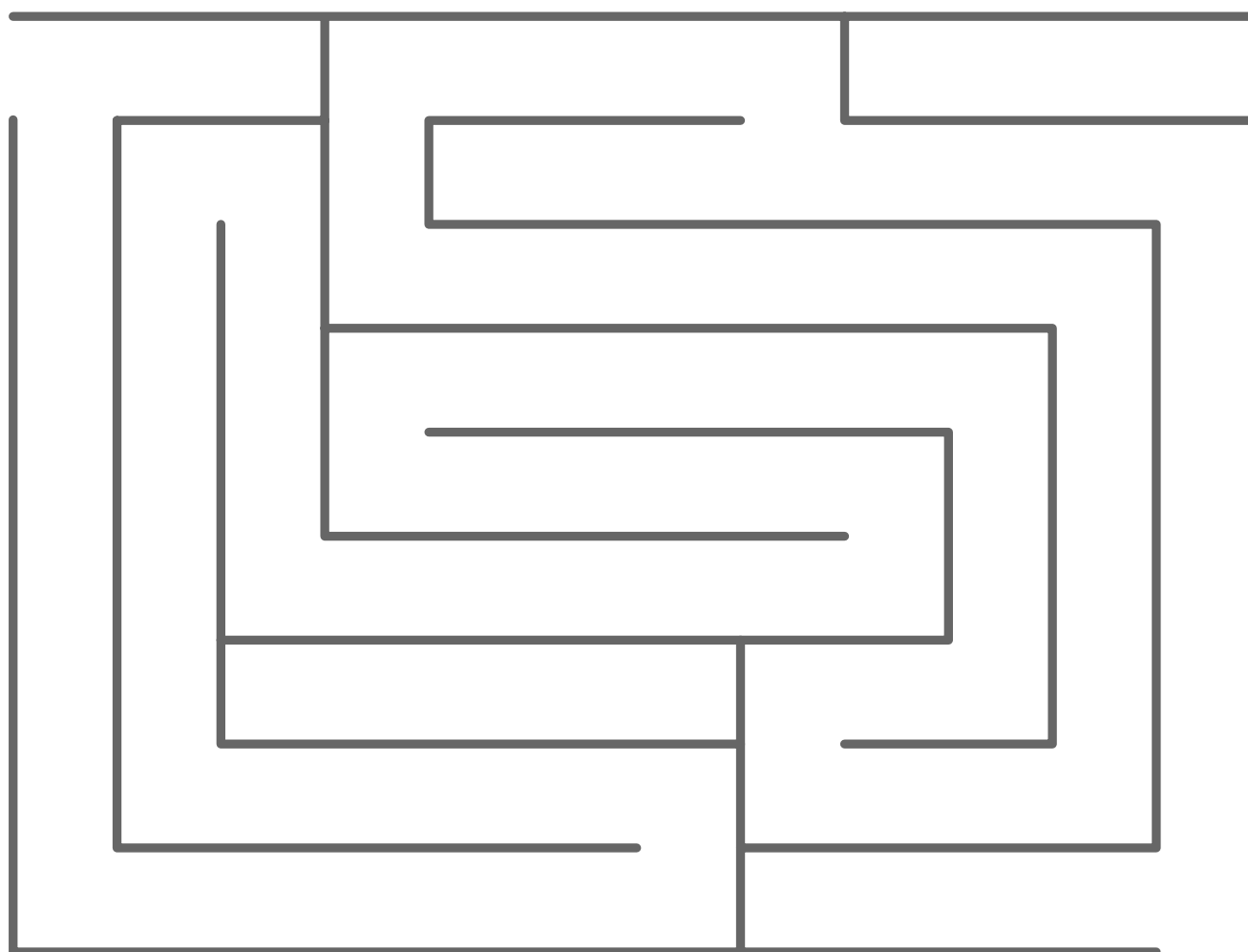
<問題> この問題のもようは、全部透き通った板にかいてあります。左側の長方形の板を、まん中の点線で上に折ったら、どんなもようができるでしょうか。右側から選んで、 をつけましょう。



<指導のポイント>

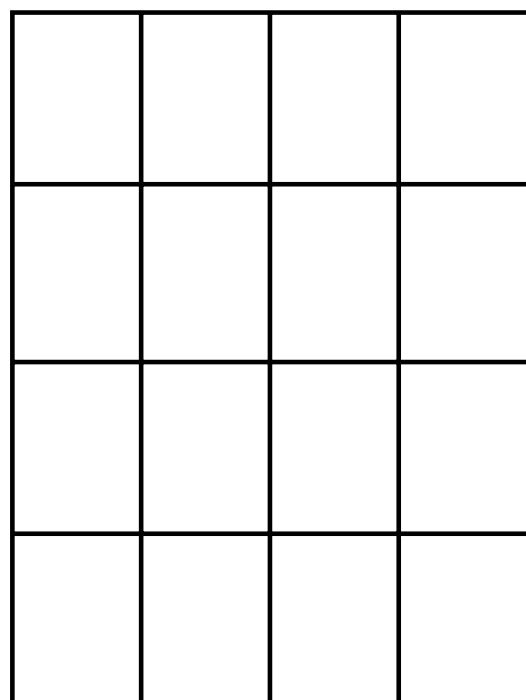
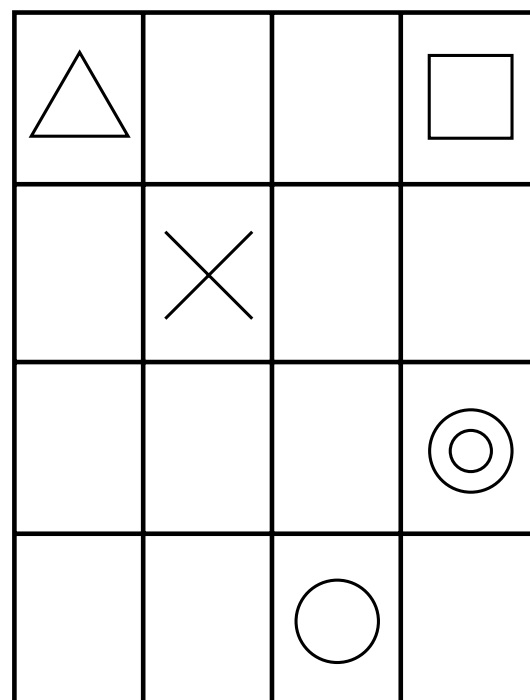
できれば、透明な板（下じきなど）を使って、実際に折り重ねてみせてあげて下さい。折り重ねる時は、そのまま2つを重ねる場合とは違ったもようができることに気づかせましょう。



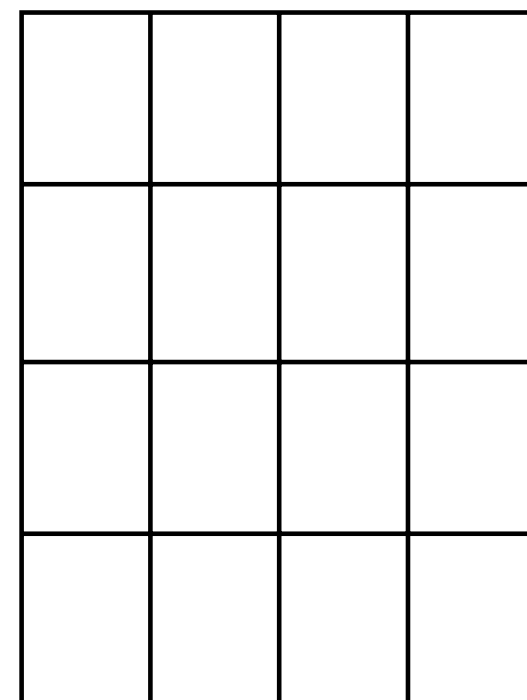
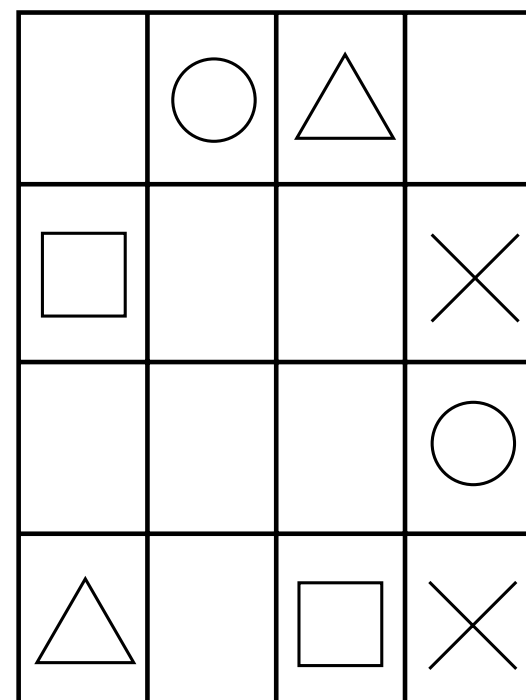


↓
おわり

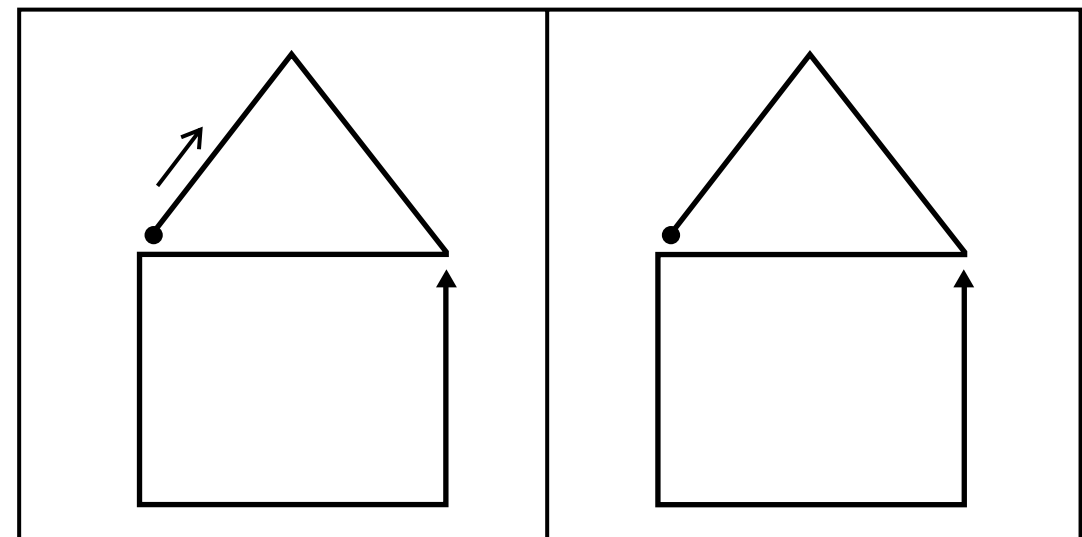
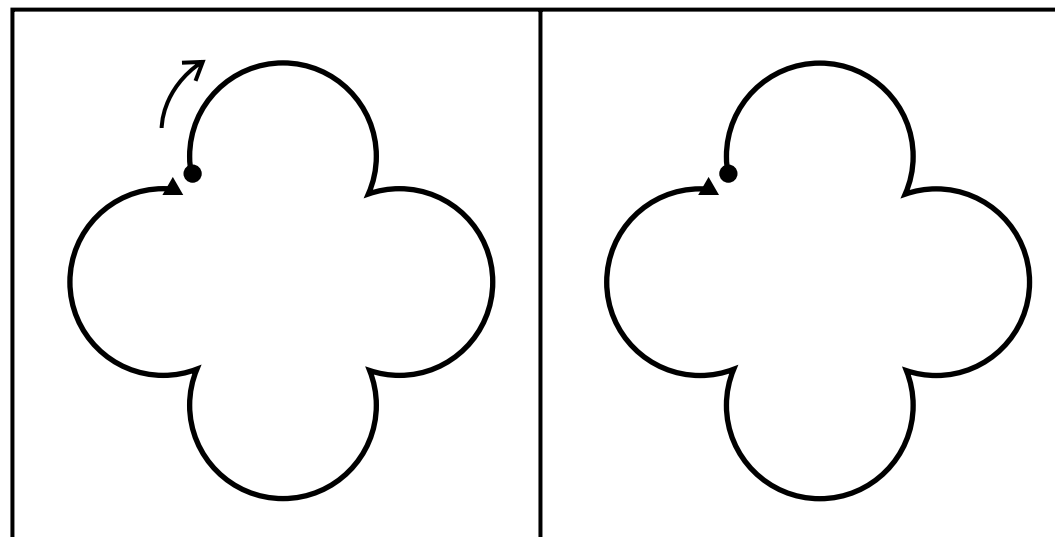
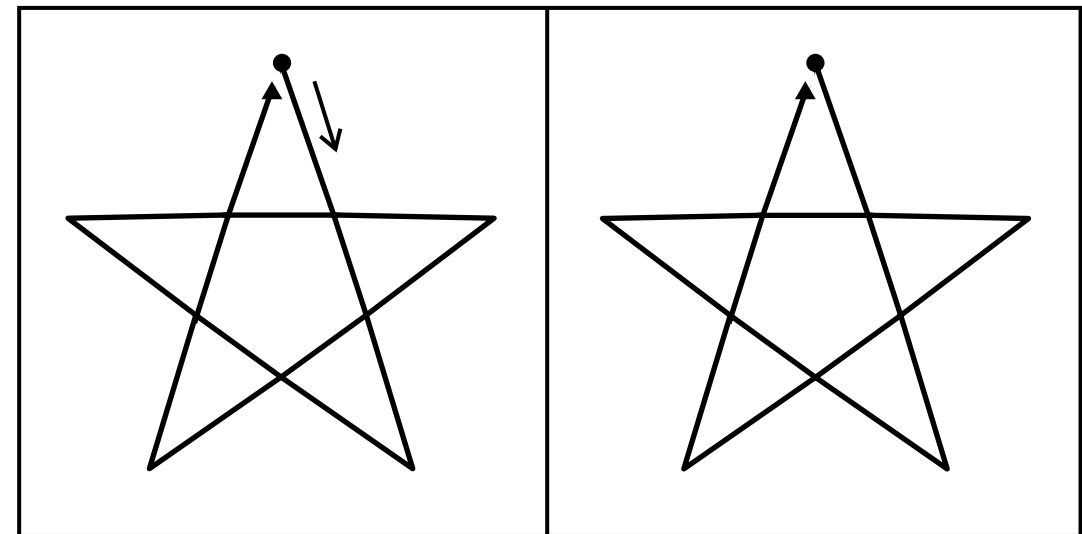
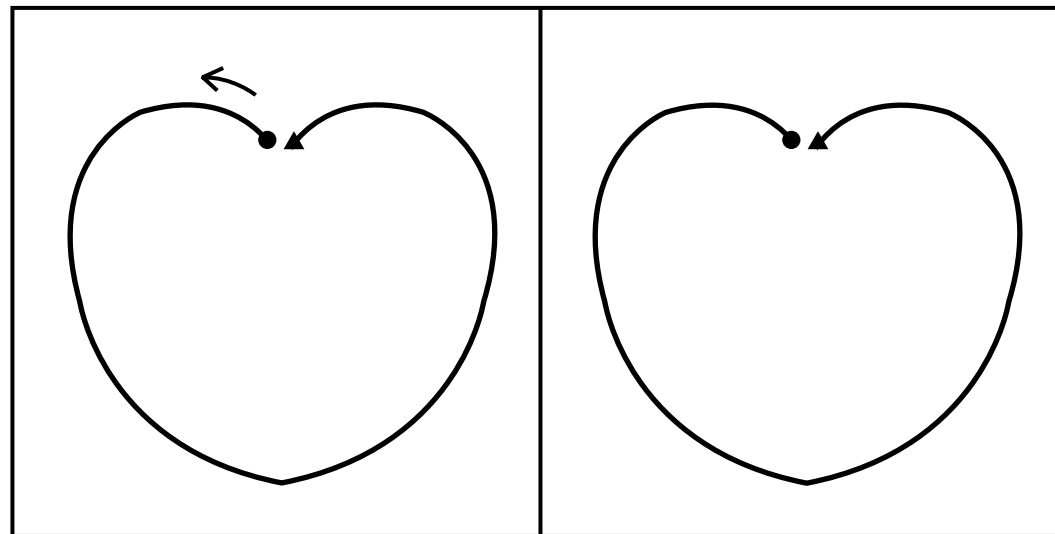
(1)



(2)



<問題> 左のお手本と同じになるように、●から▲まで、ひとふででかきましょう。

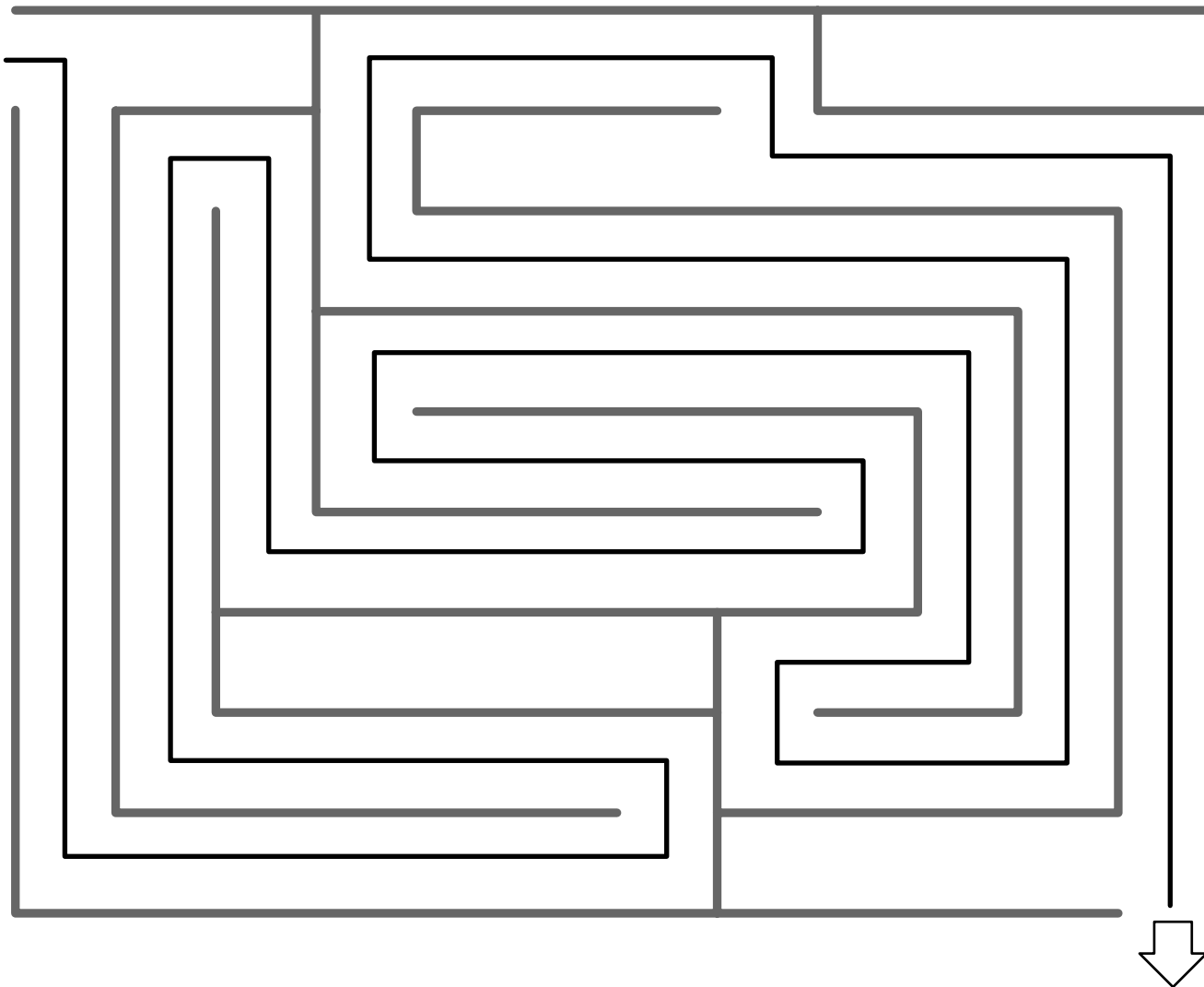


<指導のポイント>

一筆書きでは、書きはじめてから書き終わりまで鉛筆をはなせずに、線が続けてかきます。まず、指導者がお手本を見せてあげるとよいでしょう。この他にも、一筆でいろいろな形をかかせてみるとよいでしょう。

<問題> 「はじめ (⇒)」から「おわり (⇩)」まで、道に線をひきましょう。

はじめ ⇒



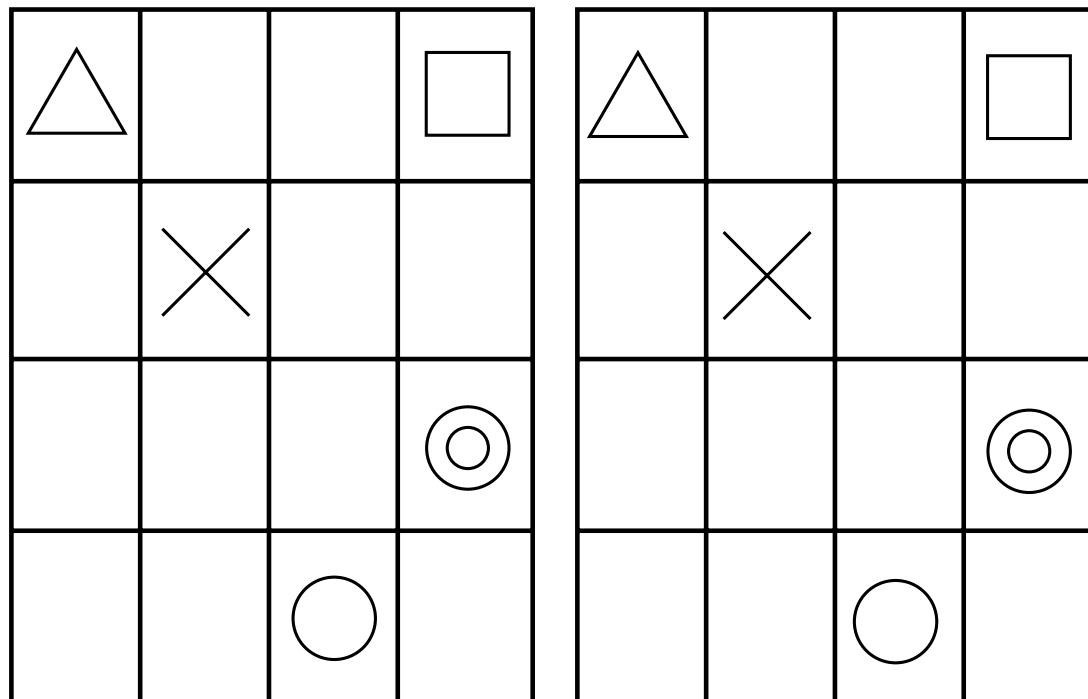
⇩
おわり

<指導のポイント>

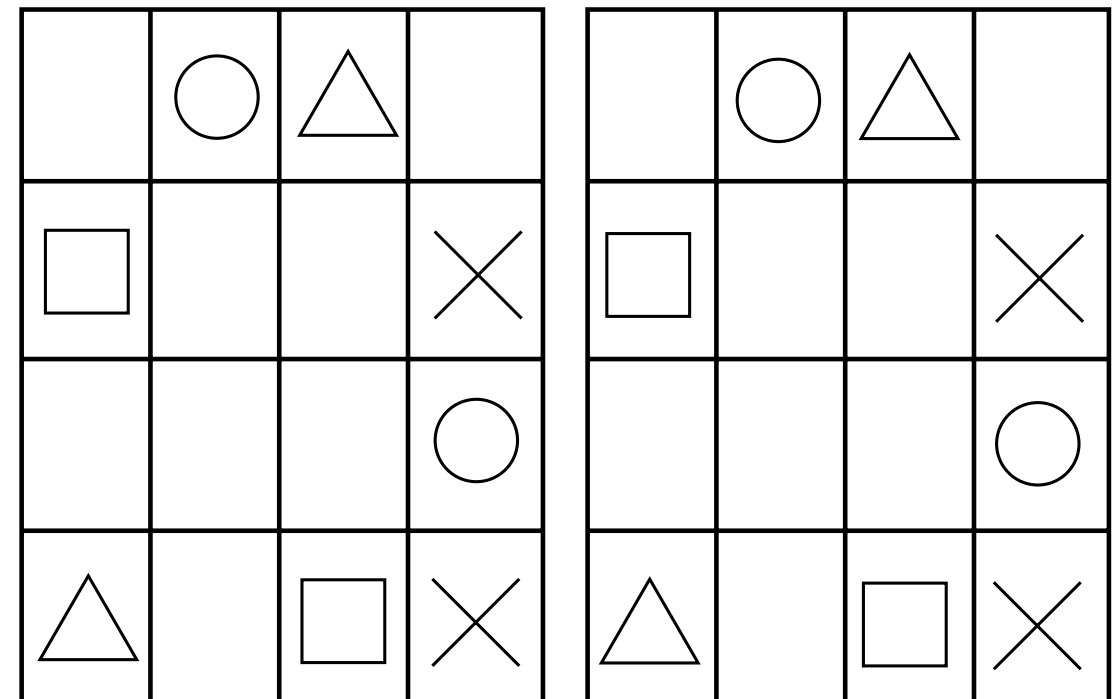
迷路の問題は、運筆力と推理力の両方を養うのに役立ちます。道が分かれている所では、先をよくみてどちらに行けばうまく進めるか、考えさせましょう。もし行き止まりになったら、途中までもどって別の道に進んでみましょう。最後まで線をひくことが大切です。

<問題> 左と同じになるように、印をかきましょう。

(1)

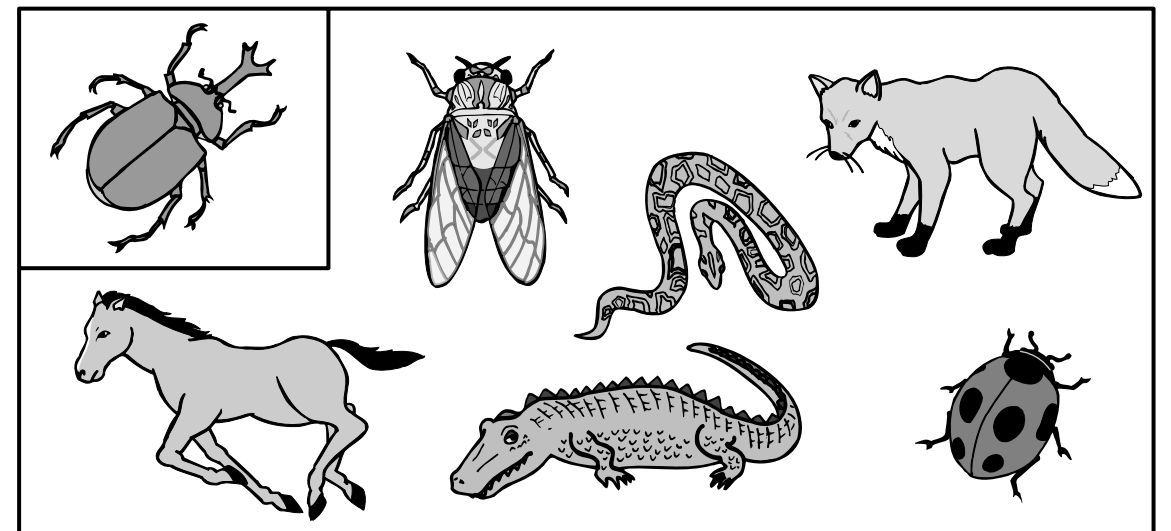
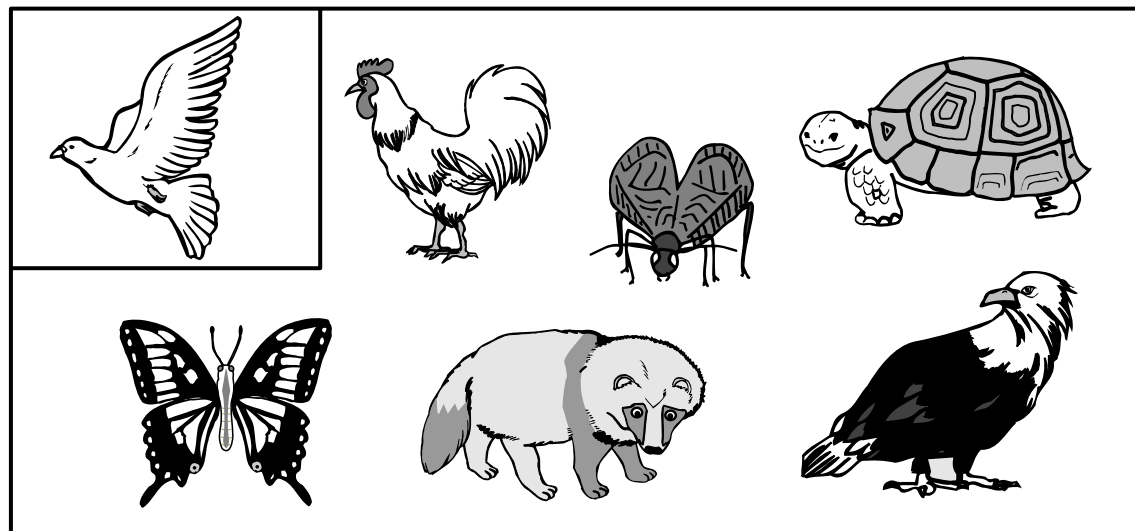
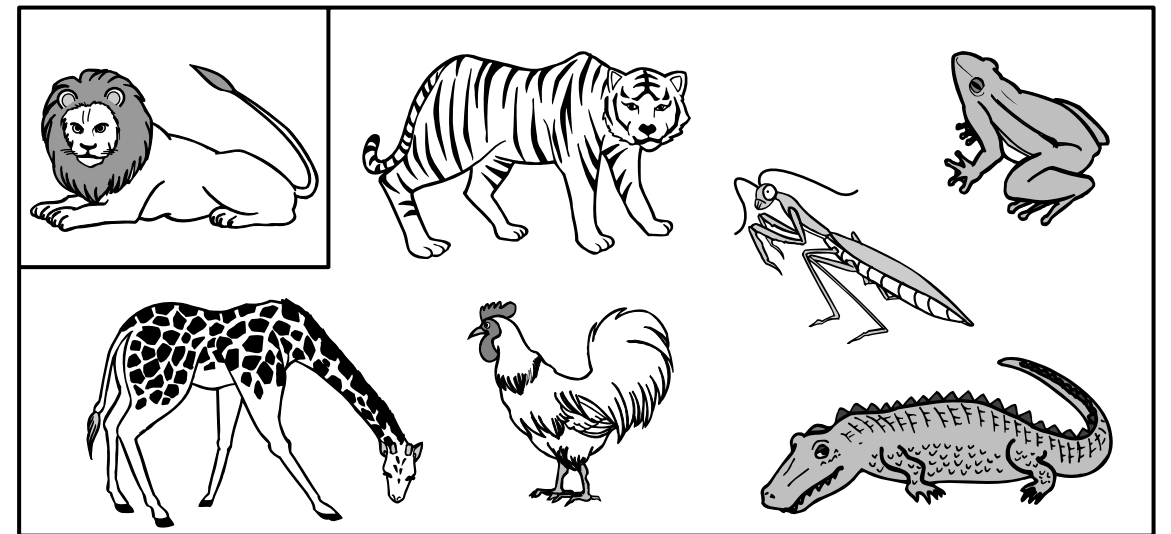
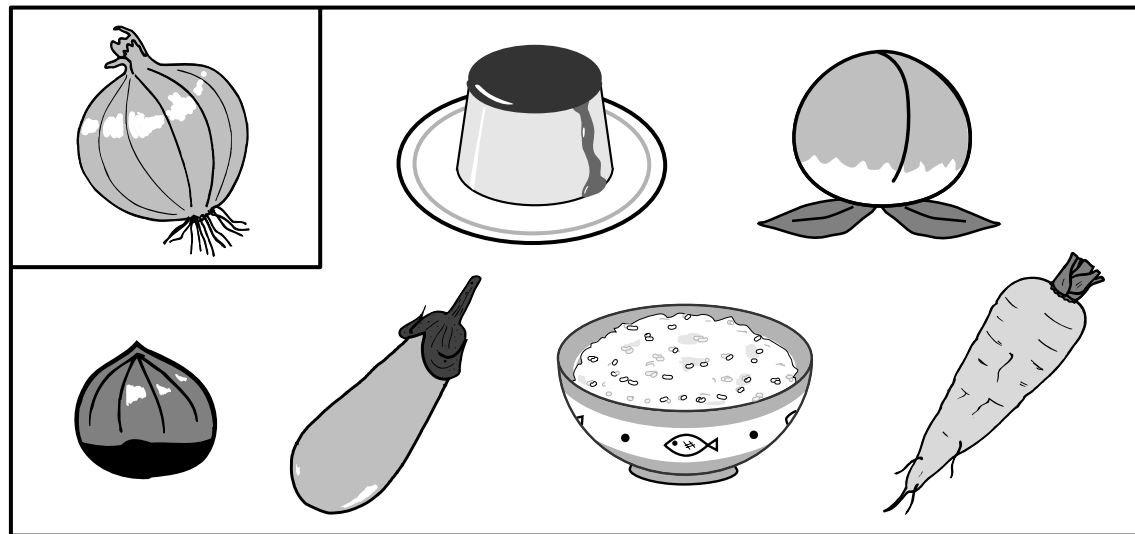


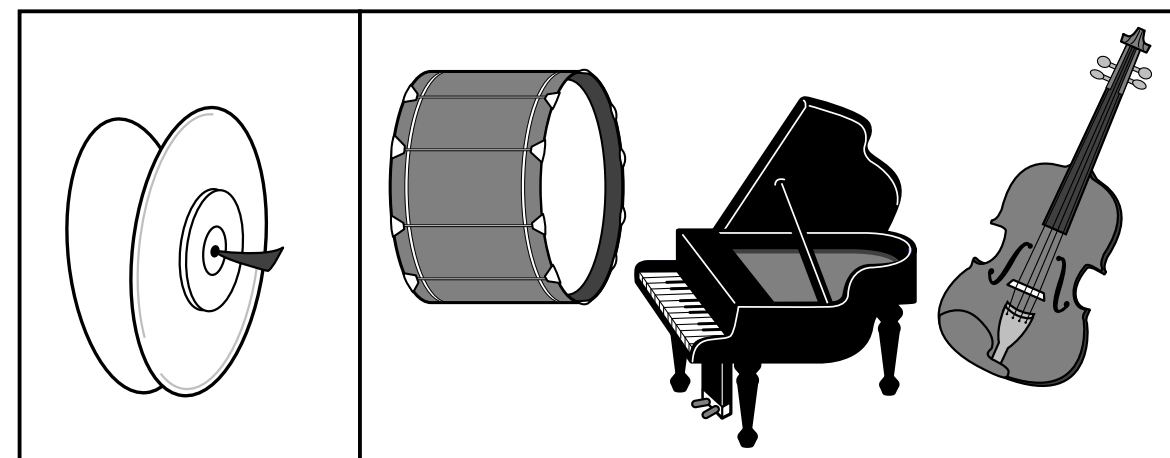
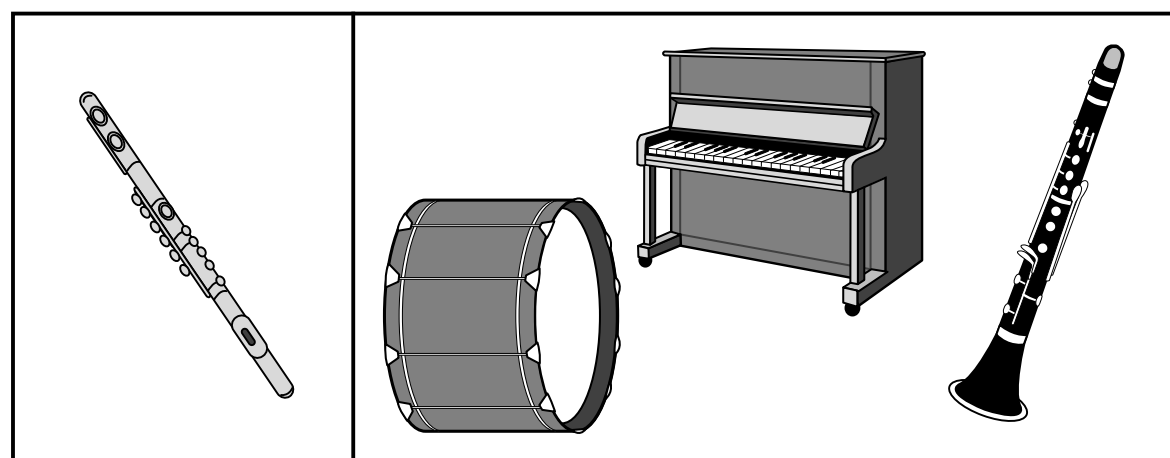
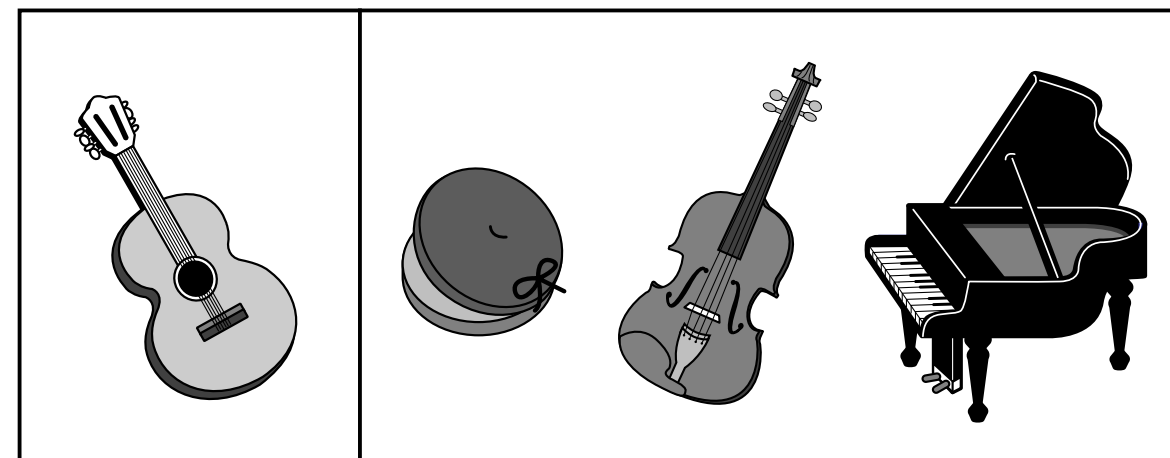
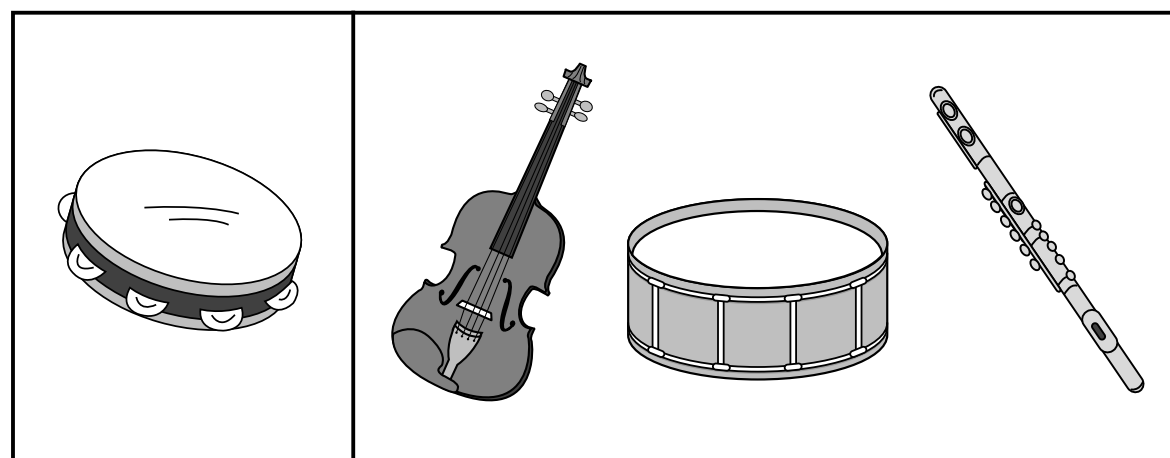
(2)

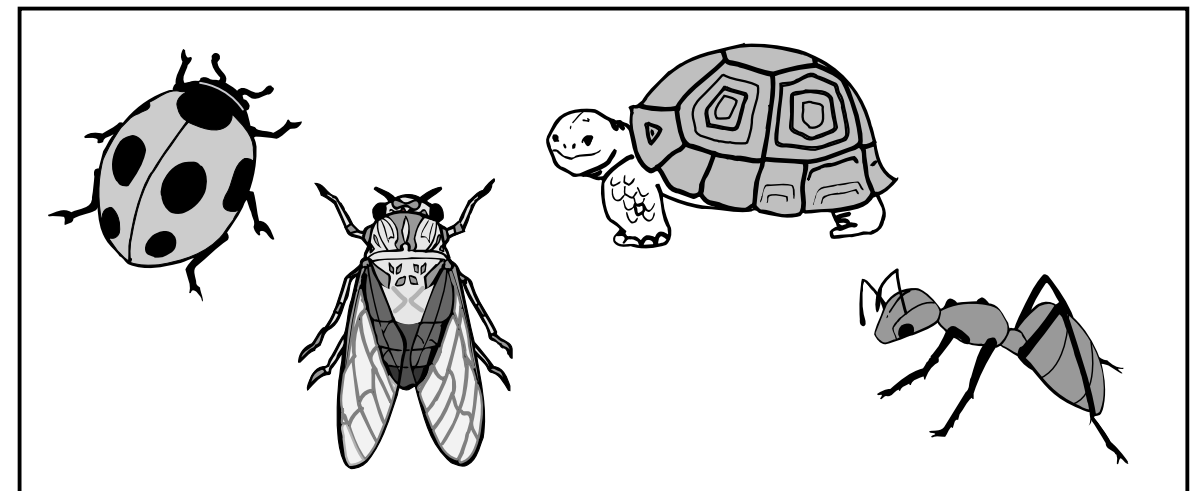
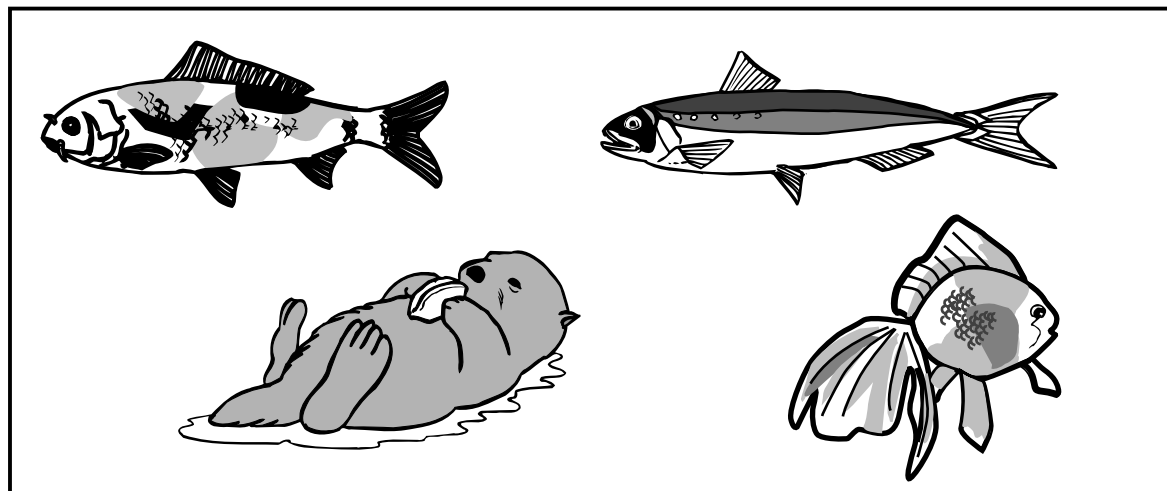
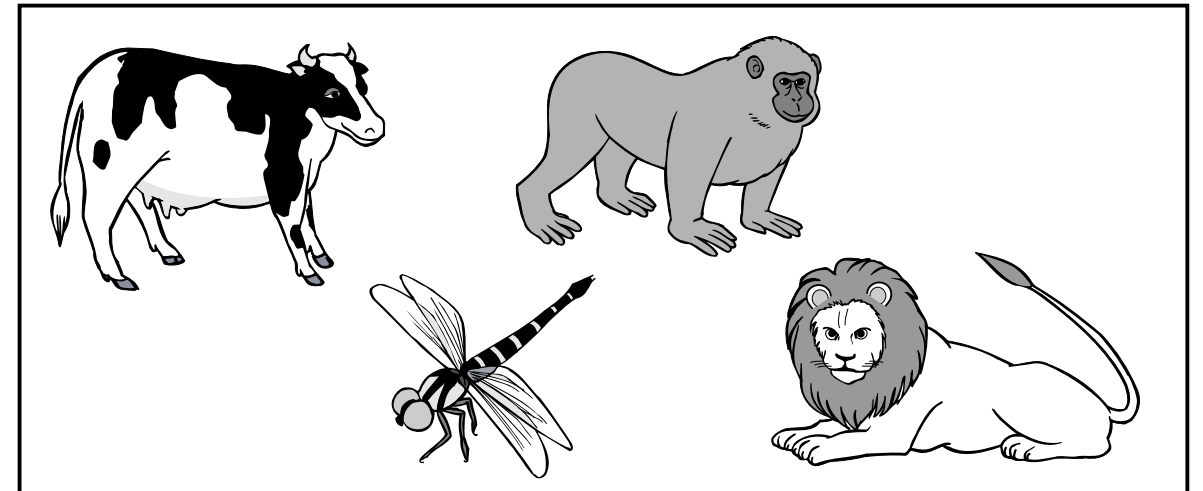


<指導のポイント>

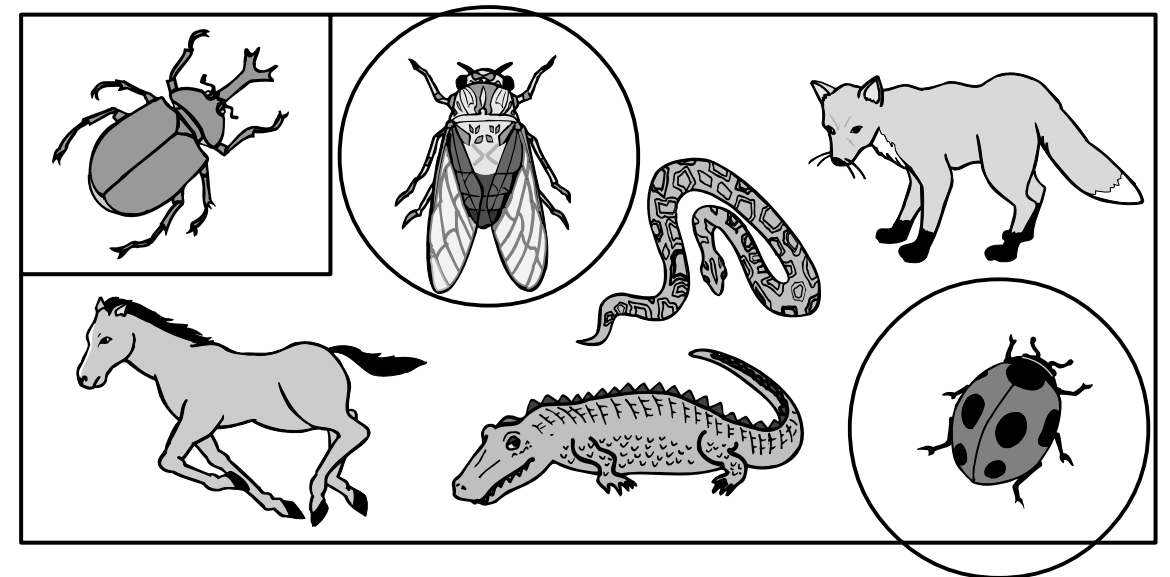
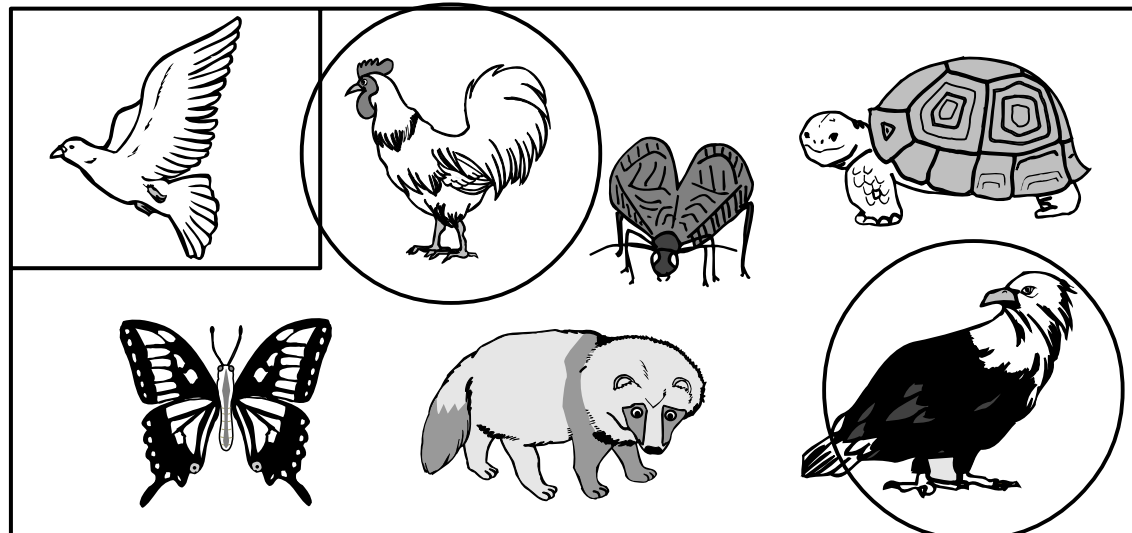
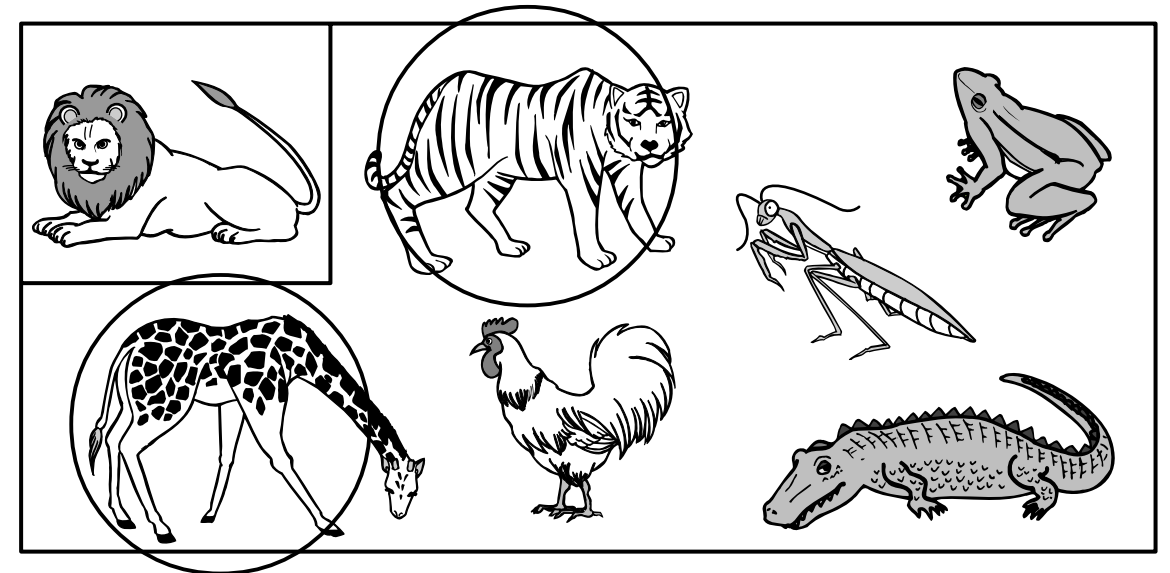
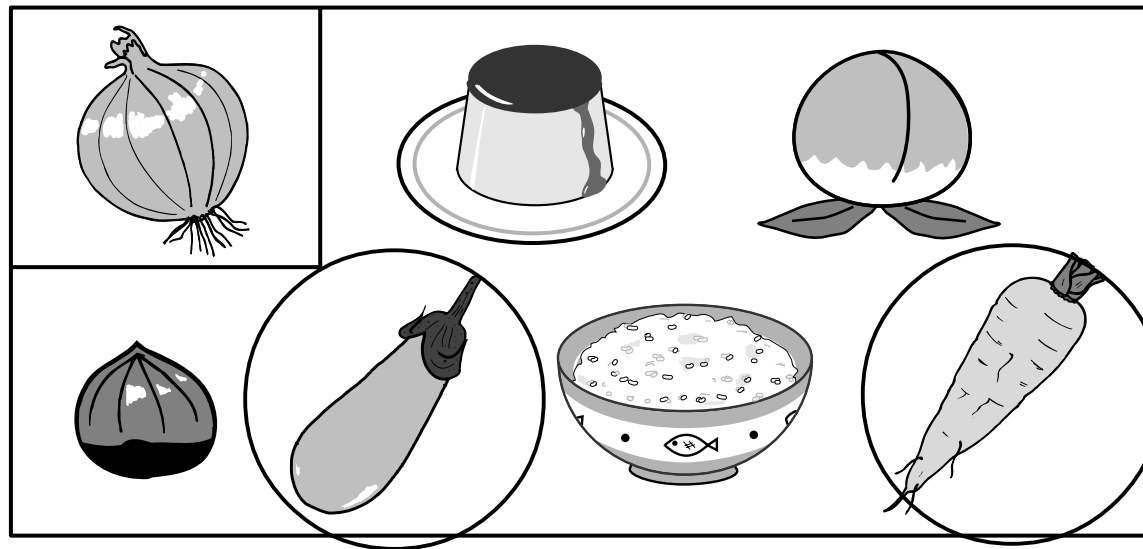
正確に印を書き入れることが大切です。印を書き入れる位置と、印の種類をしっかりと確認して書きましょう。最後まで集中して取り組ませましょう。







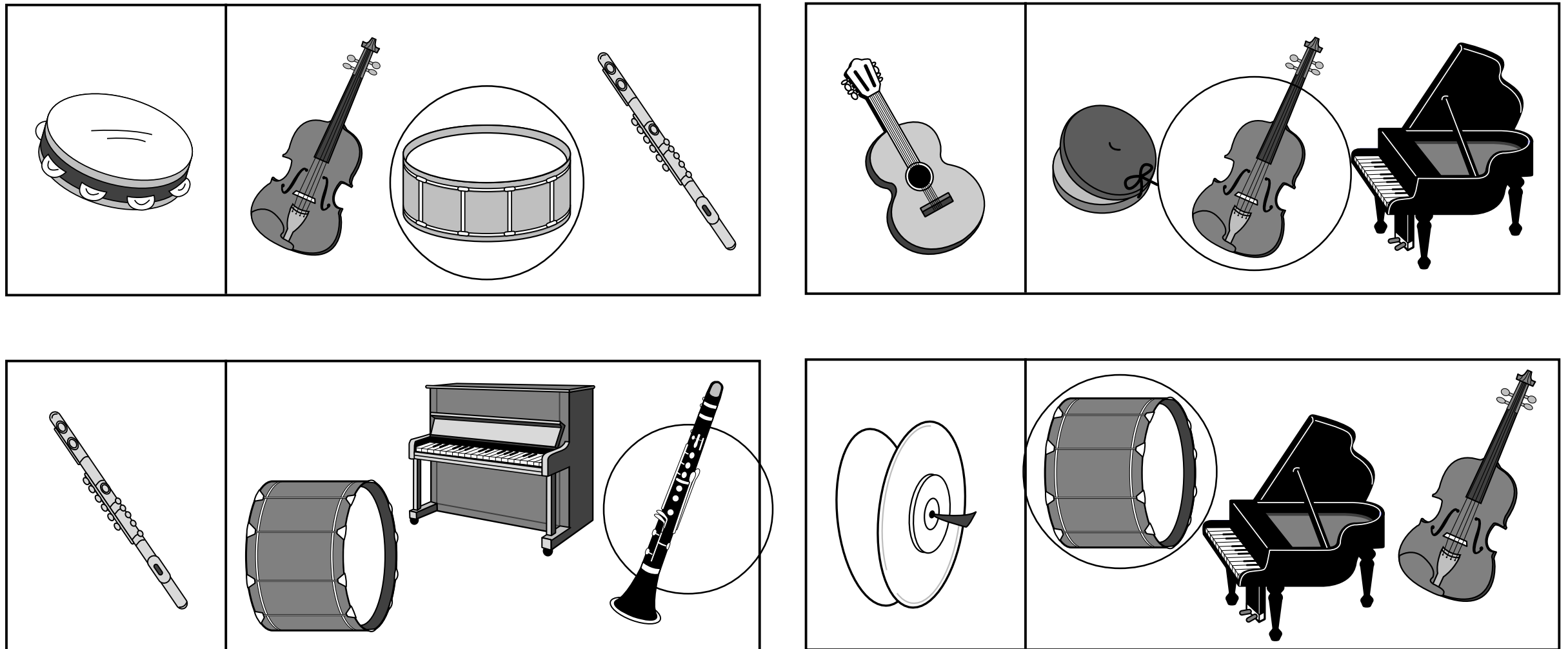
<問題> 左はしと同じ仲間のものを2つずつみつけて、○をつけましょう。



<指導のポイント>

何の絵か、名前を一つずつ確認しながら、同じ仲間をさがしましょう。答えあわせの時は、それぞれ何の仲間であるかも答えさせて下さい。(野菜、鳥、けもの、虫)

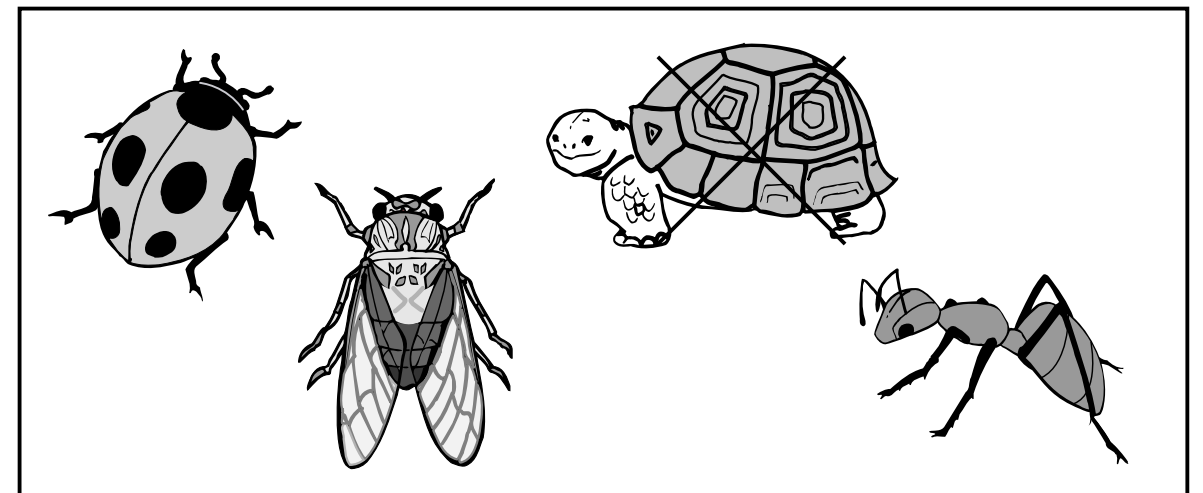
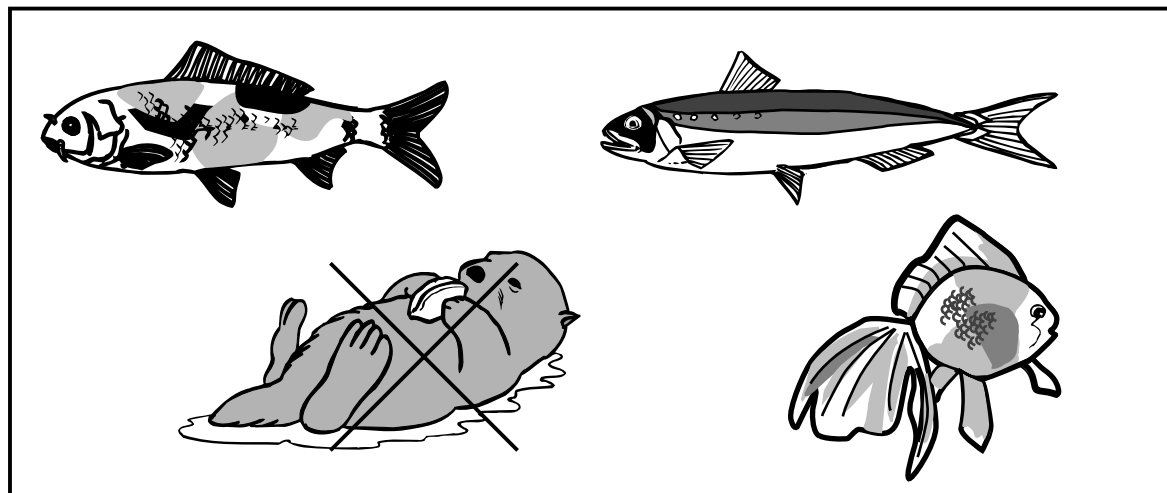
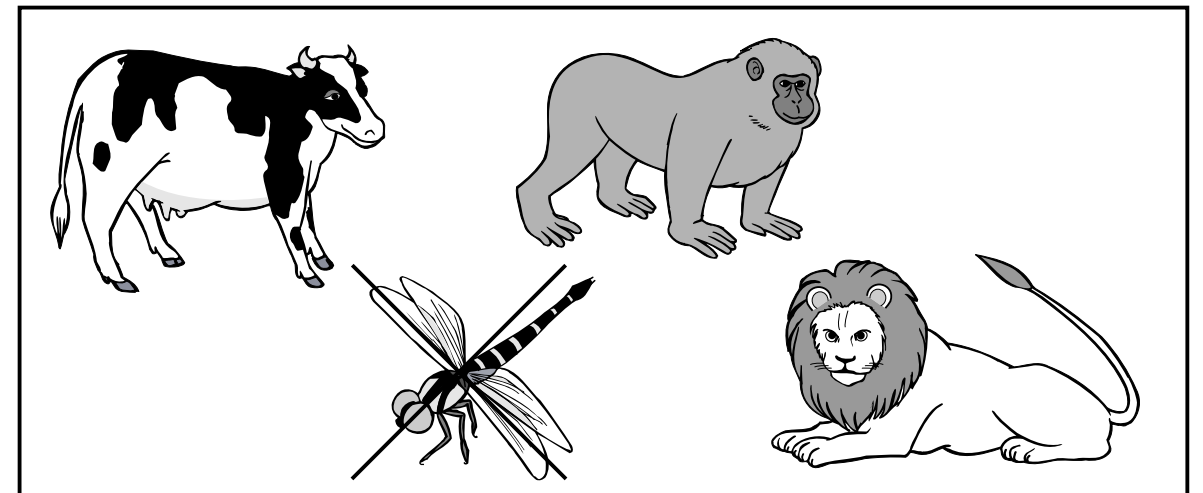
<問題> 左と同じ仲間の楽器に、○をつけましょう。



<指導のポイント>

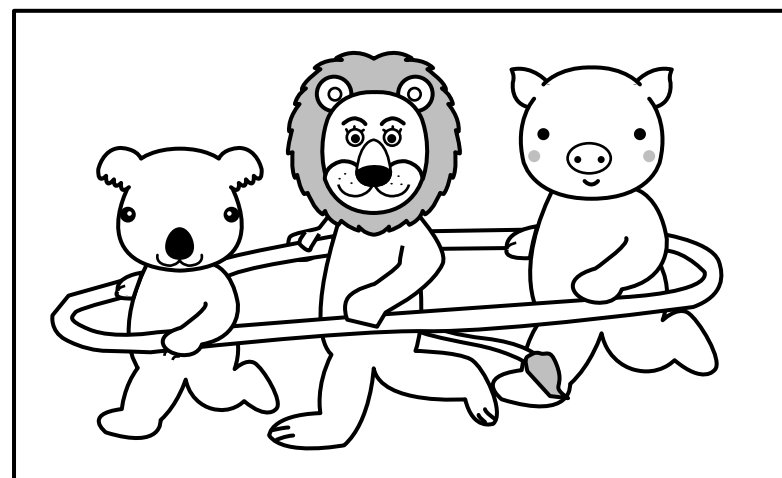
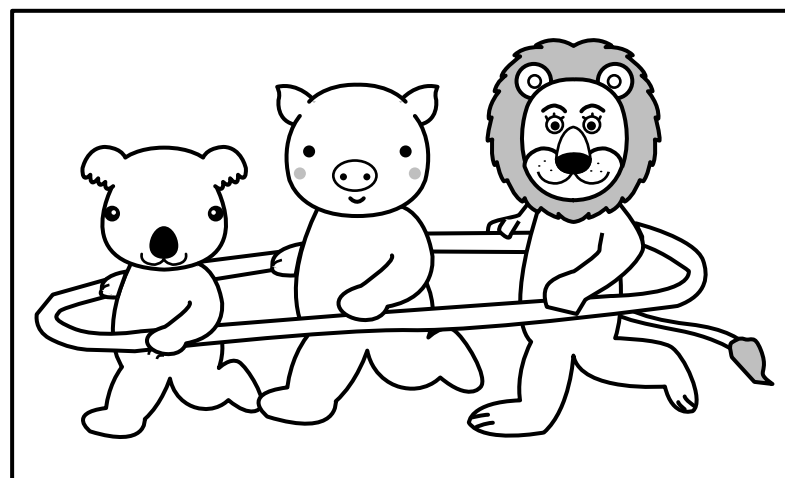
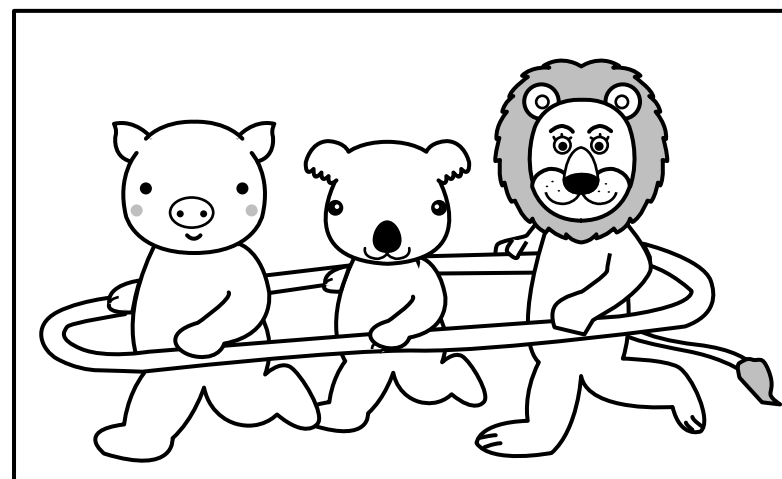
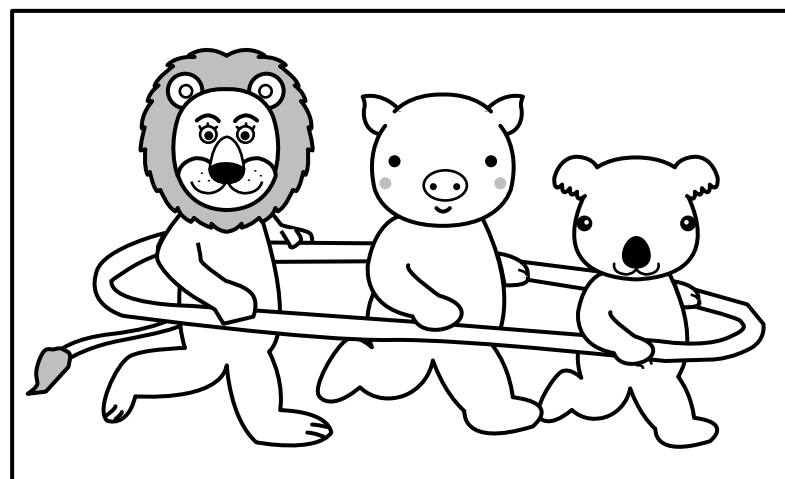
楽器には、「たたいて音を出す楽器」(打楽器)「はじいて音を出す楽器」(弦楽器)「吹いて音を出す楽器」(管楽器)「鍵盤をひいて音を出す楽器」(鍵盤楽器)などがあります。できれば、実際に楽器(おもちゃでもよい)にふれたり、音を聞いたりする体験をさせてあげるとよいでしょう。

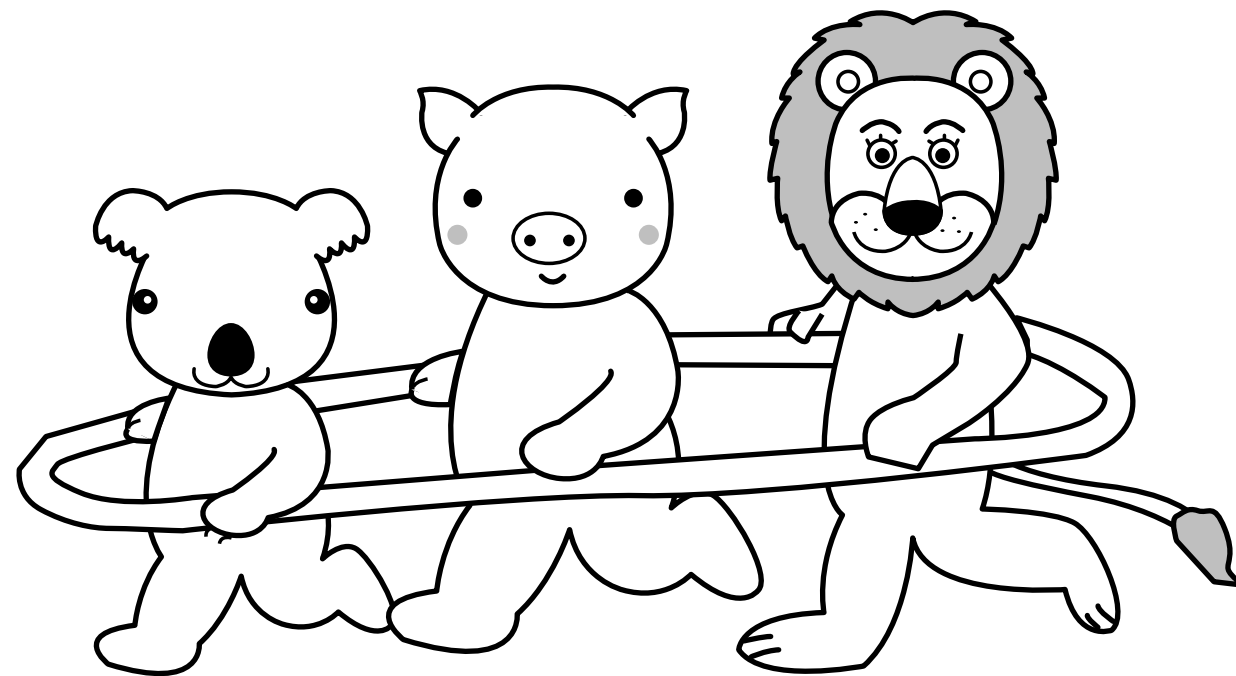
<問題> 1つだけ仲間でないものをみつけて、×をつけましょう。



<指導のポイント>

答えあわせの時には何の絵か、名前を一つずつ確認しながら、仲間でないものを答えさせましょう。また、「他は、～の仲間だから」というように、その理由も言わせてみましょう。(鳥、魚、けもの、虫)

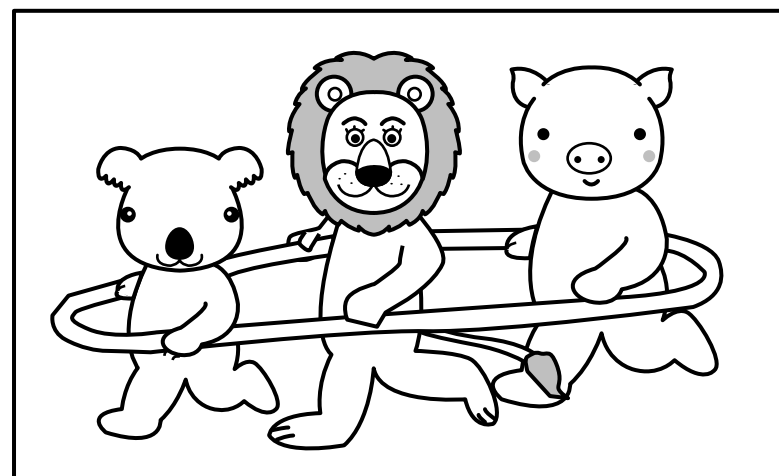
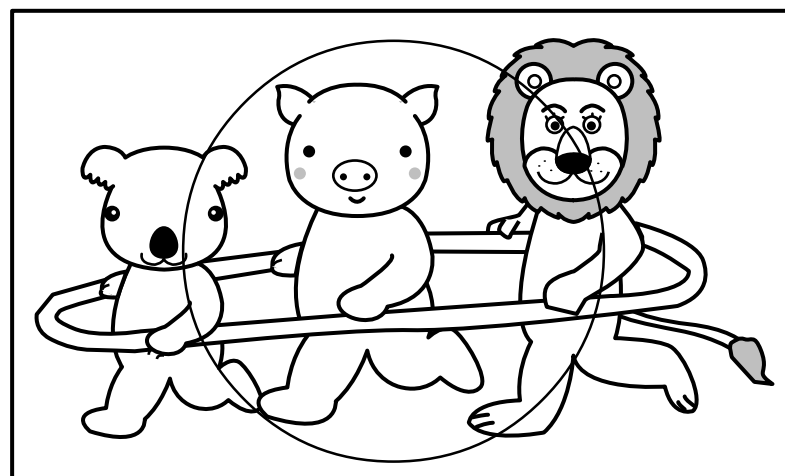
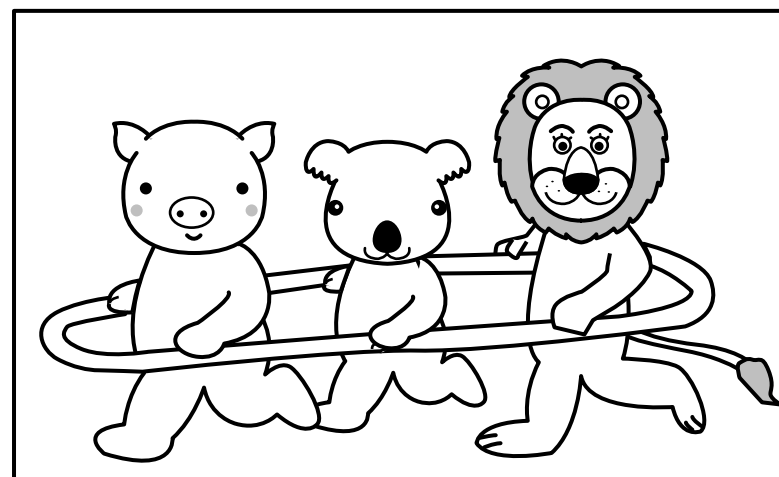
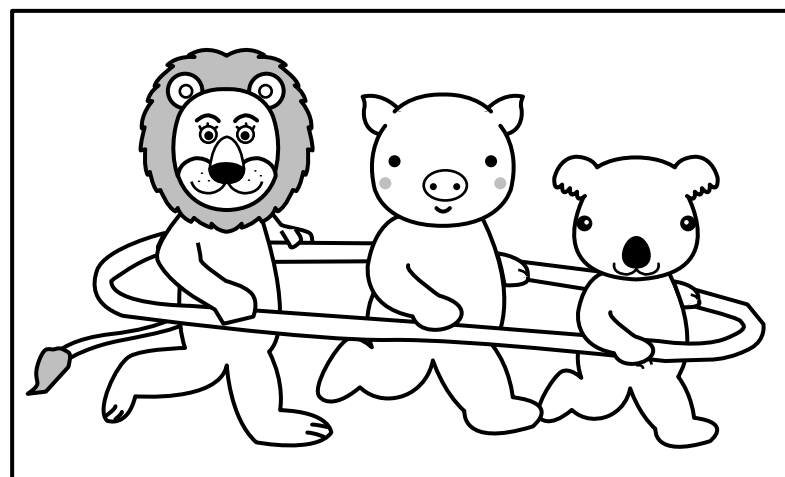




<問題> (1) プリントはふせておき、「記憶用紙」を5秒間見せます。

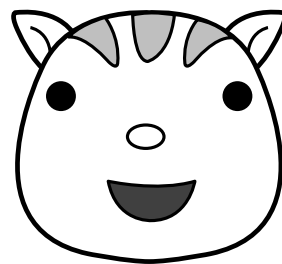
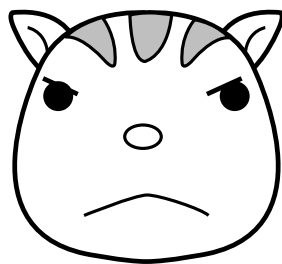
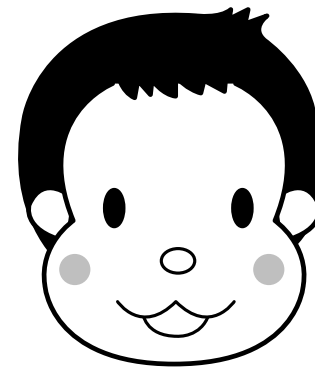
「誰がどんな順番に並んでいるか、よく見て覚えましょう。」

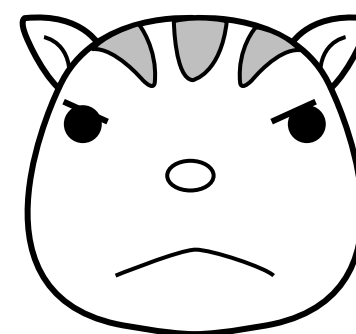
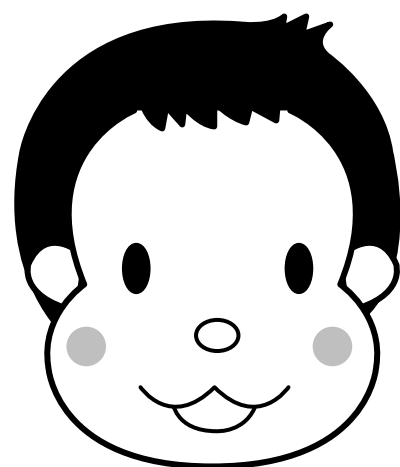
(2) プリントを表向きにして、「今見た通りに動物たちが並んでいるものに、 をつけましょう。」



<指導のポイント>

動物たちの向きと順番を覚えることがポイントです。5秒間だけ見せたらすぐ、記憶用紙をふせて質問して下さい。その後で答えあわせをかねて、もう一度絵を見せると、今度はしっかり見るようになります。

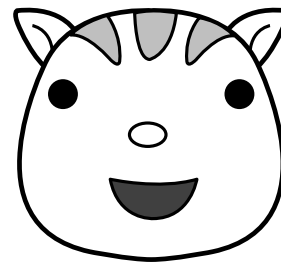
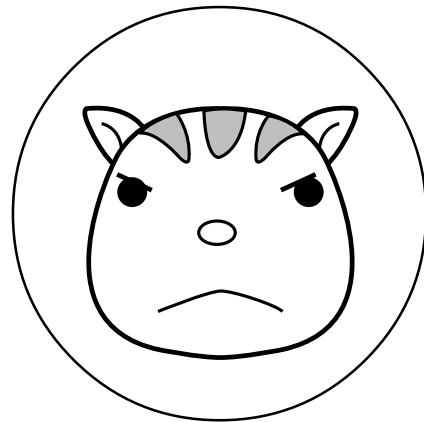




<問題> (1) プリントはふせておき、「記憶用紙」を5秒間見せます。

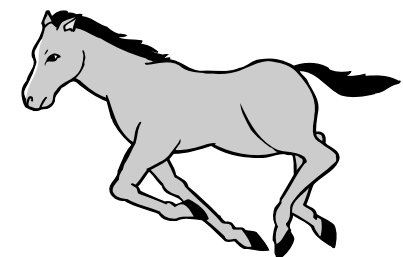
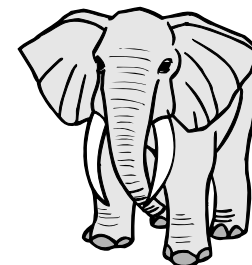
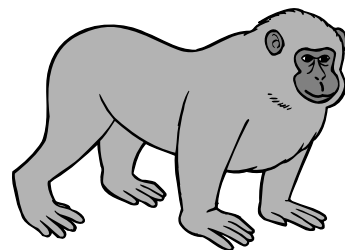
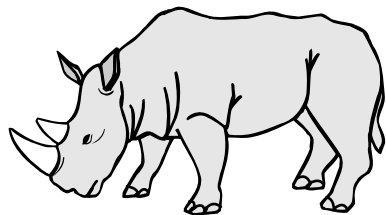
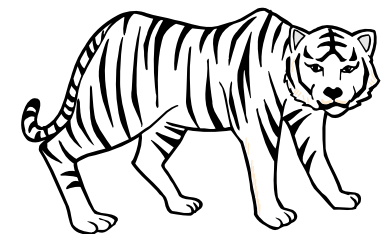
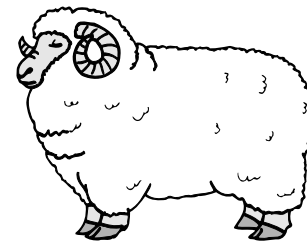
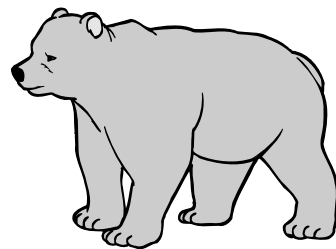
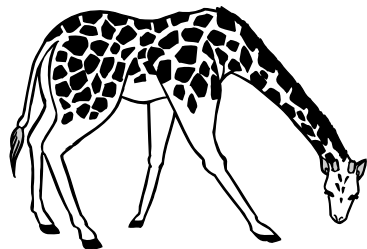
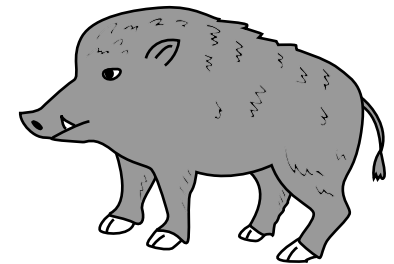
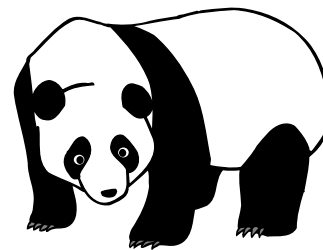
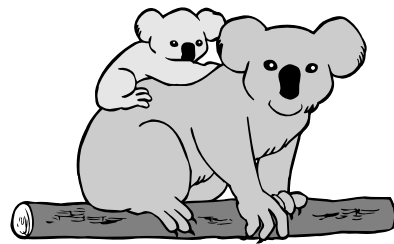
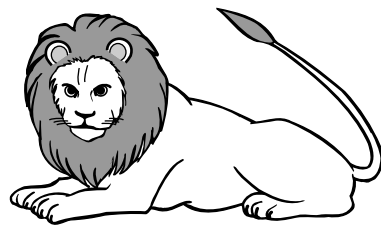
「何があるか、よく見ましょう。何がいたか、後から聞きますよ。」

(2) プリントを表向きにして、「何がいましたか。○をつけましょう。」



<指導のポイント>

短い時間に集中して見る練習です。5秒間だけ絵を見せたら、すぐ絵をふせて質問して下さい。答えあわせをかねて、もう一度絵を見せると、今度はさるとリスの表情にも注意して、しっかり見るようになります。



< 問題 >

(プリントはふせておきます。集中して聞けるように、目を閉じさせましょう。)'今から、短いお話をします。しっかり聞きましょう。'

「ゆうき君は、お父さんとお母さんと3人で動物園に行きました。

最初にパンダを見て、次にトラを見ました。それからゾウ、キリン、クマ、サル、コアラ、ライオンとつぎつぎに見ました。

ライオンはおりに入っていました。パンダとトラとクマも、おりの中にいました。

いろいろな動物を見たので、動物の絵をたくさん描いたら、お父さんが『ゾウとサルの絵がうまく描けたね』とほめてくれました。

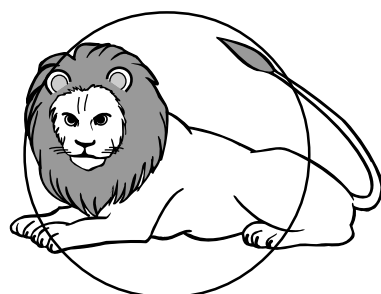
お母さんは『キリンとコアラが上手ね』とほめてくれました。'

(プリントを表向けて下さい)

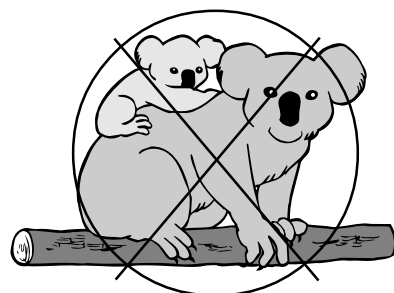
「ゆうき君が動物園で見た動物に をつけましょう。」

「お父さんがほめてくれた動物に をつけましょう。」

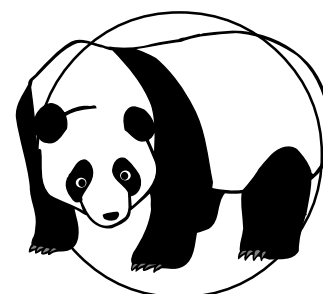
「お母さんがほめてくれた動物に×をつけましょう。」



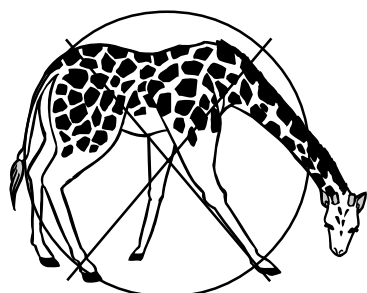
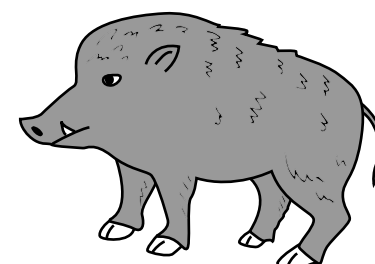
ライオン



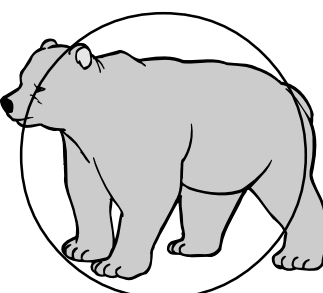
コアラ



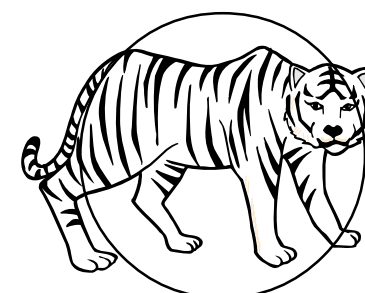
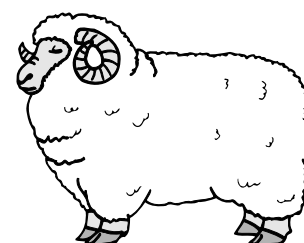
パンダ



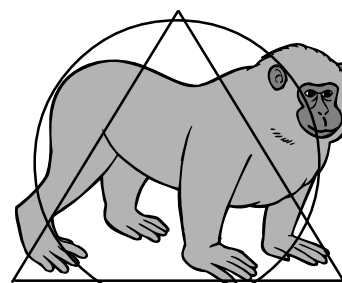
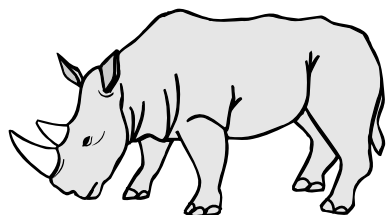
きりん



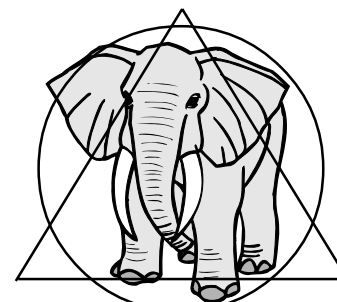
くま



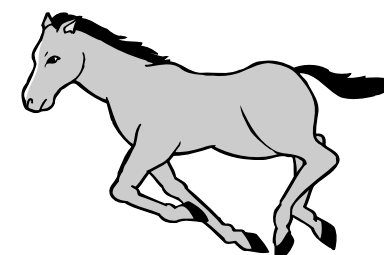
トラ



さる



ぞう



<指導のポイント>

お話をしっかり聞きとって記憶することは、日常生活でも、学習でもとても大切なことです。頭の中でお話の様子を思いうかべるようにして、聞きましょう。一通り解答できたら、答えあわせをかねてもう一度お話を読んであげて下さい。ポイントをおさえて、集中して聞く練習をしましょう。